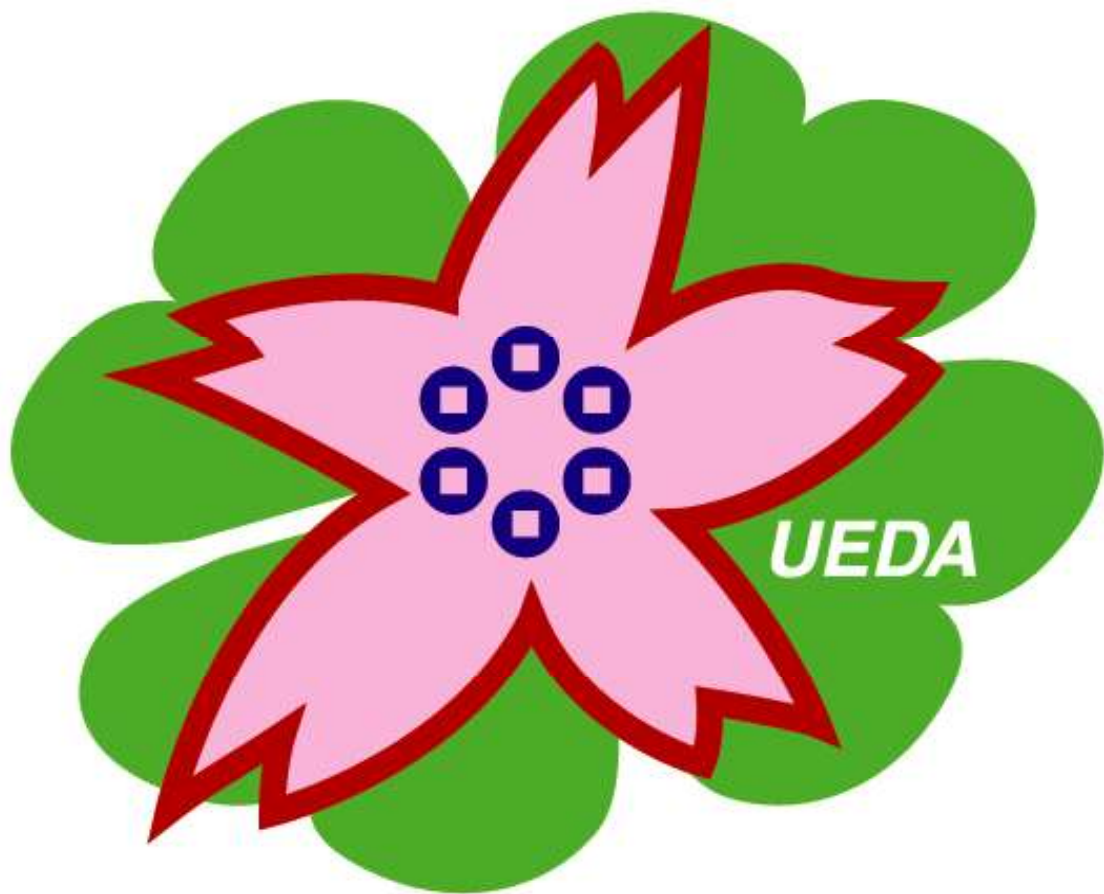


上田市の教育

令和7年度



上田市教育委員会



上田市民憲章

上田市は 千曲川の清流と菅平高原から美ヶ原高原までひろがる豊かな自然や先人の築いた歴史と文化を大切にするまちです

わたくしたちは 上田市民であることに誇りと責任を持ち 未来への発展を願って ここに市民憲章を定めます

一 美しい自然を守り 歴史や伝統に学ぶ

文化の薫るまちをつくります

一 共に尊重し合い 平和を愛し

やさしさあふれるまちをつくります

一 未来を担う子どもらが健やかに育つ

夢あるまちをつくります

一 多彩な産業と資源をいかし

希望と活力みなぎるまちをつくります

(平成十九年十月二日 制定日)
(平成十九年十月三日 告示)

上田市都市宣言

○ひともまちも健康で元気に 生活快適都市宣言

平成22年2月25日

議決宣言

誰もが、生きがいや豊かさを感じながら、生き生きと暮らしていくためには、スポーツ、保健、医療、福祉などを通じて「人が健康で元気」であるとともに、市民それぞれがまちづくりに取り組み、かけがえのない自然を守り、循環型社会を築き「まちが健康で元気」であること、更に市民が生き活きと働き「産業が健康で元気」になることが必要です。

私たち上田市民は、一人ひとりの責任と市民協働により、住んで良かったと実感できる快適なまちを築くため、ここに「ひともまちも健康で元気に 生活快適都市」を宣言します。

○争いのない世界を願う 非核平和都市宣言

平成22年2月25日

議決宣言

世界の恒久平和は、全人類共通の願いです。

私たち上田市民は、平和を愛する各国の人々とともに、世界の平和が実現することを訴え、争いと核兵器のない世界を築くため、ここに「争いのない世界を願う 非核平和都市」を宣言します。

○優しい思いやりあふれる 人権尊重都市宣言

平成22年2月25日

議決宣言

人は誰でも、一人ひとりかけがえのない存在として尊重され豊かに健康で幸せな生活を営む権利を持っています。

すべての人々の人権が保障されることは、誰もが幸せに暮らせるまちをつくる基礎となります。

私たち上田市民は、お互いを思いやり、相互の理解と協力と信頼により、人権が尊重され、誰もが誇りを持ち能力を発揮できるまちを築くため、ここに「優しい思いやりあふれる 人権尊重都市」を宣言します。

○地域みんなで子育て 未来っ子輝く都市宣言

平成22年2月25日

議決宣言

子どもたちが夢と希望を持ち、健やかに育つ社会を築くことは、力強く発展するまちづくりの礎です。

仕事と家庭のバランスをとりながら子どもを安心して産み育てられる社会を築くことは私たちの使命です。

私たち上田市民は、子どもたちの笑顔があふれ、親が子育てに喜びを実感できるよう家庭、学校、事業者、地域、行政みんなが手を携え、地域全体で子育て・子育てを支えることができるまちを築くため、ここに「地域みんなで子育て 未来っ子輝く都市」を宣言します。

○魅力と出会いが紡ぐ おもてなしの観光都市宣言

平成22年2月25日

議決宣言

上田市は、上田城に代表される真田氏の史跡や蚕都上田として栄えた歴史的な遺産と、豊かな温泉や美しい自然など多彩な魅力を持ち多くの観光客が訪れるまちです。

訪れた方が、魅力との出会い、人とのふれあいで感動とやすらぎを感じ、上田を楽しんでいただくことが市民の喜びです。

私たち上田市民は、訪れる方を大切なお客様として一人ひとりが温かく親切におもてなしすることで交流が深まり、私たち自身の心まで温かくなるまちを築くため、ここに「魅力と出会いが紡ぐ おもてなしの観光都市」を宣言します。

○美しい自然と豊かな歴史に学ぶ 文化創造都市宣言

平成22年2月25日

議決宣言

上田市には、人々に様々な恵みを与えてきた豊かな自然があふれ、また、先人から継承された独自の文化や伝統、誇りある歴史が息づいています。

歴史と伝統を学び、これらを受け継いで新たな文化を創造していくことや、豊かな自然について学び、これを守っていくことは、私たちの使命です。

私たちが享受し、かつ創造する文化は、癒しと勇気を与え、生きる力をもたらし、まちの魅力と個性を作り出します。

私たち上田市民は、一人ひとりが担い手となり、美しい自然を守るため、そして誇りある歴史に学び、文化の薫るまちを築くため、ここに、「美しい自然と豊かな歴史に学ぶ 文化創造都市」を宣言します。

上田市教育大綱

1 上田市教育の基本理念

「^{さん}燦と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり」

ー基本理念に込める思いー

「^{さん}燦と」は、上田市の「^{サント}蚕都」の歴史、晴天の日が多い「^{サン}燦々と輝く太陽（SUN）の日差し」に因んでいます。この伝統に培われた、自然豊かな、暮らしやすい「ふるさと」をいつまでも愛し、誇りに思いながら、人と人の絆を大切に、夢・希望を持って未来への活力を生み出していく人づくりを目指します。

2 教育各分野の人づくり・地域づくりの方針及び目標

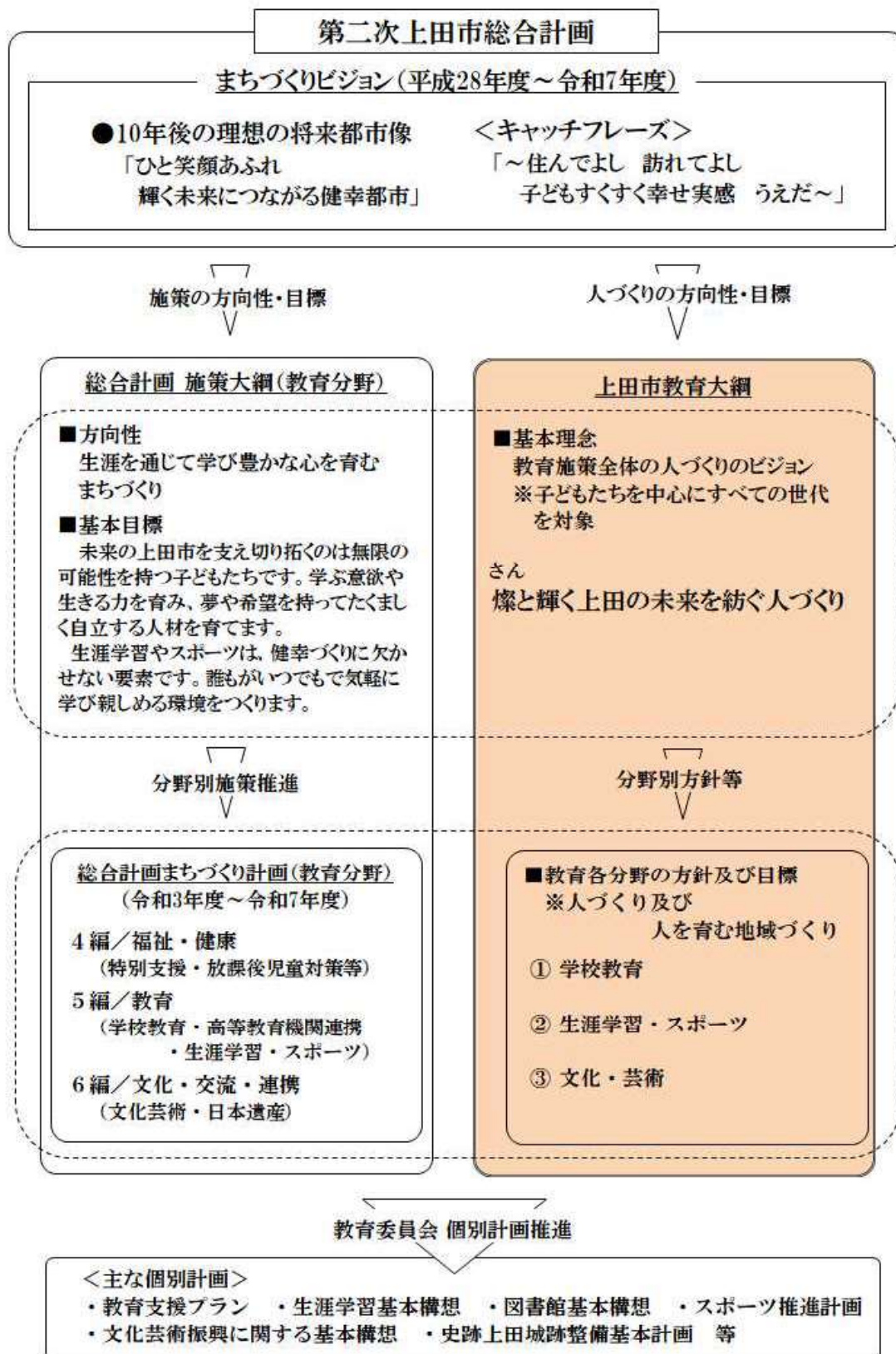
学校教育	◎方針 子どもたちの将来の礎となる「生きる力」を育みます。 <人づくり> ・自ら考え、判断し課題を解決する力、自立する力を育みます。 ・人の痛みがわかる、思いやりの心を育みます。 ・物事に主体的に取り組む意欲や探究心を育みます。 ・グローバルな視野とふるさとを愛する心を育みます。 ・夢や希望を持って未来をたくましく切り拓く心を育みます。 <地域づくり> ・子どもたちを社会の宝として地域ぐるみで育みます。
生涯学習 スポーツ	◎方針 生涯にわたる多様な学びや活動を応援します。 <人づくり> ・学びを通じて、郷土を愛し、地域づくりを担う人を応援します。 ・目的や生きがいを持ち、心身ともに健康で人生を楽しむ人を応援します。 <地域づくり> ・人と人のつながり、地域の連帯感や交流を育みます。
文化芸術	◎方針 文化の薫る創造都市を実現し、「ひと」、「まち」を育みます。 <人づくり> ・地域への愛着や誇りを育みます。 ・子どもたちの豊かな発想、感受性、創造力を育みます。 ・生活に潤い、感動、安らぎ、喜びが感じられる、豊かな人生を育みます。 <地域づくり> ・文化芸術の力により、人を惹きつけるまちの魅力を育みます。

3 期 間

令和3年度から令和7年度までの5年間

(第二次上田市総合計画後期まちづくり計画の期間)

<参考：上田市教育大綱と他計画の関連図>



目 次

I 概要

上田市の概要	2
--------	---

II 教育行政

教育委員会組織図	6
教育委員会の職員数	7
教育委員会事務局事務分掌	8
教育関係予算	11

III 学校教育

基本目標と基本施策	14
市立学校一覧	15
教育目標・特色ある教育活動	16
市立学校教職員数	33
小・中学校通学区域	35
市立学校施設	37
市立学校学級数、児童・生徒数	43
児童・生徒の体位	45
中学校卒業者の進路状況	45
情報教育	46
キャリア教育	49
地域とともにある学校づくり	50
教育相談・児童生徒支援	52
特別支援教育	54
就学援助制度	56
修学支援制度	58
学校給食	60
放課後児童対策	63
市内の国・県・私立学校等	66

IV 社会教育

生涯学習	70
青少年教育	71
人権同和教育	72
文化財	73
公民館	78
上田図書館	83
上田情報ライブラリー	85
丸子図書館	87
真田図書館	89
博物館	91
信濃国分寺資料館	93
丸子郷土博物館	95
武石ともしび博物館	97
美術館	99
市誌・町誌・村誌の刊行状況	101
地域映像デジタルアーカイブ事業	102
学校体育施設開放事業	107
教育機関	108

V 関係委員等名簿

市理事者	110
市教育委員会委員	110
市議会教育厚生委員会委員	110
学校教育関係	111
社会教育関係	112

I 概 要

上田市の概要

上田市は、平成18年3月6日に上田市、丸子町、真田町、武石村が新設合併して誕生した、人口15万人を擁する長野県東部の中核都市です。

「ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる 健幸都市」を将来都市像に掲げ、「住んでよし 訪れてよし 子どもすくすく幸せ実感うえだ」をキャッチフレーズに、「市民が明るく健康で暮らせるまち」、「若者が集まり、未来に向けて活力、魅力があふれ、輝くまち」、「市民一人ひとりがライフスタイルにあった幸福を感じ、いきいきと健康に暮らせる、人と人がつながるまち」を目指しています。

1 市の沿革

旧4市町村の行政区画の変遷は次のとおりです。

旧上田市は、大正8年5月1日に市制が施行され、大正10年城下村を編入、昭和29年塩尻村、川辺村を、昭和31年神川村、泉田村を編入しました。昭和32年大字小泉（半過を除く）を分市しましたが、昭和32年神科村を、昭和33年豊殿村を編入し、昭和45年には塩田町を、昭和48年には川西村を編入しました。旧市制として86年の歴史を持っています。

旧丸子町は、大正元年に誕生し、昭和29年東内村、西内村を、昭和30年長瀬村、依田村を、昭和31年に塩川村を編入しました。旧町制として94年の歴史を持っています。

旧真田町は、昭和33年に長村、傍陽村、本原村の3村が合併して町制が施行され、以来47年の歴史を持っています。

旧武石村は、明治22年に沖村、鳥屋村、下武石村、上武石村、下本入村、上本入村、小沢根村、余里村の8村が合併し、以来118年の歴史を持っています。

2 市の位置

東京から約190キロメートル、北陸新幹線を利用すると最短で約80分の距離です。避暑地として有名な軽井沢町からは約40キロメートル、1998年冬季オリンピックの主会場となった長野市とも約40キロメートルの位置にあります。

- ・市役所 東経 138度15分 北緯 36度24分 海拔 456メートル
- ・総面積 552.04平方キロメートル
- ・人口 151,120人 世帯数 70,445戸（令和7年4月1日現在）

3 気候

昼夜、冬夏の寒暑の差が大きい典型的な内陸性の気候です。晴天率が高く、年間の平均降水量が約900ミリメートルと全国でも有数の少雨乾燥地帯です。積雪も、山間地以外の地域では、10センチメートルを超えることはまれです。

一方、菅平高原は、夏の平均気温が東京の5月の気温であり、スイスを思わせる風景と相まって「日本のダボス」とも呼ばれる、大変さわやかな別天地です。

4 農業

少雨多照な気象条件を活かし、比較的標高の低い平坦地では、水稻、果樹、花きなどが、準高冷地では野菜や花き、高冷地では野菜を主力とした生産が行われています。真田地域（菅平高原地区）の「レタス」、上田地域の「トルコキキョウ」、丸子地域の「リンドウ」、武石地域の「ひめゆり」など地場農畜産物の産地化・ブランド化を推進しています。

5 工業

かつて「蚕都（さんと）」として、地域のリーディング産業であった蚕糸業（養蚕、蚕種、製糸）は大きな時代変化の中で衰退しましたが、蚕糸業で培われた技術的基盤や進取の精神は機械金属工業に受け継がれ、現在では輸送関連機器や精密電気機器などを中心とする製造業が地域経済を牽引しています。高度な技術を有する企業の集積が見られます。

製造品出荷額は5, 815億円（令和4年）であり、県内屈指の工業地域です。

6 商業

総合的な都市機能を高め、活力あふれる賑わいと交流の拠点づくりを進めるため、上田駅周辺の再開発を行い、市街地の活性化と商業の振興を一体的に推進しています。

年間商品販売額は4, 175億円（令和2年）であり、長野県東部地域の中核的な商都です。

7 観光

平成28年に放送されたNHK大河ドラマ「真田丸」における登場人物である真田信繁（幸村）を輩出した真田氏発祥の地であり、父・真田昌幸が築城した上田城をはじめ真田氏ゆかりの史跡が点在しています。鎌倉時代に幕府の信濃守護職であった北条氏が居を構えた塩田平は「信州の鎌倉」といわれ、安楽寺の八角三重塔（国宝）などの歴史的建造物、史跡が残されています。その他にも、旧北国街道の町並み、この地に国府があったことを推測させる信濃国分寺などの史跡が数多くあります。

また、別所温泉、鹿教湯温泉、角間温泉、岳の湯温泉などの温泉、夏・冬のスポーツリゾート地である菅平高原、国定公園美ヶ原高原、千曲川などの豊かな自然を有しています。

これら観光資源が四季折々の多様な彩りで訪れる人を魅了しています。

8 友好都市、姉妹都市、災害時応援協定都市

(1) 国外

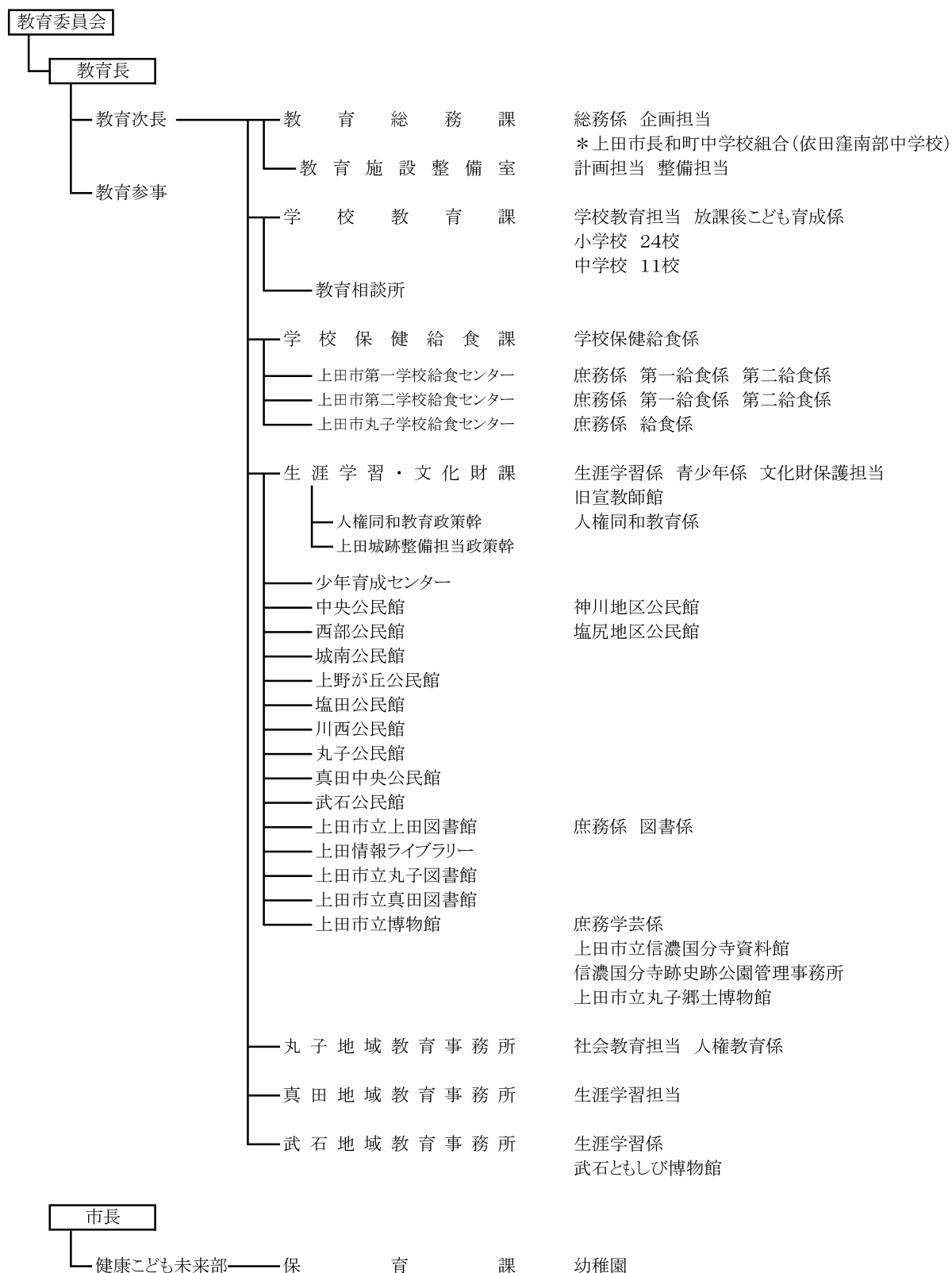
- ア 友好都市
 - ・ブルームフィールド市郡（アメリカ合衆国コロラド州）
 - ・寧波（ニンポー）市（中華人民共和国浙江省）
- イ 姉妹都市
 - ・ダボス町（スイス連邦グラウビュンデン州）

(2) 国内

- ア 姉妹都市、災害時応援協定都市
 - ・鎌倉市（神奈川県）
 - ・上越市（新潟県）
 - ・豊岡市（兵庫県）
 - ・九度山町（和歌山県）
- イ 友好都市、災害時応援協定都市
 - ・練馬区（東京都）
- ウ 災害時応援協定都市
 - ・上尾市（埼玉県）
 - ・沼津市（静岡県）

II 教育行政

教育委員会組織図



教育委員会の職員数

令和7年5月1日現在 単位:人

区	分	部	課政 長策 及 び幹	課 長 補 佐	係 長	統専担 括門当 幹幹幹	主 査	主 任	主 事	小 計	再 （ 短 任 時 間 ）	会任 計用 年職 度員	小 計	計
		長												
事務局職員	教育次長・教育参事	1								1		1	1	2
	教育総務課		1	1	1			1	1	5		1	1	6
	教育施設整備室		1	1	1		2			5	1	1	2	7
	学校教育課		1	2	3		3	2	2	13		14	14	27
	学校保健給食課		1	1			3		2	7		1	1	8
	生涯学習・文化財課		2 (1)	1	3		3	1	3	13 (1)		15	15	28 (1)
	丸子地域教育事務所		1	2 (1)			1		3	7 (1)		2	2	9 (1)
	真田地域教育事務所		1	2			2			5		2	2	7
	武石地域教育事務所		1		1			1		3				3
教育機関等職員	小計	1	9 (1)	10 (1)	9		14	5	11	59 (2)	1	37	38	97 (2)
	第一学校給食センター		1		3		4	7	2	17	3	18	21	38
	第二学校給食センター		1	1	2		7	10	2	23	3	30	33	56
	丸子学校給食センター		1	1	1		3	4		10	1	15	16	26
	小学校（24）							2		2		163	163	165
	中学校（11）											74	74	74
	幼稚園（1）			1			1		2	4		4	4	8
	教育相談所・中間教室		(1)	(1)						(2)		20	20	20 (2)
	少年育成センター		(1)	(1)					(1)	(3)		(2)	(2)	(5)
	中央公民館		1	1		(1)		(1)	2	4 (2)	(1)	4	4 (1)	8 (3)
	西部公民館		1		1		1			3	(1)	3	3 (1)	6 (1)
	城南公民館		1	(1)		(1)		(1)		1 (3)	(1)	3	3 (1)	4 (4)
	上野が丘公民館		1		1				1	3		3	3	6
	塩田公民館		1		(1)				(1)	1 (2)		3	3	4 (2)
	川西公民館		1	1				1		3		2	2	5
	丸子公民館		(1)	(1)			(1)		(3)	(6)		4	4	4 (6)
	真田中央公民館		(1)	(1)			(2)			(4)		1	1	1 (4)
	武石公民館		(1)		(1)			(1)		(3)		2	2	2 (3)
	上田図書館		1	1	1		2	2		7		15	15	22
	上田情報ライブラリー		1		1			1	1	4		9	9	13
	丸子図書館		(1)		1		1			2 (1)	1	11	12	14 (1)
	真田図書館		(1)	1						1 (1)		9	9	10 (1)
	博物館		1	1				1		3		9	9	12
	信濃国分寺資料館			1						1		3	3	4
	丸子郷土博物館			(1)			(1)	(1)		(3)		1 (1)	1 (1)	1 (4)
	信濃国分寺跡史跡公園管理事務所			(1)						(1)		(2)	(2)	(3)
	武石ともしび博物館										1	2	3	3
	小計		12 (7)	9 (7)	11 (2)	(2)	19 (4)	28 (4)	10 (5)	89 (31)	9 (3)	408 (5)	417 (8)	506 (39)
計		1	21 (8)	19 (8)	20 (2)	(2)	33 (4)	33 (4)	21 (5)	148 (33)	10 (3)	445 (5)	455 (8)	603 (41)

※ 教育長は含まない。()内は兼務職員で外数である。

教育委員会事務局事務分掌

教育総務課

- (1) 教育委員会の招集及び議事に関すること。
- (2) 教育委員会の施策の企画及び調整に関すること。
- (3) 教育委員会規則の制定及び改廃に関すること。
- (4) 教育委員会事務局、学校その他教育機関の職員に関すること。
- (5) 高等学校及び各種学校の通学費等の補助に関すること。
- (6) 奨学金に関すること。
- (7) 教育に係る調査統計及び広報に関すること。
- (8) 学校教育施設等の設置に関すること。
- (9) 通学区域に関すること。
- (10) 教育行政に関する相談に関すること。
- (11) 上田市長和町中学校組合の議会及び教育委員会に関すること。
- (12) 主管課として処理する事務に関すること。

教育施設整備室

- (1) 学校施設の整備計画に関すること。
- (2) 学校施設の整備、保全及び財産管理に関すること。
- (3) 学校給食施設及びその他教育委員会に属する施設の整備に関すること。
- (4) 教員住宅に関すること。

学校教育課

- (1) 学校の経営及び教育方針に関すること。
- (2) 教科書及び教育に関すること。
- (3) 就学指導及び教育相談に関すること。
- (4) 就学、転学及び学齢簿に関すること。
- (5) 学級編制に関すること。
- (6) 県費負担教職員に関すること。
- (7) 学校の安全対策に関すること。
- (8) 生活困窮児童・生徒の援助に関すること。
- (9) 放課後児童対策に関すること。
- (10) 放課後児童健全育成施設に関すること。
- (11) 教育相談所との連絡調整に関すること。
- (12) 上田市長和町中学校組合の学校運営に関すること。

学校保健給食課

- (1) 学校の保健衛生に関すること。
- (2) 学校給食及び給食費に関すること。
- (3) 学校給食に係る企画及び調整に関すること。
- (4) 学校給食施設の整備計画に関すること。

生涯学習・文化財課

- (1) 生涯学習の総合計画及び振興に関すること。
- (2) 生涯学習施設の整備計画及び管理運営に関すること。
- (3) 青少年健全育成の総合計画及び推進に関すること。
- (4) 公民館活動に関すること。
- (5) 青少年団体の育成及び指導者養成に関すること。
- (6) 少年育成センターの運営に関すること。
- (7) 青少年教育相談に関すること。
- (8) 人権同和教育の総合計画及び推進に関すること。
- (9) 人権同和教育施設に関すること。
- (10) 地域伝統文化の保護及び振興に関すること。
- (11) 文化財の保護及び活用に関すること。
- (12) 上田市立上田図書館、上田情報ライブラリー、上田市立丸子図書館、上田市立真田図書館及び上田市立博物館等との連絡調整に関すること。

丸子地域教育事務所

- (1) 所管地域の生涯学習の推進に関すること。
- (2) 所管地域の青少年健全育成に関すること。
- (3) 所管地域の公民館活動に関すること。
- (4) 所管地域の生涯学習施設に関すること。
- (5) 所管地域の人権同和教育に関すること。
- (6) 所管地域の人権同和教育施設に関すること。
- (7) 所管地域の伝統文化の保護及び振興に関すること。
- (8) 所管地域の文化財の保護及び活用に関すること。
- (9) 所管地域の小・中学校の転入学に関すること。
- (10) 所管地域の奨学金に関すること。

真田地域教育事務所

- (1) 所管地域の生涯学習の推進に関すること。
- (2) 所管地域の青少年健全育成に関すること。
- (3) 所管地域の公民館活動に関すること。
- (4) 所管地域の生涯学習施設に関すること。
- (5) 所管地域の人権同和教育に関すること。
- (6) 所管地域の人権同和教育施設に関すること。
- (7) 所管地域の伝統文化の保護及び振興に関すること。
- (8) 所管地域の文化財の保護及び活用に関すること。
- (9) 所管地域の小・中学校の転入学に関すること。
- (10) 所管地域の奨学金に関すること。

武石地域教育事務所

- (1) 所管地域の生涯学習の推進に関すること。
- (2) 所管地域の青少年健全育成に関すること。
- (3) 所管地域の公民館活動に関すること。
- (4) 所管地域の生涯学習施設に関すること。
- (5) 所管地域の人権同和教育に関すること。
- (6) 所管地域の人権同和教育施設に関すること。
- (7) 所管地域の伝統文化の保護及び振興に関すること。
- (8) 所管地域の文化財の保護及び活用に関すること。
- (9) 上田市武石ともしび博物館の管理運営に関すること。
- (10) 所管地域の小・中学校の転入学に関すること。

教育関係予算

1 令和7年度当初予算内訳

単位：千円

款	本年度(R7) 予算額	構成比	前年度(R6) 予算額	構成比	比 較
一 般 会 計	75,826,000	100.0%	71,290,000	100.0%	4,536,000
議 会 費	357,856	0.5%	380,315	0.5%	△ 22,459
総 務 費	8,856,843	11.7%	7,958,439	11.2%	898,404
民 生 費	28,529,940	37.6%	25,196,282	35.3%	3,333,658
衛 生 費	5,844,582	7.7%	4,921,516	6.9%	923,066
労 働 費	189,843	0.2%	207,078	0.3%	△ 17,235
農林水産業費	3,079,251	4.1%	2,954,088	4.1%	125,163
商 工 費	5,498,400	7.3%	5,526,609	7.8%	△ 28,209
土 木 費	8,270,280	10.9%	9,311,908	13.1%	△ 1,041,628
消 防 費	2,130,042	2.8%	2,099,751	3.0%	30,291
教 育 費	6,207,420	8.2%	5,765,745	8.1%	441,675
公 債 費	6,761,543	8.9%	6,868,269	9.6%	△ 106,726
予 備 費	100,000	0.1%	100,000	0.1%	0

2 教育費内訳

単位：千円

項	本年度(R7) 予算額	構成比	前年度(R6) 予算額	構成比	比 較
教 育 費	6,207,420	100.0%	5,765,745	100.0%	441,675
教育総務費	1,165,292	18.8%	964,232	16.7%	201,060
小 学 校 費	1,108,600	17.9%	989,049	17.2%	119,551
中 学 校 費	797,824	12.9%	693,466	12.0%	104,358
幼 稚 園 費	139,471	2.2%	177,562	3.1%	△ 38,091
社会教育費	1,144,343	18.4%	1,103,118	19.1%	41,225
保健体育費	1,851,890	29.8%	1,838,318	31.9%	13,572

Ⅲ 学校教育

基本目標と基本施策

令和３年３月、市長部局と教育委員会の協議の場である総合教育会議において、「上田市教育大綱」及び同大綱が示す学校教育分野の実行計画として「第３期上田市教育支援プラン（計画期間：令和３年度から令和７年度）」が策定されました。

第３期上田市教育支援プランでは上田市教育大綱の基本理念「^{きらめ}燦と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり」に込められた思いを受け、

- 確かな学力を養う
- ふるさと「上田」を愛する心を育む
- 未来を切り拓く力を養う

これら３つの基本目標を掲げ、５つの基本施策と１４の支援策を掲げ支援を推進していきます。

基 本 施 策		支 援 策	
1	確かな学力の育成	1	知識や技能の習得とともに、自ら考え課題を解決する力を育む 授業づくりの推進
		2	ICT を活用した効果的な授業の推進
		3	授業と関連付けた計画的な家庭学習の充実
2	未来を切り拓く力の育成	4	国際社会を生き抜くコミュニケーション能力の育成
		5	幼保小中高大の連携推進
		6	キャリア教育の推進
3	豊かな心と健やかな身体 の育成	7	豊かな心を育む教育の推進
		8	食育の推進
		9	体力づくり・健康づくりの推進
4	すべての子どもに寄り添 う支援	10	悩みを抱える児童生徒への支援
		11	特別な支援を要する児童生徒への支援
5	ふるさとを愛する心の育 成 地域との連携・協働による 安全安心で信頼される学 校づくり	12	地域による学校支援の仕組みづくりの推進
		13	地域を学び、地域に対する愛着を深める教育の推進
		14	自然を愛し自然を守る教育の推進 災害や犯罪から自らを守る教育の推進

市立学校一覧

小学校

校 名	所 在 地	創立年月	校 長 名	教 頭 名	電話番号	ホームページ
清 明	大手二丁目4番41号	昭和34年 4月	竹内 仁一	土屋 智則	22-0804	http://www.school.umic.jp/seimei/
東	材木町一丁目10番13号	大正5年 4月	山寺 政幸	田中 誠	22-0105	http://www.school.umic.jp/higashi/
西	常磐城五丁目1番53号	明治6年 11月	滝澤 政彦	宮下 聡	22-0419	http://www.school.umic.jp/nishi/
北	中央北三丁目1番52号	昭和3年 10月	堀内 絹予	三井 将志	23-1621	http://www.school.umic.jp/kita/
城 下	諏訪形928番地2	明治6年 12月	柳原 孝一	丸山 大	23-0708	http://www.school.umic.jp/shiroshita/
塩 尻	上塩尻219番地	明治42年 4月	水沢 博昭	齋藤 宏理	22-1904	http://www.school.umic.jp/shiojiri/
川 辺	上田原367番地	明治6年 12月	金澤 正明	園部勇一郎	22-5008	http://www.school.umic.jp/kawabe/
神 川	国分1386番地	明治6年 11月	宮島 哲也	森 美奈子	22-5302	http://www.school.umic.jp/kangawa/
神 科	住吉386番地1	明治32年 4月	石川 武	小倉 敬	22-0652	http://www.school.umic.jp/kamishina/
豊 殿	芳田968番地1	明治6年 12月	小宮山健一	鷹野 絵理	22-4004	http://www.school.umic.jp/houden/
東 塩 田	古安曾1113番地	明治6年 12月	徳嵩 隆治	大江 照彦	38-2717	http://www.school.umic.jp/higashishioda/
中 塩 田	中野93番地	明治6年 12月	宮澤 雅法	池田 健一	38-2515	http://www.school.umic.jp/nakashioda/
塩 田 西	山田476番地1	平成8年 4月	中村 斉江	山本 崇	38-0900	http://www.school.umic.jp/shiodanishi/
浦 里	浦野237番地	明治6年 12月	神田 博幸	白井 真希	31-2001	http://www.school.umic.jp/urasato/
川 西	仁古田508番地	昭和63年 4月	臼井 富健	小出恵理子	31-2014	http://www.school.umic.jp/kawanishi/
南	中之条485番地	昭和59年 4月	柳澤 誠	小澤 正行	25-3721	http://www.school.umic.jp/minami/
丸 子 中 央	上丸子824番地	昭和46年 4月	久保田俊也	宮田 宗人	42-2112	http://www.school.umic.jp/marukoch/
丸 子 北	生田3556番地	昭和48年 4月	野澤 重徳	山岸 崇	42-2424	http://www.school.umic.jp/marukoke/
塩 川	塩川1400番地	明治6年 11月	菊池 陽子	伊藤 均	35-0070	http://www.school.umic.jp/shiogawa/
菅 平	菅平高原1223番地1419	昭和33年 4月	草間 信一	徳永 吉彦	74-2014	http://www.school.umic.jp/sugadaira/
長	真田町長4200番地3	明治6年 11月	西澤 直記	武田 敦子	72-2012	http://www.school.umic.jp/osa/
傍 陽	真田町傍陽6035番地1	明治6年 12月	加藤 正興	岡田亜紀子	73-2312	http://www.school.umic.jp/soehi/
本 原	真田町本原2175番地1	明治22年 4月	松井真由美	山下 博	72-2068	http://www.school.umic.jp/motohara/
武 石	上武石20番地	明治6年 11月	大塚 健志	中村 孝子	85-2013	http://www.school.umic.jp/takeshi/

中学校

第 一	国分200番地	昭和22年 4月	宮下 哲	柳澤 大介	21-2680	http://www.school.umic.jp/ueda1/
第 二	大手一丁目1番45号	昭和22年 4月	加藤 浩	油井 幸樹	22-0103	http://www.school.umic.jp/ueda2/
第 三	中央北三丁目3番62号	昭和22年 4月	高橋 和美	召田 幸司	22-1622	http://www.school.umic.jp/ueda3/
第 四	諏訪形1200番地 御所38番地 (原峠分室)	昭和34年 4月	大塚 明彦	木下 智宏	22-2753 27-3816 (原峠分室)	http://www.school.umic.jp/ueda4/
第 五	上野441番地	昭和36年 4月	山下 雅弘	今井 拓也	22-3076	http://www.school.umic.jp/ueda5/
塩 田	中野377番地	昭和33年 5月	金井 勝久	中島 行則	38-2501	http://www.school.umic.jp/shioda/
第 六	小泉21番地1	昭和63年 4月	中野 裕顕	富山 貴子	22-5013	http://www.school.umic.jp/ueda6/
丸 子	上丸子1878番地	昭和22年 4月	小山 健史	木次 文子	42-2268	http://www.school.umic.jp/maruko/
丸 子 北	生田3298番地	昭和29年 4月	川口 伸哉	小林 洋一	42-2445	http://www.school.umic.jp/marukokj/
菅 平	菅平高原1223番地1419	昭和33年 4月	草間 信一	吉澤 匠	74-2014	http://www.school.umic.jp/sugadaira/
真 田	真田町長6326番地1	昭和31年 4月	北沢 敦	後藤 理	72-2023	http://www.school.umic.jp/sanada/
上田市長和町 中学校組合立 依田窪南部	下武石111番地	昭和31年 6月	緑川 篤	奥村 典代	85-2332	http://www.yodakubo.ed.jp/

市立認定こども園(幼稚園型)

ち め さ	塩川2620番地	昭和45年 4月	林 里香	—	35-0652
-------	----------	----------	------	---	---------

教育目標・特色ある教育活動

校名	教育目標・特色ある教育活動
清明小	教育目標 … 「清く明るく 豊かな心で 進んで学ぶ子ども」 ◎ 「自主の校風」 … 自ら行動する子ども ○ 「神樹の心」 … 自分や友だちを大切にできる子ども ○ 「一心の道」 … 学び続ける子ども 特色ある教育活動 … 「わくわくと希望が持てる来々となる学校」 ◎ 豊かなかかわりやさまざまな体験を通して、自分で気づき、よく考えて自ら行動できる子どもの育成 【自主の校風】 ○ お互いに認め合う中で自分に自信を持ち、友とのかかわり合いを大切に、共に学習や生活を楽しむことができる子どもの育成 【神樹の心(豊かさ)】 【他者意識の育成】・気持ち伝わるあいさつ「いつでも」「どこでも」「だれにでも」 ・伝える力の向上 【特別活動の充実】・互恵性のある交流活動 ・集団としての合意形成 ・子ども同士のつながりを強くする、子ども主体の活動 ○ 自ら見つけた課題を、友と考えをつなぎからめ合いながら追究し、学び楽しさや高まりを実感できる子ども 【一心の道(学び)】 【学びを拓く】 ・問いを見出し、自らの考えを持つ ・進んで考えを繋ぎ、絡め合う ・見て、触れて、感じる体験 【学びの定着】 ・感動のある学び ・達成感を分かち合う学び ・自分を高める家庭学習や、自主学習 【神樹の時間と学びの連携】 ・「ひと・もの・こと」とつながり、子どもたちの問いから始まる学び ・地域素材に目を向け地域と連携した探究的・協働的な学び ・他教科との連携 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 地域の歴史、文化、自然等に目を向け、地域の「もの・人・こと」から学ぶ、ふるさと学習「神樹の時間」 ・1年: 上田公園での季節探し 栽培活動 ・2年: 自分たちで計画を立てて行った乗り物遠足 栽培活動 ・3年: 街探検 各種身近な地域の施設や仕事などの社会見学 ・4年: みそ造り(前年度より継続して活動) スズムシの飼育 ・5年: 米づくりに関わる学習や体験活動 ・6年: 運動会演目の構成 縦割り班活動の計画と運営 など ○ 各学年で畑の栽培活動、一人一鉢のビオラの花作り ○ 歌声の響く学校づくり、音楽会、合唱部のありがとうコンサートの開催
東小	教育目標 … 「よく気づき よく考え よく働き 進んで学ぶ子ども」 特色ある教育活動 ○ 「地域の皆さんと学ぶ」活動 ・中央公民館との連携 - 地域の方に外部講師を依頼して進めているクラブ活動(中央公民館もクラブの会場として利用) ・地域を題材とした総合的な学習 ○ 「地域に開く」活動 ・地域・保護者ボランティア(ひんがし応援隊)による支援(見守り隊・クラブ講師・読み聞かせ・遠足・登山・ドリル・ミシン・花壇等) ・コミュニティルーム「カモンひがしっ子タイム」の実施(子どもとボランティアさん、ボランティア同士がつながる場づくり) ・PTA主催の東小祭 ・気持ちの良いあいさつを通して、地域の方とのつながりを積極的に求めていくあいさつ運動の実施(通年) ○ 「心身のすこやかな成長を育む」活動 ・児童会を中心にあいさつ活動によるあいさつすることへの意識づけ、あいさつ運動の日常化 ・「時間いっぱい」「すみずみまで」「ひざつき」の清掃「みがきタイム」 ・運動と遊びの場の充実。実態に合った体力向上プランの作成と実施。なかよしタイム(わくわくデイ・あそびデイ) ・MIM(多層指導モデル)を取り入れた学習の推進 ○ 「仲間から学ぶ」活動 ・「憧れ・思いやり」が生まれる異学年交流、なかよし学級交流 ・よさやちがいを受け入れ、認め合える学級・学年・全校集団づくり ・集中日本語教室「虹のかけはし」との交流。他文化を学ぶ活動 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 外部講師を招いての学習 ・地域を学ぶ学習 ○ クラブ活動 ・外部講師によるクラブ活動 ○ 学力向上事業(NRT学力テスト補助や学習プリント集等の購入補助、生活科・総合的な学習の時間の活動補助等に活用)
西小	教育目標 … 「かしこく やさしく たくましく」 大切にしたいこと ○ 「あいさつ」を大切に自ら進んで挨拶をし、他との関係性を積極的に構築していく、子どもたちの主体性を育むこと。 ○ わからない時に遠慮せず「教えて」と言え「教えて」と言われたら、自分のすべてを使って伝え、支えること。 ○ 互いの声に耳を傾け、聴き合い、教室に言葉が響き合うとともに、友と協働し、探求的な学びが深まること。 特色ある教育活動 ○ 人権教育・特別支援教育の充実 ・「あけぼの」を活用しながら人権教育の授業改善を進め、特に高学年では同和教育の推進に力を入れる。 ・通常学級におけるインクルーシブ教育を充実し、1年生のスムーズな小学校移行のための「スタートカリキュラム」を実施する。 ・すべての子どもたちが安心して学ぶことができるよう、いじめや差別のない学級を目指す。 ○ 「教えて」と言える友との関係づくり ・児童が、お互いの言葉を聴き合う関係につながり、それらの言葉が響き合う授業へと発展させる。 ・分からないことを恥ずかしいと思わず、安心して「教えて」と言える友との関係を、「協働的な学び」の土台とする。 ○ つながりを求める交流学習・ふるさと学習の充実 ・「えがお集会」や「なかよしタイム」、「西小アドベンチャー」や「なかよし郵便」などの交流活動を推進する。

校名	教育目標・特色ある教育活動
西小 (つづき)	- 生活科や総合的な学習の時間に、積極的に校外に出て、ふるさとで学びを深める。 ○ 地域ボランティアによる学校支援 ・ 地域の方の教育活動への参画(クラブ活動講師・放課後学習室・園芸・清掃・米づくり・太郎山登山・読み聞かせ等) ・ 子どもと地域の安全を守る、地域の有志による「西小見守り隊」、PTAの「見守っているよ隊」との連携 ○ 教職員の指導力向上 ・ 麻布教育ラボ(東京)の村瀬公胤先生による、「学び合う授業研修」を年2回行い、日々の授業の改善に努める。 ・ 子どもの声に耳を傾ける教師が、ジャンプ課題(応用的な課題)を設定した授業を展開し、友と関わり合いながらペアやグループで学習を深める。 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学力向上に向けての取り組み ・ 学力分析・学力向上のための職員研修や放課後学習室での地域の方による学習支援の継続により、児童が分かる楽しさを感じながら、ねばり強く学習を進めた。 ○ 教職員の指導力向上に向けた取り組み ・ 「学び合う授業研修」により、教師が「教える」授業から、子どもたちが「考える」授業への授業改善を図った。 ・ 「友だちに聞いてみたら分かった」という経験から、教えたり教えられたり、意欲をもって授業に取り組む姿が増えた。 ○ 「身体みがき」の推進 ・ 運動不足や体力低下の解消を目指し、学級での身体みがきに取り組みながら、講師を招いて全校で「身体みがき集会」を開き、実技指導を受けたことにより、健康な体づくりを推進できた。 ○ ふるさと学習の推進 ・ 総合的な学習や生活科の時間に地域に出て学び、探究的な学習ができた。クラブ活動では地域の方を講師に招いた活動を行えた。 ・ 太郎山登山や高原学習、総合的な学習の時間での学習に地域の専門家を招いて指導していただくことにより、自らの疑問が解けたり、新たな知識を獲得したりすることができ、探求的な学びにつながった。 ○ 米づくりや野菜づくり、花壇や一人一鉢での花の栽培などキャリア教育につながる体験 ・ 学年畑での野菜づくりや園芸委員会による花壇での花づくり、一人一鉢での花や野菜の栽培を通して、継続して世話をする苦労や、収穫の喜び、きれいな花が咲いた時の達成感を味わうことができた。
北小	教育目標 …… 「花とみどりと笑顔の学校」 ～10年後、20年後に大輪の花を咲かせるための今の創造～ ○よくふれあい ○よく学び ○よく遊ぶ 特色ある教育活動 【よくふれあい】 ……人やものとかかわろう ○ あいさつの響く学校づくり ・ 人とかかわりのスタートである“あいさつ”を大切にするために、「5つのあいさつ」(おはよう、こんにちは、さようなら、ありがとう、ごめんなさい)を大切にします。 ○ 子ども同士でかかわり合い、笑顔あふれる北小をめざす児童会活動 ・ 笑顔あふれる北小をめざすために全校でかかわり合う活動を大切にします。 ・ 子どもたちのアイディアを生かした学校行事や集会 ○ 「地域の様々な方々とかかわり合う場」の確保 ・ 共に学びあう「北小学校応援団」との連携を図ります。 ・ 外部講師の指導によるクラブ活動を実施します。(4・5・6年生) ・ 地域社会と関わる職業体験学習を行います。(5・6年生) ○ 地域と共にある学校づくりの推奨 ・ 「学校運営委員会」を活性化すると共に、『コミュニティルーム』等を活用した大人の学びと子どもの学びのつながり・北部まちづくり協議会との連携を図っていきます。 【よく学び】 ……じっくり考えよう ○ 心から思いや意見を出したくなる学習展開～自ら出し合った問いを大切に、進んで解決する気持ちを高めよう～ ○ これまでの学びを活用・発揮できる学習過程 ～これまでの学びで身につけてきたことを活用・発揮して、学ぶことの楽しさを感じよう～ ○ 多様な他者とかかわりあうことができる学習環境 ～子ども同士や地域の方々とかかわりから、表現することの面白さや喜びを分かち合おう～ 【よく遊ぶ】 ……たくさん遊ぼう 水曜日は清掃をなしとして、30分間存分に遊び込むことができる「ハッピータイム」を設定します。 外遊び・かかわり遊びを推奨し、遊びを通じて、友だちとのよりよいかかわりを体得します。 《 誇りのもてる特色ある活動 》 ・ 「多様な他者との関わり」 外部講師によるクラブ活動 ・ 「異学年交流でのふれあい」 遊びの広場 ・ 「花づくりを通した環境美化教育」みんなで育てるフラワーロード ・ 「職場体験学習」地域の職場で実施 ・ 「コミュニティスクール」北小応援団との連携(PTA作業、救急救命講習会、大人の学び講座) ・ 「子どもを支えるPTA活動」親子チャレンジ、北小まつり ・ 読み聞かせボランティア「このゆびとまれ」による読み聞かせ 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ① フラワーロード花壇づくり体験活動 ② 生活科・総合的な学習の時間の体験活動 ③ 地域の方を講師としたクラブ活動および体験活動 ④ 外部講師を招いての音楽指導 ⑤ 一人一台端末を生かした教育支援の研究
城下小	教育目標 …… 「まなび きたえ とともにのびる子」～今を・未来を喜びをもって生きる子ども～ ○ 自ら求めて学び合う子ども(まなび) ○ 明るくたくましい子ども(きたえ) ○ 友や地域と関わり感じ合える子ども(ともにのびる子)

校名	教育目標・特色ある教育活動
城下小 (つづき)	本年度の重点 ○ 自分から つなげるあいさつ、つなげる学び、つなげるこころ ねっちゅう、ぼっとう、ひたむきに取り組む 城下っ子 特色ある教育活動 ○ 花、野菜、米作りや地域の自然を教材とした体験学習を通して、自然とふれあい、自然を大切にすることを育てる。 ○ 「あらわす(自分の考えを示す)」「はなす(自分の考えをもとに友と伝え合う)」「つなぐ(自分と友との考えをむすびつける、既習事項をいかす)」ことを通して、「友と学び合い、自ら探究する授業」を展開する。 ○ 地域の講師から城下の歴史・産業・文化遺産について学んだり、学習やクラブ活動の支援をしていただいたりして、地域のよさを知り、ふるさとを愛する心を育てる。 ○ 全校でのマラソントイムや体育集会に継続して取り組み、がんばる気持ちと体力の向上を図る。 ○ 学期ごとの教育相談や心のアンケートの実施を通して自己を振り返り、自他を大切にすることを醸成する。 ○ 児童会を中心に、笑顔で気持ちがよいあいさつが飛び交う学校、仲良し学級の交流をもとに、全校児童がふれあう学校をめざす。 ○ PTA主催の諸行事や地域の方々による「こすもすひろば」の中で、保護者・地域の方とのふれあいを楽しむ。 ○ 授業のユニバーサルデザイン化を推進する。 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 講師の支援による、「ふるさと城下」を学ぶ地域学習や楽しいクラブ活動・より広い知識を得られる学習活動 ○ 生活科や総合的な学習の教材や掲示物によるまとめ・発表 ○ 自然とふれあう栽培活動(米、草花、野菜) ○ 授業のユニバーサルデザイン化の推進 ○ 児童の交流活動にかかわる掲示物や教材 ○ 学力向上事業(CRT・Q-U検査・MIMデジタルおよび職員研修費)
塩尻小	教育目標 ○ 思いやりのある子ども ○ じょうぶな子ども ○ よく考える子ども ○ 最後までやりぬく子ども 本年度の重点目標 全校の合言葉 「さあ、やってみよう」 「友だちから学ぶ」「本から学ぶ」「地域から学ぶ」 特色ある教育活動 ○ 地域講師を招いてのクラブ活動・・・自然観察・体験、箏、イラスト漫画、けん玉、みそづくり、習字 ○ 地域講師を招いての総合的な学習や生活科学学習・・・養蚕(蚕種)、ホタルの幼虫飼育、ゆうすげの里でのアサギマダラ観察 地域学習 等 ○ 異学年交流活動・・・なかよし学級(大縄大会、ペア給食、花づくり)、全校児童の交流活動(全校体育、音楽・縦割り清掃)、塩尻保育園やあそびの森あきわたとの交流など、異年齢の交流活動を積極的に進める。 ○ 開校記念集会・・・全校で開校記念の歌を歌い、本校の歴史を学ぶ。 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 花づくり委員会を中心に、学校花壇の整備や一人一鉢の花づくりで、年間を通して花を育てる活動に取り組んだ。 ○ 地域の人材を活用したクラブ活動の充実・・・地域講師を招き、活動費や謝礼として活用 ○ 地域の人材を活用した総合的な学習や生活科学学習・・・養蚕、「ゆうすげの里」での自然体験、アサギマダラ観察、米・野菜づくり、1年筒けん体験、3年地域探検学習、5年高原学習での自然観察学習、6年社会見学で「探究の時間」の実施 ○ 安心して学習できる学級づくりのためのQ-U検査 ○ CRT、NRTの学力検査を実施し、各学年の傾向を把握し、授業改善を図る。 ○ 児童の学力定着を支える補助教材の購入
川辺小	教育目標 「たくましく かしい子どもの育成」 ○ 深く考え取り組む子ども【知】 …… かんがえよう ○ 思いやりのある子ども【徳】 …… つながろう ○ 健康でがんばりのきく子ども【体】 …… やりぬこう 本年度の重点 合言葉「さあ、つながろう！」 「互いに認め合える、居心地のよい学校づくり」 特色ある教育活動 ○ 一人ひとりの子どもの「よさ」に目を向け、「学びのユニバーサルデザイン化(川辺小スタンダード)」を目指した授業づくり 「目で見て はっきり あたたく」 視覚的、具体的、肯定的 ○ 川辺小コミュニティスクールを中核とした地域との連携 多くの外部講師から学ぶことのできるクラブ活動(上田原合戦太鼓、けん玉、パソコン) 読み聞かせボランティア「やさいもころりん」の皆さんによる読み聞かせ 学校田での米作り学習 ○ 地域の自然や文化を生かした学習・体験活動 校内に設置されている「川辺泉田地域歴史資料館」を活用した学習 地域の方による歴史講演会と太鼓演奏の鑑賞 地域探検(社会見学)、川辺の歴史調べ等 地域文化学習として「上田原合戦太鼓保存会」の方から太鼓を学ぶ 各学年ごとの野菜や花づくり、収穫祭、もちつき、しめ縄づくり等 ○ 仲よし会(児童会)による縦割りグループでの仲よし集会、友遊学級でのふれ合い活動など 全校児童がなかよく関わりを深め合う活動 ○ 様々な人との交流 福祉施設との交流、保育園との交流、特別支援学校との交流 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 地域探検・・・ひと・こと・ものとの出会い

校名	教育目標・特色ある教育活動
川辺小 (つづき)	○ 栽培活動・・・さつまいも、大豆づくり ○ 米づくり・・・地域講師による米づくり学習、収穫祭 ○ 花づくり・・・児童会や全校児童による花づくり ○ クラブ活動・・・地域の達人に学ぶ 児童の主体的なクラブ運営
神川小	教育目標 …… 「考える子」「心の美しい子」「たくましい子」 本年度の重点目標 ・楽しく読む子 ・あいさつする子 ・元気に遊ぶ子 ☆ 学校訓 『自分が直接感じたものが尊い そこから種々の仕事が生れてくるものでなければならない』 山本 鼎 特色ある教育活動 〈子どもも先生も「学校の楽しさをともに味わう学校～わくわくしょう～」〉 ○ 全ての学びの基礎となる読みの力の向上に向けて 「神川スタンダード」「学びのユニバーサルデザイン」全学級で大切にする学習の基本と学習環境作り 「多様な学習形態」ペア・グループ学習、複数教員・教科担任制による児童指導 「特別支援学級」「かんがわ教室」「日本語教室」「ことばの教室」個に合った学びの場の提供 スタートカリキュラム、MIM, 小中連携事業による「小1の壁」「中1の壁」の最小化 ○ あいさつを通して心と心をつなぐ 「あいさつ」「なかよし学年」を中核に据えた児童会活動の実施 児童会活動とタイアップした改札活動の実施 「神川っ子」や月に一度、学年の枠を超えた「スーパー神川っ子」で交流を深める 家庭や地域と連携したあいさつ活動 ○ 元気に遊ぶ子 休み時間の延長～わくわくタイム～(子どもも教師も一緒に遊ぶ機会づくり) 神川ランド、中庭、ロータリーの有効活用(縄跳び・一輪車・竹馬・鬼ごっこやかくれんぼなど多様なあそび場づくり) 楽しみながら行う体育(つけたい力を意識した運動の取り組み) ○ 保護者・地域との連携 「ふるさと学習」や「国分寺史跡公園清掃」、「上田養護学校との交流」等、地域とつながる交流活動 「クラブ活動」「ボランティアルーム」「登校見守り隊」等、地域の方々との交流 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ・ 野菜作りや米作りなどの活動を通して、自分たちで育てることの苦労を感じるとともに、収穫の喜びを味わうことができた。実体験を通して、野菜や米、花の育て方も習得した。さらには、活動を支えてくださった方々への感謝の気持ちを抱くことができ、とても豊かな活動となった。また、花作りでは、自ら進んで学校環境を整えていく意識を高めることにつながった。米作りからしめ縄づくり、大豆作りからみそ作りへと収穫、調理だけでなく、発展した体験や学習につながった。 ・ 1年生の学年室を6年生の子どもたちの手で装飾し、心がぽかぽかとあたたまる場所「POKKAぽっか」と名づけた。毎週木曜日の休み時間、地域ボランティアの皆さんがこの部屋に集まってくれるようになり、子どもたちとボランティアさんの笑い声が響く場所となった。 ・ 教室のタイムタイマーや特別支援学級のパーテーションを購入した。特別支援学級児童の個別の机上が暗いために簡易ライトを購入し、学習環境を整えた。 ・ 山本鼎先生の農民美術、児童自由画運動について理解を深めるため、講師をお呼びして、お話をお聞きして、地域学習の導入とした。 ・ ボッチャを通して、パラスポーツを楽しむとともに、人権教育を深めることができた。
神科小	教育目標 「笑顔輝く 楽しい学校」 ○やさしさ ○かしこさ ○たくましさ ○ 自分を大事にできる子 相手も大事にできる子 特色ある教育活動 ○ 人・こと・ものを協働的に学ぶ総合・生活科・特別活動の充実 【他者との関わる力を育む】 ・総合や生活科を軸として学年や学級の文化を育てる ・地域のよさを生かし、人・こと・ものとの出会いから、体験を通した学びの場を設ける ・お互いの良さや特徴を認め合う交流「なかよし学級」「ふれひま学級」「のびのびタイム」、児童会とリンクした活動、「お助けっ十隊」と交流 ○ 自ら探究的に学習し発信する取組 【学びに向かう力を育む】 ・教科担任制による「分かる・できる」授業づくり、自由進捗学習等による主体的な学習 ・朝のドリル時間や読書充実で集中力、聞く力のアップ ・探究的(課題設定→情報収集→整理分析→まとめ発信)な学習への取組 ○ 体力・自律心の向上を図り、教師も子どもも地域と共にチャレンジ 【挑戦する力を育む】 ・決まりを守れる自分(自律)、高学年の良い行動を手本にしていく伝統の継承 ・地域の方との交流や、玄蕃山などの地域の自然を生かした活動の充実 ・音楽や芸術を楽しめる豊かな心や感性を醸成 ・お助けっ十隊における遊びや運動ランキングによる交流活動や開かれた楽しい学校づくり ・神科っ子ふれあい隊(見守り隊)による登下校や休日の見守り、安全点検等の安全支援 ・個別の指導計画作成研修活用、Q-U検査を活用した学級づくり 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学力向上に向けて、児童個々が自分の力をのびのびと発揮できる学級づくりのためのQ-U検査の実施と活用 ・2年生以上でのQUの実施と、診断結果を用いた指導支援のための研修を実施 ○ 総合的な学習の時間、生活科への材料・教材等への支援 ・5年生の米づくりと餅づくり、しめ縄づくり等の活動 ・1,2年生はサツマイモ等栽培し、秋には焼いも大会。 ・3,4年生は、様々な野菜を種から育てる栽培活動の実施 ○ 6年生が、地域とともに歩んだ玄蕃山夢プロジェクト ○ 総合的な学習の時間における講師招聘 ・6年、地域の方と竹ランタンづくりを行って、伝統文化の体験、地域の方との交流

校名	教育目標・特色ある教育活動
神科小 (つづき)	・6年、棚田や玄蕃山に関わる地域の方と一緒に流しそうめん交流 ○ お助けっ十さん(ボランティア)との活動。 ・1年生がお助けっ十さん達と一緒に参画するやきいも大会 ○ PTAと子どもたちで創り上げる神科まつり ・子どもたちの得意やよさを活かしたふれあい・ひまわり学級の販売活動
豊殿小	教育目標 … 「心豊かで向上心を持ち実践力のある子どもの育成」 目指す子ども像 「優しい言葉をかけ合える子 助け合える子 チャレンジできる子 よく考え行動にうつす子」 合 言 葉 「つたえよう」「くふうしよう」「やってみよう」 特色ある教育活動 … 「学びづくり ・ 心づくり ・ 体づくり」 ○ 学びづくり …子どもが主語の授業を実現 1 自他の考えを理解し合える聴き方・話し方 ・聴き方・話し方のルールづくり ・聴きたくなる・話したくなる授業づくり ・金曜日の朝の時間での対話をしながらの作品鑑賞 2 基礎的な学力の育成 ・ポブラタイム(水曜日5校時)でのeライブラリを使った自主的な学習 ・火曜日・木曜日の朝の時間でのドリル学習 3 豊殿の宝を活用した探究的な学びの創造 4 成長を実感する振り返りの充実 ○ 心づくり …多様性に触れ違いを認め合える人間の形成 1 気遣い、助け合い、励まし合い、感謝の伝え合いを大切にした場の設定 2 縦割りの活動の充実 3 自分のよさに気付く活動 4 伝え合い、相互に認め合う活動 5 朝の時間の最初にクラスの歌を歌う活動、クラスの歌のレパートリーを増やしていく活動 6 豊殿小お掃除マイスターへの道(効率的な掃除について考え実行する) 7 社会の様々な立場の方との交流 ○ 体づくり …健やかな身体の形成 1 健康な身体づくりを目指した理学療法士との毎月の運動 2 全校マラソンで走行距離を伸ばして校章をつくる活動 3 食育・メディア教育の実施 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学力向上に向けての授業改善・学習環境づくり ・個々の児童の基礎的な学力の伸長を目指し、CRTを活用した授業改善 ・落ち着いて学習できる環境づくり(花壇・鉢植えづくり、作品展示場所づくり)、他者理解や他者への思いやりの心を育む - 縦割り活動や他の学年との活動の実施 ○ 地域の資源を活用し、地域で地域を学ぶ学習 ・棚田での米作りに関する講師の依頼 ・棚田と共にある自然(昆虫や小動物、水、植物)に関する講師の依頼
東塩田小	教育目標 ○ 「かしこく」… ○学力の向上(課題をもち、解決の努力をする子) ・友との意見交流を経て課題を解決するプロセスを学ぶ ・相手の意見をしっかり聞き、適切に応答する力を養う ○ 「やさしく」… ○よりよい集団作り(認め合い、適切な判断をする子) ・よりよい人間関係を作り、集団としての意思決定を尊重する ・相手の立場に寄り添い、互いに認め合う関係をつくる ○ 「たくましく」・ ○心力と体力の増進(心と体の健康の保持に努める子) ・身体を動かし、積極的に体力の増進に努める ・悩みを一人で抱えずに、困ったときには相談する 学校運営の重点「受けとる・伝える」 教育目標具現のため教職員・児童と共有 特色ある教育活動 ○ 「かしこく」～学力向上～ ・重点研究 ・授業のユニバーサルデザイン化 ・「未来をひらくしおだっ子」の取り組み ・授業の基本の再確認 ○ 「やさしく」～よりよい集団作り～ ・連学年による授業と学校生活の充実 ・教育相談の充実 ・児童会活動の充実 ・人権同和教育の推進 ○ 「たくましく」～心力と体力の増進～ ・柔軟性を高める「からだみがき体操」の日常化 ・校内外の安全教育の充実 ・給食指導の習慣化と、健康と食に関する指導の充実 ○ 「その他」 取り組みを支える職員研修、地域との連携

校名	教育目標・特色ある教育活動
東塩田小 (つづき)	・授業のUD化授業改善研修 ・非違行為の根絶研修 ・地域講師の積極的依頼 ・「安曽岡会」との連携 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ・「蚕を育てよう」(蚕飼育用資材代として交付金を使用) ・「新聞を作ろう」(タブレット新聞編集ソフト使用料として交付金を使用) ・「野菜を育てよう」(苗代、土代として交付金を使用) ・「花を生けよう」(クラブ講師謝礼として交付金を使用)
中塩田小	教育目標 ○「よく考え、工夫する子ども」 ○「人やものにやさしい子ども」 ○「進んで取り組み、やりぬく子ども」 特色ある教育活動 ○ カンナ(学校のシンボル:4年生)の栽培や盈進農園での野菜作り、盈進池における環境教育など自然との関わり、栽培活動などを通して、生命(いのち)の大切さを学ぶ。 ○ 「朝の活動」の時間を利用した諸活動の充実(毎日8:25～8:40) ・チャレンジタイムの実施(学習支援ボランティアの協力(○付け)を得て、基礎基本の定着や個の学びを育てる学習活動)や「家庭学習の手引き」を活用しながら、家庭学習の習慣化と基礎学力の定着を図る。 ・体力向上、よい姿勢づくりを目的とした「身体みがき運動」の実施 ・地域の読み聞かせボランティア「ちちんぷい」の皆さんによる読み聞かせ活動を通して、読書への意欲を高める。 ○ 学習支援ボランティアによる、1・2年生への外国語学習の実施 ○ マラソンや縄跳び等の運動を根気強く継続して取り組むことを通して、課題である敏捷性と持久力を高める。(児童会のマラソン月間との連携) ○ PTA主催の「盈進祭り」や保育園・幼稚園・福祉施設との交流を通して、人との関わりを大切にした教育活動を行う。 ○ 「授業のUD(ユニバーサルデザイン)化」を意識した授業づくりや職員研修を推進していく。 ○ MIM(多層指導モデル)を取り入れた学習の推進(1～5年) ○ 児童1人1台端末を活用したICT授業の推進 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ カンナ(学校のシンボル花:4年)をはじめとした様々な花の栽培、盈進農園での野菜の栽培活動及び収穫祭 ○ ヒツジ、小動物の飼育活動の中核に据えたいのちの学習(特別支援学級、全校) ○ 地域に根ざした総合的な学習(2年:大豆づくり等) ○ いのちの学習(助産師さんを講師に迎えて6年生出前学習の実施) ○ 朝日小学生新聞の購読 ○ 学習支援ボランティアによる低学年への外国語指導(国際理解教育) ○ 読み聞かせボランティアによる本に親しむ活動(全クラスでの読み聞かせ)
塩田西小	教育目標 ○ かしこく……意欲的に学習に取り組む子ども ○ やさしく……人やものを大切に子ども ○ たくましく……心と体をきたえる子ども 特色ある教育活動 ○ 地域のひと・もの・ことに関わりながら探究的に取り組む「ふるさと学習」の推進 <全校> 1 みどりの少年団活動を通して、身近な環境についての関心を高め、環境保全を実践する。 2 本校南側前方(徒歩2分)の私有林を整備して学校林「ゆめの森」として活用する。 <各学年> 1年:自然となかよし「ゆめの森であそぼう」 2年:育てよう 野菜や動物「大豆を育てて発展学習へ」「ウサギの飼育」 3年:塩田の宝「地域探検」 交流活動「すぐりの会・さくら国際高校」 4年:塩田の宝「ため池学習」 森とのかかわり「シイタケ栽培」 みどりの少年団「交流集会・植樹祭」 長野大学と連携し苗木を育て被災地を支援する活動「たねぷろじえくと」 5年:塩田平の農業「米作り、収穫祭」 6年:塩田平の文化「コカリナ作りと演奏」「地域の歴史・地質」 ○ 授業力を高める重点研究 「目をかがやかせ、自ら学ぶ子どもと教師」 主体的・探究的な学びを大切にした研究 ・塩田地区UD化研修会(・塩田西スタイルの授業を日常化する。・一人一公開による教職員の学び合い。) 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 各学年ふるさと体験学習 1年:自然となかよし「ゆめの森であそぼう」 2年:育てよう 野菜や動物「大豆を育てて豆腐を作ろう」「ウサギの飼育」 3年:塩田の宝「地域探検」「さくら国際高校との交流」 4年:塩田の宝「シイタケ栽培」「たねぷろじえくと」 5年:塩田平の農業「米作り、収穫祭」 6年:塩田平の文化「コカリナ作りと演奏」「地域探検 地域の地質」 ○ 学びのUD化の視点を生かした授業改善
浦里小	教育目標 …… 「自分のよさを切り拓く子ども」 特色ある教育活動 本年度の重点【気づき 問いかけ やってみる】子どもの育成 ○ 進んで勉強しよう

校名	教育目標・特色ある教育活動
浦里小 (つづき)	①日常の授業の充実(「ねらい」「めりはり」「みとどけ」、疑問形の学習問題、学習評価の研究) ②意義を感じやりがいのある家庭学習 ③教科等支援ボランティアの活用(教科支援ボランティアの拡充) ④職員研修の充実 ○ 思いやりのある人になろう ①適切なコミュニケーション能力の育成 ②多様な人間関係の経験(連学年授業、児童会「遊びの日」、相手を意識した挨拶、地域・長生との交流、遠隔授業) ③一人一人が安心できる居場所づくり(聴く・受けとめる・推測する姿勢を育てる、挨拶の励行、個別の指導計画作成) ④うるおいのある環境の維持(環境美化活動や清掃活動の師弟同行、教室環境のUD化、花いっぱい学校) ○ 丈夫な心と体をつくろう ①健康・運動の日常化(姿勢教育の推進、地域講師を招いての体みがき、運動の定期化、健康教育、性教育の充実) ②野菜等の栽培と食育の融合 ③自己有用感を育てる(清掃活動・児童会活動・学級活動・当番活動) ○ ふるさと(浦里)に学ぼう ①地域や家庭との連携の深化(校舎を大切に使う日、ふるさと学習発表会、コミュニティスクール便り・テトルでの連絡 共に関わる・共に作業する機会の設定) ②地域素材の教材化と活用(素材の掘り起こし、職場体験、地域を知り、問題に気づき、関わり、解決を目指す学習の推進) ③コミュニティスクール実践目標への取り組み(一秒の言葉から 関わりを増やす・広げる) 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学力向上事業(デジタル教科書、音楽指導、教材購入) ○ お助け隊・地域の方との活動(オクレンジャー加入費用・こまゆみ教室材料費他) ○ 栽培飼育活動(ひまわり迷路、カモ、蚕、ウサギ他)
川西小	教育目標 「自ら考え、ともに高め合い、かがやく子」 令和7年度重点目標 < 自分を超える > めざす学校像 1 子どもが主人公の学校 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現 ○「探究的な学習」の充実 2 誰もが輝ける学校 ○通常学級における特別支援教育の充実 「か」 からだをきたえ 元気がよく 毎日を過ごそう …進んで体を鍛え、明るく、元気に活動する子(体) 「わ」 わかる できるまで ねばり強く 考えよう …自らねばり強く考え、課題を解決しようとする子(知) 「に」 にこにこ笑顔とあいさつで 仲よくしよう …笑顔とあいさつを大切に、友だちと協力し合える子(情) 「し」 じぶんから 何事も 進んでやろう …自分で考え、進んで物事に取り組む子(意) 特色ある教育活動 ○ 子どもたちが主体となり、対話的・探究的な学びにつながる授業づくりを図る。 ○ 「紡ぐ」を活用して計画を立てたり、自主学習週間を設定したりしながら、家庭学習の習慣化と自主学習を積極的に行う。 ○ 学校運営協議会・PTA・川西公民館・地域ボランティアとの連携を深め、地域と共に、楽しい学校創りを図る。 ○ 体づくり運動を中心とした全校体育や、全身を使った遊びや体幹トレーニングやコーディネーション運動を行う。 ○ しいのみ療護園・室賀の里・小泉ふれあいホームなどの福祉施設との交流活動や、認知症サポーター講座、兄弟姉妹学級との交流等を通して、優しさに満ちた自発性のある子どもの育成を目指す。 ○ 児童会による挨拶運動、児童会主催の川西小祭り、朝の学級活動など、子どもの願いを大切に活動を行う。 ○ 「シャボン玉」による読み聞かせ、室賀川での川遊び、焼き芋会や稲作りなどの農業体験をはじめ、課外クラブ(金管)、チョウの飼育活動、授業支援等、地域の方と触れ合いながら、地域の方々と共に創り出す活動を展開する。 ○ メディアの活用と共に、情報モラルについても考え、メディアコントロールデーの設定などで家庭と共に適切な関わり方を考えていく。 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 地域との連携事業(総合的な学習の時間や教科等での講師および教材費) ○ 栽培活動事業(花壇および理科園における野菜づくりや栽培活動のための土・苗・肥料代等) ○ 学力向上事業(CRT・Q-U検査・MIM等の補助および職員研修費)
南小	教育目標 … 「つよく・たたく・あたたかく」 ○ つよく → 【どどん磨き合い】「根気よく清掃に取り組む」 ①無言清掃・気づき清掃の推進 ②高学年がお手本となるひざつき清掃の推進 ③協働することのよさ、奉仕の大切さの自覚 ○ たたく → 【わくわく学び合い】「自分の考えを持ち表現する」 ①授業のユニバーサルデザイン化での授業改善 ②「聴き合う・伝え合う」「考える・書く」活動の重視 ○ あたたかく → 【にこにこ響き合い】「自分から進んであいさつする」 ①「あいさつのこだまが響き合う」学校づくり ②児童会を中心とした交流活動の充実による自己有用感の向上 特色ある教育活動 ○ 「根気よく清掃に取り組む」「自分の考えを持ち表現する」「自分から進んであいさつする」に重点を置いた教育活動の推進 ○ 授業のユニバーサルデザイン化の実践→南小スタイルの授業づくりの確立 ○ 保護者・地域の方との連携を図った教育の推進 ・地域の講師による学習 ・学校支援ボランティアとの連携 ・地域・PTAから学ぶ「みなみチャレンジ教室」 ・外部講師から学ぶクラブ活動の実施 ・地域の施設(御所苑、しいのみ園)や幼稚園、保育園、中学校との交流活動 ○ 仲間と心を合わせて歌声を響かせあう学校 ○ 兄弟学級や縦割り活動の充実による認め合える仲間づくり ○ あおぞら・たいよう学級・ことばの教室・日本語教室・心の相談室・保健室と学級がつながり合う支援や共通理解 ○ 先生交流・合同授業・部分教科担任制などによるチーム支援体制の推進

校名	教育目標・特色ある教育活動
南小 (つづき)	令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 1年「みんなで育てて収穫しよう」「季節の行事を楽しもう」 ○ 2年「生き物を育てよう」「野菜を育てて収穫しよう」 ○ 3年「みそづくりを学ぼう」 ○ 3年「冬のスポーツ・スケートを楽しもう」 ○ 4年「冬のスポーツ・スケートを楽しもう」 ○ 5年「冬のスポーツ・スキーに親しもう」 ○ 6年「冬のスポーツ・スキーに親しもう」 ○ 特支「親子で楽しもう」「みんなで育てて収穫しよう」 ○ 児童会みどり委員会「花いっぱい活動(花とみどりがあふれる学校にしよう)」 ○ クラブ「いろいろな種目に挑戦しよう」 ○ QU検査の実施と分析
丸子中央 小	教育目標 …… 「かしこく やさしく ひたむきに」～知恵・思いやり・ねばり～ 特色ある教育活動～早く行きたくなる学校～ ○かしこく[知恵]考え合う愉しさ ・全学級ができるようになる「5つのやくそく」 聞く 考える 調べる 伝える ふりかえる ・授業中に考えを書き、声にし、必然性のある対話学習の推進 ・地域社会をテーマとした総合的な学習の時間や教科学習の充実 ・授業のUD化・ICTの活用・発展学習などで子ども自らが考え合い、友と学び合う授業づくりを目指す ○ やさしく[思いやり]プラスの言葉・行動 ・場に応じた明るいあいさつや返事の日常化(あいさつ旬間、連合婦人会・丸子中学校とのあいさつ運動等) ・多様性を認め合う道徳、人権同和教育の実践や交流活動の実施 ・インクルーシブ教育の充実や個を大事にしたチーム支援 ・心をつなげた歌声が響く学校づくり ○ひたむきに[ねばり]やり続ける粘り強さ ・「体みがき体操」「マラソクラスマッチ」で心身を鍛えたり学習に臨む姿勢を整えたりする ・時間いっぱい一人で向き合う清掃活動 ・「つむぐ」を活用し、睡眠・メディアとの付き合い・家庭学習など、家庭と連携し、自立の芽を伸ばす ○ 新生丸子中央小学校、両校の文化をつなげる取り組み ～小中9年間の見通しを持った学びの中で～ ・西内小のよさを活かした活動の工夫(登り窯、陶芸クラブ、西内小の施設利用等) ・子ども自らが考え合い、友と学び合う授業づくりや自主学習の推進 ○ 地域との交流活動 ・米作りや食育を通した丸子修学館高校との交流 地域の方との野菜の栽培 保育園との交流 ○ 学校支援ボランティアとの教育活動 ・コミュニティルームでの遊びを通した学びの活動 ・読み聞かせボランティアによる読み聞かせ活動 ・地域の事業所と連携した野菜作り等の体験活動 ・多様な地域講師によるクラブ活動の運営 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学校教育目標具現に向けて、児童理解を深め、特色を生かす教育への取組(CRT・NINO、職員研修) ○ 地域ボランティア(まるっこ応援隊)との交流及び豊かな体験活動 ○ 新生丸子中央小学校、両校の文化を未来へつなげよう！ ○ 総合的な学習の時間、クラブ活動、課外活動等(地域講師の招聘など) ○ 花や農作物を育てる体験を通し、命の大切さに触れる教育への取組
丸子北小	教育目標 ○ 違いを認め、お互いを大切にする子 ○ 自分の考えを持ち、進んで学ぶ子 ○ 最後までやり抜く子 特色ある教育活動 …… 恵まれた学習環境の中での豊かな学び ○ 地域の自然、伝統、文化、人材を活用した「生活科」「総合的学習」「課外活動」 ・ソルガム栽培 ・ヤギ飼育 ・米づくり ・お蚕さん ・地域探検 ・金管部 ・合唱部 ○ 地域との交流活動 ・地域交流あいさつデー ・地域の方に感謝する会 ・「青少年ネットワーク会議」への参加 ○ 福祉ボランティア活動 ・福祉施設の訪問活動 ・保育園での奉仕活動 ○ 環境保全と自然保護の活動 ・全校奉仕デー ・地域の美化活動 ○ 40分授業午前5時間授業の日課の工夫により、基礎学力、探究力の向上を目指す ○ フリースタイルプロジェクトを通して、主体的に探究する力の育成を目指す ○ 朝読書を通して、落ち着いた一日のスタートを図り、読解力の向上を目指す ○ 毎週水曜日「北小っ子タイム」 子どもと向き合う時間の設定 「ふれあいタイム」異年齢交流 ○ 「心みがき清掃(自問清掃)の充実」… 3つの玉「がまん玉」「しんせつ玉」「みつけ玉」を磨く ○ 「にじいろ文庫」の皆さんによる読み聞かせ活動 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 一般分 ・生活科・総合的学習(1年:栽培活動、2年:栽培活動、3年:飼育活動、4年:栽培活動、5年:米作り、6年:命の学習) ・奉仕デー(環境保全活動) ・エコ作戦(省エネ活動) 等 ○ 学校提案型 ・麻布教育ラボ所長村瀬公胤先生を招聘して「学び合い学習」についての研修を実施し、授業改善を図った。

校名	教育目標・特色ある教育活動
丸子北小 (つづき)	・「Q-U検査」と、その分析を生かした学級づくり
塩川小	教育目標・・・「知識をきわめ、意気をねり、ゆかしき心を養う子ども」 特色ある教育活動 ○ 地域との交流活動 ・月1度の地域交流あいさつデー(PTA・地域ボランティア・地元企業も参加) ○ 地域の方による学校支援ボランティアとの教育活動(塩川小信州型コミュニティスクール) - 生活科・総合的な学習の学習支援 ・2年塩川敬老園訪問 ・3年ジャガイモ栽培、ホタル学習 ・4年梔子ワイナリー周辺に希少種蝶(オオルリシジミ)の食草を増やす活動(後期)、ブドウ苗木の植樹 ・5年米づくり、梔子ワイナリー周辺に希少種蝶(オオルリシジミ)の食草を増やす活動(前期) ・全校花の栽培 - クラブ支援 ・年間6回のクラブ活動への支援 - 学習支援 ・塩川おはなしの会の方による読み聞かせ活動(年間17回) ・家庭科支援 ・外国語学習の支援 - 学年行事支援 ・5年烏帽子登山への引率支援 ・スキー教室引率支援 - 補習学習支援 ・家庭学習定着を目的とした週2回の放課後スクール - 登下校の安全 ・塩川見守り隊による交通指導 ○ 地域に開かれた学校づくり ・参観日の授業を地域公開(9月、11月に予定) ・ボランティア多目的室の設置(地域ボランティアの方の活動で使用。児童との交流) ○ 幼保・小・中連携 ・小1スタートカリキュラムの充実 ・1、5年生を中心とした幼保との交流 ・丸北中体験入学、出前授業、「赤ペン先輩」の活用 ○ 子どもたちの「やってみたい」を追究するFA(FEEL&ACT)タイム ○ 基礎学力の定着を図ったチャレンジタイム ○ なかよしグループ(全校縦割りグループ)による縦割り交流 ○ マラソン大会とマラソン旬間による体力向上 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学力向上・学級づくり ・CRT ・Q-U検査 ・職員研修 ○ 地域と連携したふるさと学習(生活科、総合的な学習) ・花壇づくり、栽培活動、一人一鉢運動 ・塩川敬老園訪問(2年生との交流、金管バンド部演奏) ・ジャガイモ栽培(3年) ・ホタル学習(3年) ・梔子ワイナリーに係る活動(主に4・5年) ・米づくり(5年) ○ 特別活動 ・マラソン大会、マラソン旬間 ・読み聞かせ活動 ・なかよし縦割り活動
菅平小	教育目標 …… 郷土を拓く大地の教育 ○ めざす子どもの姿 ①自ら学ぶ子 「自己決定・自己調整し自ら学ぶ」 ②思い合う子 「お互いの良さを認め合い、より良い人間関係を築く」 ③菅平と共にある子 「菅平から学び、菅平の一員として生きる」 特色ある教育活動 ○ 冬の厳しい気象状況を生かして、スキーを校技としている。また、ふるさと菅平の良さを継承し、次代を担う子どもの育成を目指して、文部科学省から「教育課程特例校」の承認を受け、「スキー科」「英会話科」を教育課程に位置づけている。 ○ キャリア教育の目標を「ふるさとを愛する心をはぐむと共に、将来自立した社会人・職業人として生きていくための基盤を形成する」として、総合的な学習の時間における農産物の生産・宣伝・販売活動を通して、その過程で出会う課題や問いに対して友と協働しながら積極的に取り組んでいくことを大事にしている。 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学校提案型 ・基礎学力の定着や家庭学習の充実による日常的な学びの習慣化を図るための各教科の教具・教材の購入 ・学力向上のためにNRT検査の実施 ・キャリア教育事業「菅小ドリームワークス」の活動で使用した農業資材 ○ 一般分 ・全校で郷土の産業である農業についての栽培、収穫、販売など体験活動の環境整備 ・校技スキーの活動に対する支援
長小	教育目標 …… 「かしこく きよく たくましく」 めざす子どもの姿 …… ①かしこく …自分をふりかえり よく考える子ども ②きよく …友だちとかかわり 思いやりのある子 ③たくましく…すすんで取り組む ねばり強い子 重点目標 …… 「自分らしく表現する子どもの育成」 特色ある教育活動 ○ 学年を越えて関わり合う活動 1 縦割り班活動(長っ子タイム、縦割り清掃、なかよし給食、運動会での縦割り班種目、縦割り遠足等) 2 ふれあい伝承広場(地域の方を講師に迎え、学年を越えて講座に参加する)

校名	教育目標・特色ある教育活動
長小 (つづき)	3 児童会活動(長小まつり、集会活動等) 4 保育園との交流 ○ 恵まれた自然や地域の方に学ぶ体験活動 1 学校花壇づくり(全校) ウサギの飼育(3年) 藍、綿、絹の体験活動 学級園や学校の畑での野菜づくり(全学年) 卒業式を飾る花づくり(全学年) 2 山家神社、長谷寺、角間溪谷などの長地域探検(1年・2年・3年) 縦割り班遠足(地域めぐり:班で計画したコースをめぐる) 根子岳登山(5年) 3 小動物の観察や飼育 ○ さまざまな人たちとの関わりを広げる交流活動 1 読み聞かせボランティア・長っ子見守り隊・外部講師によるクラブ活動 2 真田地域シニアクラブの方々との交流「ふれあい伝承広場」 3 食育活動を通して、地域への発信、交流 4 アルミ缶回収・エコキャップ回収・募金などの収益金で、地域や海外への支援を行う児童会活動 5 コミュニティルーム(長っ子ルーム)の活用 6 郷土資料室の活用 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学力向上に関して 1 重点目標「自己発揮できる子どもの育成」を目指し、信州大学学術研究院・教育学系教授 上村恵津子先生をお招きしての研究 2 授業・家庭学習でより学びを深めるために、教科書プリントの購入 3 探究的な学びの充実を目指し、学習に使用する教材等の購入 4 学力向上を目指し、CRT・NRTの実施 5 学びの多様化・ICT活用の充実を図り、タブレットケースの購入 ○ 栽培活動への補助 1 学級園で学年ごとの栽培活動や地域の方との米作りのための、苗・土・肥料の購入 ○ 地域の文化や歴史、地域を学ぶための講師依頼費用 1 長地区の歴史・文化・伝統行事を学ぶ、ふるさと学習充実にむけた実施費用
傍陽小	教育目標…ここに笑顔・ときどき挑戦・どんどん響き合う 傍陽の子 重点目標…『ことば』で自分を伝えよう ～自分の思いを自在に語るために～ ①太陽のようなコミュニケーション ②傍陽に遊び学んで思いを語る ③支えあう仲間 個と協働の学び 特色ある教育活動 ○ 傍陽の自然・人・文化に学び、傍陽への愛着を深める活動 1 傍陽の自然に学ぶ 地域探検、ふるさと遠足などを通して地域の自然や歴史、文化に触れて学ぶ活動 2 傍陽の人と文化に学ぶ (1)ふれあい伝承広場…傍陽の子どもを育む会・長寿会 (2)米作り…地域の方を講師に迎え、田おこしから精米までを体験する (3)地域ボランティアの方と共に…読み聞かせ、休み時間の見守り (4)地域の方に学ぶ(器作り、しめ縄作り等) (5)福祉交流学習…福祉施設の方との日常的な交流、行事での交流 ○ 異年齢集団の協働 1 継続して関わりを持てる縦割り班活動 (1)縦割り清掃…学年間の交流を図り、自分と向き合う清掃 (2)異学年交流…ベア学級、縦割り班による活動、連学年による遠足 (3)行事での活動…ふれあい給食、全校で遊ぶ活動 2 子どもが創り出す縦割り活動 (1)全校で楽しむ児童会祭り (2)休み時間の集団遊び(児童会の遊び企画) 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 1 傍陽の自然に学ぶ (1)稲作を通して地域の自然と文化、食の大切さを学ぶ 田おこしから田植え・稲刈り・脱穀をし、調理して食べる体験から、豊かな自然の恵みを受けている素晴らしさを感じることができた。また、わらを使ってしめ縄作りの体験ができた。 (2)傍陽の自然に触れることで地域の良さを知る 地域の川に出かけ、川遊びをすることを通して、地域の自然に触れ、楽しく活動するとともに地域の良さを感じることができた。 2 傍陽の人と文化・産業に学ぶ 地域の方を講師に学ぶ 地域のりんご農園に出かけ、地域の産業を知るとともに、地域の方を講師に農業体験をし、キャリア体験を積むことができた。 地域の方に器作りを学び、自分の使いたい器、家族で使える器を思い描きながら、ものづくりをする経験ができた。 3 学力向上にかかわって NRT、CRTの実施 ICTに関する書籍の購入(Canva、ロイロノート関連の書籍) 伝え合う授業を目指した校内研究
本原小	教育目標 … 「なかよく たくましく かんがえて」 重点目標 … 「1 つながる あいさつ 2 じぶんから うごく 3 きいて かんがえ つたえる」

校名	教育目標・特色ある教育活動
本原小 (つづき)	特色ある教育活動 ○ 学年を越えた異学年交流活動 異年齢交流活動(1～6年のたてわり班)による栽培活動・製作活動・なかよし活動・清掃活動 ○ 地域の文化や自然について学ぶ活動 1 御屋敷公園、歴史館・各神社・お寺など真田地域の歴史的な所を訪ねて、郷土の歴史や文化から、ふるさと真田について学ぶ。 2 本原地区内を歩き、化石の発掘できる地層を訪ねたり、自然探索をしたりするなど、体験を通して自然について学ぶ。 ○ 食育 1 野菜や米などを自分たちで育て、いただくことで食べ物への感謝の心や健康について学ぶ。 2 地域の方に指導を依頼し、野菜・米などの育て方を学ぶ。 ○ 地域の方へ感謝 1 縦割り班で育てた花を地域に配布する。 2 見守り隊・応援団の皆さんに感謝の気持ちを直接伝えたり、手紙を書いてお渡ししたりする。 ○ 福祉交流体験学習 1 様々な福祉体験を通して相手の気持ちを理解し、相手に寄り添う気持ちを育てる。 2 福祉施設を訪問(主として4年生)し、交流することを通して、相手を身近に感じ、相手を思いやる心を育てる。 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ① 縦割り班で花を育てる異年齢交流を行った。 ② 田んぼでお米を育てたり、畑で野菜を育てたりして、学級で味わった。 ③ 学力向上のために、NRT検査、CRT検査を実施した。
武石小	教育目標 …… 『だれにもやさしく げんきよく じぶんから学ぶ 武石の子』 重点目標 …… 「よいところを見つけ・活き活きと生活し・自ら考え伝える」 特色ある教育活動 ○ 南部中学校区3小学校による交流授業および遠隔合同授業の試行 人間関係の広がりやスムーズな中学校移行を目指した南部支会3小学校との交流学習の実施 ○ ふるさと教育の推進(キャリア教育の視点を大切にしながら) 地域の方々の支援を得て、ふるさと教育の充実を図っている。 「ふるさとカルタ」(児童制作)を手がかりに地域巡り遠足、昔あそび、給食食材の収穫体験、椎茸のこま打ち、松茸狩り、木製看板作りや木登り体験等の林業体験学習や美ヶ原の自然環境を生かした「自然教室」等 ○ 交流活動 異年齢交流(なかよし学級・たてわり班)・地域との交流(保育園・高齢者施設・せんぜい畑の方々等)・支会の小学校など、様々な交流活動を実施。心をつなぐ気持ちのよいあいさつ及び自主的な会の運営をする。 ○ 家庭・地域と連携した望ましい生活習慣づくり 毎月第3水曜日にメディアコントロール日を設定し、家庭と協力して取り組む。また、学校保健委員会で命と性の人権教育学習や歩行バランス訓練を通して、心と体のよりよいバランスで心身ともに健全な子どもの育成を目標に取り組む。 ○ 南部支会4校共通による学力向上 主体的・共同的な学びの充実を目指し、「4つの学び(考える・伝える・聴く・まとめる)」を意識した授業づくりを行う。 小中一貫連携型教育を視野に入れたカリキュラム作り 9年間を通した「南部支会家庭学習の手引き」を基にした家庭学習(自主学習を含む)の実施 ○ 地域ボランティアの協力の下、放課後自習室の運営をし、自習・自主学習を進める。 ○ 体力向上 毎週水曜日をわくわくタイムと位置づけ、運動の遊びの奨励や朝の全校運動を定期的に行い、体力の向上をめざす。 縦割り班・姉妹学級で運動遊びの活動 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 地域の方の支援の下、大豆栽培、味噌・豆腐作り活動(2、3年)、昔遊びの会(1、2年)、しいたけのこま打ち(3年) ○ 長野県オリジナル米「風さやか」の栽培と販売活動(4、5年の米作り) ○ 木登り体験、間伐材による看板づくりなど、地域の自然を生かした体験・キャリア教育活動 ○ 金管バンド、東日本など各種大会出場やありがとうコンサートの活動補助 ○ 花のプランター作り・畑をはじめとした学校環境の整備 ○ 全学年CRTを行うことにより定着不足の学習内容を補完 ○ 誰にとっても活用できる各教科の教具・教材の購入

校名	教育目標・特色ある教育活動
第一中	教育目標 …… 「体力・気力・知力を兼ね備えた人間性豊かな生徒の育成」 ～自己肯定感を育み、自信や誇りをもつために～ 人のよさに学びながら、自ら考え問題を解決しようとする生徒(知力) 「人・物・こと」に感謝し、美しいもの・正しいものを大切にする生徒(気力) 強い意志と相手の気持ちになって心開いた仲間づくりができる生徒(気力) 意欲的に体験・経験をし、体や心をたくましく鍛えようとする生徒(体力) 特色ある教育活動 …… 「一人ひとりが伸びる第一中学校」 ○ 個々の力を伸ばし、学びを広げる授業づくり 生徒が根拠をもった考えを構築し、自己の意見を発表する場の設定・自分の学びや生活を調整する力の育成 ・自分なりの問いや課題をもち、主体的に解決していこうとする授業づくり ・友や事象に関わる場の設定 …… 言語活動の充実 …… 自己の学びを確認する振り返りの場の設定 ・毎朝10分間の「一中タイム」の実施 …… テスト前の「質問タイム」の実施 ○ 認め合う・支え合う集団づくり 教育相談、学級活動を通して自己・他者理解を図り、人権を大切にした学級経営・学年運営を実現する ○ 生活習慣の形成 「場を清め、礼を正し、時を守る」 あいさつ 無言清掃 時間厳守 ○ 地域との連携 (1) 情報の発信 → 学校だよりや日常の学校の様子をHPに掲載する (2) 地域人材・ボランティアによる連携 → 教科や総合的な学習の時間、部活動における外部指導者との連携、地域人材や大学生(信州大学、長野大学他) による学習支援ボランティアの取組 (3) キャリア教育のさらなる充実。中央公民館等の外部機関・地域コーディネーターや元PTA会長との連携、 地元の文化財・企業・商店等への連携協力依頼 (4) 松輝祭への東小、神川小6年生の参観 (5) 地域の福祉施設との交流、上田養護学校との交流(年2回) (6) 一中区幼保小中園長・校長会での情報交換 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 放課後学習(水曜日)…学習支援ボランティアや大学生等による学力アップ教室(学力向上) ○ 授業見守りボランティアによる日常授業の支援 ○ 職業講座、働くことについての講演会、進路講話、特別支援学級における大豆の栽培と味噌づくり体験学習(キャリア教育) ○ 畑・花壇づくり、学校敷地の整備(環境教育) ○ ボランティアグループ「おれんじクラブ」の皆さんによる本の読み聞かせ ○ 性教育や健康教育の推進(性教育講演会など)
第二中	教育目標 …… 明倫の心(敬愛 窮理 実践)の育成 ○ 敬愛「自らを見つめ、他を思いやる中学生」…自分も友も慮ることができる生徒に ○ 窮理「自ら学び、互いに高め合う中学生」…自分を磨き続けることができる生徒に ○ 実践「自ら鍛え、体を大切にする中学生」…思いを行動に移す勇気をもった生徒に 特色ある教育活動 ○ 「明倫の心」に根ざした学校づくり 授業と明倫の柱(合唱・靴揃え・届く挨拶・無言清掃)を中核に、主体的な学びを通して「明倫の心」の具現をめざす ○ 生徒同士が多様な考えに触れ、思わず語り合いたくなる授業実践 ・三つの力(友に訊く力、自分の気持ちを伝える力、傾聴する力)がはたらく授業 ・問いのある授業 ・指導と評価の一体化 ・ICTを効果的に活用した学びの実践 ○ 友のよさに触れ、多様性を認められる生徒の育成 ・違いを受け止め、折り合いをつけられる心の教育の充実を図る(道徳教育、福祉教育、性教育、情報モラル教育等) ・日常生活を心の醸成に生かす(給食指導、清掃指導、安全指導、朝読書の時間等) ○ キャリア教育の系統立てた実践 ・地域を知り、地域や人の役に立つ自分を感じ取る場の創出 ・生き方に視点を当てたキャリア教育 ○ 二中の誇り「明倫の柱」 ・合 唱 …… 一年中、校舎に響く歌声 ・靴 揃 え …… 桜門ホール下足箱の、かかとのそろった履物 ・挨 拶 …… 場に応じた「届く挨拶」 ・清 掃 …… 静寂の中、自己を磨く「ひざつき・のりしろ清掃」 ○ 地域とつながる開かれた学校 ・「地域に貢献できる中学生」をめざした、通学路清掃、収集活動、ボランティア活動、地区生徒会活動 ・地域の方を講師に、生き方を学ぶ「二中フォーラム」 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 地域の方と共に働く「職業体験学習」やキャリア教育講演会の実施 ○ 20講座全てが久しぶりに対面実施できた地域の講師に学ぶ「二中フォーラム」 ○ 「共に生きる」をテーマに探究的な活動を通して、自らの生き方を見直す活動の実施 ○ 生徒会活動での花壇の造成や二中伝統の合唱を高める活動の実施 ○ 学力向上授業実践研究への取組と一人一台端末を活用した授業の実践
第三中	教育目標 …… 「自主性を養う」～自ら考え 自ら判断し 自ら行動できる生徒～ ○ 願う生徒の姿 主体的で対話的に学ぶ三中生 ◇ 教育目標の具現化に向けた3重点

校名	教育目標・特色ある教育活動
第三中 (つづき)	「誰もがわかる」(学力の向上) 生徒の「主体的・対話的な学び」や「個別最適な学び」を保障し知識や技能を活用する力を育成する 「自分らしく生きる」(居心地のよい学級) すべての生徒が自分らしく生活できる学年・学級づくりに努める 「地域とともに」(保護者や地域との連携) 保護者や学校運営委員、地域と協働して学校運営を進める 特色ある教育活動 ○ 学力の向上 ・ICTの有効活用 ・少人数学習の推進(英語) ・数学授業における単元テストの導入 ・家庭学習の充実と確認(帰りの会後の「JIGAKUの時間」と「ASAGAKU(確認の時間)」の設置) ・教師の授業改善(3つの研究チームによる授業改善) ○ 居心地のよい学級 ・信州型UDの実践(子どもの視点に立っているか) ・スクリーニング会議(週一回の校内不登校対策委員会と月一回の外部の専門機関との連携) ・年3回の教育相談の充実(悩みごと、学習相談など) ・登校できない生徒へのオンライン授業(学習保障) ・ほっとルームの運営(自分のペースで自由に学習できる空間の充実) ○ 保護者や地域との連携 ・長期休業の学習室開放(学習ボランティアの皆さんによる学習支援) ・水曜日の放課後の教室開放(学習支援ボランティアによる学習支援) ・花壇づくりで潤いある三中に(花ボランティアとの連携) ・外部機関との連携(キャリア教育の推進) 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 一般分 ・地域に根ざした学習(職場体験学習、進路学習、キャリア教育講演会) ・学校に潤いを与える活動(花づくり、環境整備等) ○ 学校提案型 ・学力向上事業 → 大学の先生との連携 → ドローンによる高い視座と広い視野の育成 → 音楽会での外部講師招聘
第四中	学校教育目標 「夢に向かって努力し、友と協力して創造する、明るく楽しい学校」 優しさ(人とつながる) 豊かさ(豊かに学ぶ) 逞しさ(やり遂げる) <本年度スローガン> 生徒一人ひとりの主体性を育む 特色ある教育活動 ○ 主体的に学びに向かう力を育むために ・毎週月曜日、1週間の家庭学習をプランニングすることで、自身にあった学びをセルフコントロールする ・毎週水曜日に四中アカデミー(放課後自主学習)の開設 (講師として、地域の企業人、地域の教員OB、地元大学生に委任) ○ 地域・家庭との連携による協働的な学び・キャリア教育の充実に向けて ・「四中学生学びスタイル」を改善し、「生徒相互が協働し、高め合う授業」を目指す ・地域で働く方を講師に迎え、キャリア教育の視点に立った講演会「お仕事を学ぼう」の実施 ・上田西高校の教員による出前体験授業 ・PTA活動の再構築(組織再編、地域との交流事業の立案、各種行事などのタスク型スタッフ募集等) ○ 生徒が自己決定し、社会的に自立する力を育むために ・生徒が自分たちで自分たちの課題を設定・解決するための相談体制づくり ・サポートルームの開設を中心とした、生徒相談・不適応支援体制の充実 ・生徒会タイムの運営(生徒会を含め、生徒が主体になっての活動) ・生徒会の3本柱「あいさつ」「清掃」「合唱」の充実 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 授業改善「四中学びのスタイル」の取組み…自ら学習をコントロールするためのスクールタイマーの設置 ○ サポートルームの開設を中心とした、生徒相談・不適応支援体制構築のための費用 ○ 生徒会・美術部による文化祭ステージバック作成費の補助 ○ 生徒の自主性を育む活動…生徒の自主的な活動の補助 ○ 各種講師への謝礼…四中アカデミー、進路学習、キャリア教育講演会等 ○ 情報モラル、情報管理の取組み…資料の準備や機器の整備費用
第五中	教育目標 … 「人間性豊かで、主体的に問題を解決する生徒」 ①心の豊かな生徒(徳) ②自ら考え、実践する生徒(知) ③健康で、たくましい生徒(体) 【重点目標】 ○ 「あたたかい五中」：五中人権宣言を大切にし、あいさつがあふれ、安心できる学校 ○ 「+1」の力の育成：自ら考え、判断し、行動する生徒の育成 ○ 学力向上：基礎基本の定着と、探究的に学ぶ生徒の育成 特色ある教育活動 ○ 「五中人権宣言」を基にした人権同和教育 ・「五中人権宣言」からスタートする、前期(旬間)・後期(月間)の人権同和教育 ・生徒の手による「五中人権宣言」に基づく、生徒会活動を通じた実践

校名	教育目標・特色ある教育活動	
第五中 (つづき)	○ 気持ちの落ち着く学校環境づくり ・全校で取り組む、学校前道路等の花壇づくり ・生徒会緑化委員会の「花いっぱい」を目指した花壇づくり ○ 規律ある学校生活づくり ・「あいさつ・無言清掃・時間を守る」を「生活の3重点」とした生活規律の向上 ・生徒会役員、校風委員、学年生徒会がタイアップした登校時のあいさつ活動 ・全校一斉に廊下での黙想から始まる「完全無言清掃」 ○ 学力向上・授業改善 ・各教科のグランドデザインの作成による「主体的・対話的で深い学び」の実践、「わかる授業」づくり ・ICT機器の活用による「主体的・対話的で深い学び」の実現 ・「教科学習の手引き」の配付と活用 ・お互いに授業を見合う「一人一見学」強化週間の実施 ・ミニ鳳の時間の新設による探究的学習の推進 ○ 「探究的な学び」への挑戦 ・「探究的な学び」を日常の授業の中で実践 ・自ら課題や問題を見出し、その解決を目指して仲間と協働しながら新たな価値を創造 ・一人一人が自分の”好き”なこと”楽しい”こと、”なぜ”と思うことにしたり追究する姿を目指す ○ 地域に開かれた学校(コミュニティスクール活動の推進) ・年3回の「学校公開」の実施 ・五中応援団「チーム鳳」の活動 - 地域の方を講師に招いての学習支援(地域の先輩に学ぶ総合的な学習の時間) - 地域の方に支援をいただき、3学年生徒と保育園児の学校花壇づくりを通じた交流活動 - 公民館主催行事へのボランティアとしての参加 - からだづくり講座の実施(2学年) ○ 地域に感謝するボランティア活動 ・登校時に実施している「ゴミ拾い登校」(生徒会主催) ・福祉委員会が主催で実施する「アルミ缶収集」・・・収益金は福祉施設等へ寄付 ・福祉委員会とローマン上田や住吉寮の方々との交流活動 ○ 中学校3年間を通した、キャリア教育の充実 ・2年:職場体験学習(2日間の実施)、マナー講座、社会人に学ぶ講座(様々な職種の社会人を招いて実施) ・3年:ハローワークの方による講演、進路講話(高校の先生及び卒業生の話)、高校の先生による出前授業 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 「学校学級花壇づくり」 ・「花いっぱいの学校づくり」を目指し、各学級で工夫を凝らした花壇づくりに取り組んだ。 - 緑化委員会では、中庭のメイン花壇づくりに取り組み、熱心に世話をした。 ・信学会上田北幼稚園の年長児と、花壇の花植作業を共同で行いながら交流した。 ○ 職場体験学習補助 ・2年:マナー講座を実施し、2日間の職場体験学習に生かすことができた。 ○ 各種講師への謝礼・・・キャリア教育・進路学習、性教育(命の学習)等 ○ 「和装体験学習」 ・家庭科の教科学習への学習支援として、「地域の先輩に学ぶ」講座の「着付け・礼法」講座の先生方を講師にお願いし、和装授業への支援をしていただき、日本の文化の一端に触れることができた。 ○ 気持ちの落ち着く学校環境づくり ・特別支援学級増設に伴い、新校舎の教室窓のフィルムを貼り、学習環境を整えた。	
塩田中	教育目標 1 充実した学習を積み上げる 2 たくましい心身を育てる 3 正しい道義心をのばす 4 豊かな心情を培う ○ 重点目標 1 生徒が安心して生活し、「楽しい」と思える学校づくり 2 目標に向かって努力できる生徒の育成 3 地域との連携＝開かれた学校 特色ある教育活動 ○ 地域とともに育つ開かれた学校 ・しおだっ子応援団、春風すみれ倶楽部(環境美化、FBC花壇造り、学習支援、行事、スポーツ文化、等)の活動 ・地域で学ぶキャリア教育(塩田めぐり:1学年、職場体験学習:2学年、地域貢献ボランティア:3学年) ・長野大学生ボランティアによる授業サポート ○ 塩田地区全体で取り組む「ユニバーサルデザイン化」の視点で取り組む授業改善(視覚的・具体的・肯定的) ○ さわやかな挨拶、はじめのある生活(時間厳守) ○ 自らを磨く「気づきの清掃」(無言清掃) ・気づきの清掃のための清掃用具の充実 ○ 合唱を通した、豊かな感性と情操の育成 ・講師を招き、改めて校歌(混声四部合唱)を大切に合唱指導 ○ 校内中間教室およびオンライン学習の環境面の充実 ・誰1人取り残さない、1人ひとりに応じた学び方の実現 ・オンライン学習用の教室を整備 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学年や生徒会ごとの「環境教育(花作り)」「キャリア教育」「健康教育」 ・学習ボランティアの支援による、地域との交流を深めながら推進した「開かれた学校づくり」 ○ 生徒の主体的な取り組みによる「地域貢献学習」の充実 ・地域が将来に抱える不安や課題から、地域貢献活動のアイデアを考え、活動し、地域へ発信	

校名	教育目標・特色ある教育活動
塩田中 (つづき)	・塩田地域に寄せる生徒の興味関心や愛着の思いの深まり ○ 校内中間教室の学習環境の充実 ・ラジカセやスクールタイマー、ホワイトボードなどを揃え、通常の教室と同じ学習活動ができる環境を整備
第六中	教育目標 「敬・和・創」 ○ 人を敬い、人から信頼される生徒(敬) ○ 人を認め思いやり、人と協力して活動する生徒(和) ○ 自ら工夫し、納得するまで追究し課題を解決していく生徒(創) 特色ある教育活動 ○ 交通ルールを守り、安全な登下校をするための、生徒一人一人による「誓い」の作成と年3回の交通安全教室 ○ 学年の発達段階に応じ「人の生き方」を焦点化しながら「自己決定」につなげる総合的な学習の時間・キャリア教育 ○ 「憧れの連鎖」「自らの生き方選択」に導くための地域講師による出前講座、地域公開観覧の実施 ○ 総合的な学習の時間で学んだことを発信する学年内発表会 ○ 地域と共に確かな学びを育む「学校支援地域ボランティア」(学習支援) ○ 合唱を柱に据えた歌声の響く学校 ○ 人権意識を高め、いじめをしない・させない仲間となるために生徒会で取り組む「黄色いリボン運動」 ○ 生徒の自主的な取り組みを推進する生徒会活動(異学年交流「六中チャンピオン」、交通安全検定、清掃四則の徹底等) ○ 4年目となる校内フリースクール(サポートルーム)の推進と不応・不登校支援の充実 ○ 長野大学ボランティアサークル「彩(いろどり)」の協力による生徒支援 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 地域から学ぶ職場見学、キャリア学習の実施(2学年職場体験学習事前学習) ○ 生徒の様々なニーズに対応した校内での居場所づくりのための支援とSOS教育の継続的な実施 ○ 花に囲まれた校内環境整備 ○ 専門的な知見をもつ講師陣による人権教育・性教育や民話を聞く会、情報モラル教育の講演会実施 ○ 多様な学びの場を提供し、生徒の確かな学びを育む「学校支援ボランティア」と「長野大学学生ボランティア」の協力 ○ よりよい学級経営や個に寄り添う支援を実現するためのHyper Q-UやASSESSの実施と実施後の分析・職員研修 ○ 学力向上と教科横断的な視点の育成、授業改善実現のためのNINO(認知能力測定検査)の実施と分析結果の活用
丸子中	教育目標 …… ○ みずから学ぶ お互いに支え合い・自分たちの可能性に挑戦する生徒 ○ とともに創る お互いの思いに寄り添い・認め・折り合う生徒 ○ たくましく生きる お互いの安全・健康・命を守る生徒 - 合言葉「あいさつ」「いのち」「学び合い」 特色ある教育活動 ○ 自他を尊重し、いじめや差別を許さない人権感覚の育成を図る人権同和教育 ・外部講師による人権同和教育に関する講演会の実施 ・多様性を認める学年学級づくりとそのための個別支援とチーム支援 ・人権同和教育月間の実施と「私たちの人権宣言」づくり ○ 伝統を引き継ぐ生徒会活動 ・清掃…無言と気づきで心を磨く伝統の「ひざつき清掃」及び「縦割り清掃」 ・合唱…気持ちを一つにし心を結ぶ響き渡る合唱 ・地域貢献…「地域貢献活動日」に地域施設の清掃やゴミ拾いを行う。クリーンキャンペーンの実施 ○ 年間を通した地域との交流 ・花壇づくり、地域清掃、地域学習、丸子ドドンコ等の地域行事への参加などを通して丸子地域との関わりを深める ・学校ボランティアによる通常授業と放課後における学習支援の実施 ○ 花壇づくりやリサイクル収集活動を中心とした「緑化・環境教育」、施設訪問や文化祭・音楽会への施設の方の招待などに取り組む「交流・福祉教育」 ○ 地域の講師の招聘や地域の宝を探し、地域の産業、文化、今後等について探究し、発信する総合的な学習の時間 ○ AED講習や避難訓練等を通して自他の命を守る教育の推進と意識の醸成 ○ 学力向上をめざす生活ノート「TSUNAGARU」の活用、「宿題スタートタイム」の設定、授業評価をもとにした日常の授業改善 ○ 「授業づくり実践ウィーク」を通して、教師・生徒ともに学び合う意識を持って授業改善に取り組む ○ 生徒が主体となって学び合う授業づくりのための小中連携の公開授業研修と外部講師の招聘 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 学校花壇づくりや美術作品を校外で展示する等、生徒の活動を積極的に発信 ○ 主に総合的な学習の時間における学びの様子を参観日で生徒自身が地域、保護者に発信 ○ 産官学連携のキャリア教育推進。講演会や職場見学、職業体験によるキャリア学習活動の充実 ○ WCI生との交流を通して、コミュニケーション能力を高めたり世界観を広げたりする
丸子北中	教育目標 ○ [自主]進んで学習し、学力と向上心を高める生徒 よく考え、自ら判断し、正しい行動をする生徒 ○ [敬愛]自他ともに大切にする思いやりのある生徒 感謝の気持ちを言葉や行動で伝える生徒 ○ [勇健]失敗してもあきらめずに物事をやりとげる生徒 笑顔と健康な心身で元気に生活する生徒 今年度の重点 「生徒も教師も生き生きと活動する学校」 ○ 重点1…授業づくり 生徒も教師も共に確かな力が身につく授業 ○ 重点2…学級づくり 生徒も教師も共に居心地の良さを味わえる学級 ○ 重点3…心と体づくり 生徒も教師も共に逞しさが身につく活動 特色ある教育活動 ○ 丸子コスモス大学の開設と運営(14講座開設・地域講師約30人の皆さんと共に学ぶ) ○ 人権教育の推進(個と集団の関わりを意識し、好ましい人間関係づくりを進める)

校名	教育目標・特色ある教育活動
丸子北中 (つづき)	学級の状態の定期的な把握と分析結果に基づく学級集団の育成 学年・学級の実態を踏まえた人権教育月間の充実 ○「無言清(静)掃」(気づきのための無言清掃 共に働く仲間への気づき、気遣い、気働き) ○生徒会によるコスモスの栽培活動、挨拶活動、青少年ネットワーク会議 アルミ缶回収収益金による福祉施設への贈り物や福祉施設との交流活動 ○社会で認められる人としての素地を育てるキャリア教育(1年「職業調べ新聞作成」2年「職場体験学習」3年「先輩の話を聞く会」「進路講話」等) ○歌活動(帰りの会・清掃後の全校合唱練習・学年集会等における学級・学年単位による合唱練習) 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○地域に開かれた学校づくり「丸子コスモス大学」活動・運営事業 ○学校花壇整備事業 ○ICTを活用した教育環境整備として、学習記録用デジタルカメラの購入 ○個別学習用パーテーションの購入
菅平中	教育目標 めざす子どもの姿・・・自ら学ぶ子・思い合う子・菅平と共にある子 めざす学校の姿・・・地域と願いを共有し、子どもも教師も健全に生き生きと活動できる学校 めざす教師の姿・・・心をそろえて子どもに寄り添い、支え合いながら子どもと共に学び続ける教師 重点活動 ○自己決定・自己調整し自ら学ぶ ・小中連携による9ヶ年を見越した授業づくり ・T.Tによるお互いに学び合う職員集団 ・児童理解を根底に据えた授業づくり ・連学年、異年齢での活動による学び合う環境作り ・行事における実行委員会の発足とリーダーの育成 ・特色ある教育課程(スキー科・英会話科)を生かし、自ら学び、自分を成長させる経験の積み重ね ・自分で計画し実践しながら自分の学びスタイルを見つけていくための支援 ○お互いの良さを認め合い、より良い人間関係を築く ・全校や連学年による道徳の授業の推進。自分と立場が違う意見を尊重する経験の積み重ね ・学級活動や特別活動において、対話を重ねながら相互理解を深め、自他尊重を基本としたコミュニケーション能力の育成 ・外部講師、講話を通して正しい知識の獲得、メタ認知能力、判断力の育成 ・ルールや約束を守る学習の保障 ・定期アンケートと面談による個に寄り添う支援。カウンセラーとの連携 ○菅平から学び、菅平の一員として生きる ・(小)ドリームワークス、学級での栽培活動を通して、菅平の先人達の思いを知るとともに、菅平の大地から学ぶ ・(中)「Take action 菅平のためにできること」の活動を通して、自分たちが菅平のためにできることを実践していく ・筑波大学、長野大学等との連携 ・スキークラブコーチ、菅平学校CS委員会との連携強化、共に歩む ・スキー活動を通して自分を成長させ、菅平に感謝し、菅平の一員としての自覚を促す取り組み 特色ある教育活動 ○本校は冬の厳しい気象条件を活かして、スキーを校技としている。また、ふるさと菅平の良さを継承し、次代を担う子どもの育成を目指して、文部科学省から「教育課程特例校」の承認を受け、「スキー科」「英会話科」を教育課程に位置づけている。 ○キャリア教育目標を「自分と、ふるさとや社会との関わりの中で、自分の生き方を考え、将来の夢や希望をもちながら、主体的な進路選択ができる自己を確立し、社会的・職業的に自立した人間を育てる」とし、Take Action～菅平のためにできることをしよう～という総合的な学習の時間のなかで、実際に自分たちの足で地域に出向いたり、地域の方をゲストティーチャーとして招いたりし、菅平の現状と課題を知り、自分たちにできることは何かを考え、「地域に生きる自分」を意識している。 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○一般分 ・県中学校スキー大会、各種スキー大会・合宿への選手の参加補助 ・大会・合宿など指導教員、コーチの引率補助 ・校内環境整備事業:花のある環境を整備するために、花の購入 ○学校提案型 ・「個別最適な学び」の充実についての研修を深めるための講師費用として活用 ・基礎的環境整備の一つとして、主体的、対話的で深い学びができるような環境整備のために活用
真田中	教育目標 …… 「かりがね精神」 ○磨き合う知性 …… 自ら意欲的に学ぶ生徒 ○感じ合う心 …… 豊かな心を育む生徒 ○鍛え合う身体 …… 進んで身体を鍛える生徒 ○見つめ合う命 …… 命を大切にする生徒 特色ある教育活動 ○「食と命」を全校テーマとした探究的な学習(総合的な学習の時間) ・学年ごとのテーマ「食事を作ってくれる方の思いを探ろう」(1年) 「食と職～食に関わる地域の職業に目を向けて」(2年) 「食にかかわる自己課題を追究しよう～自分の将来、世界に目を向けて」(3年) ・給食洗浄体験・自らの食について考える朝食・弁当作り(1年)、地域の食に関わる職業調査・農業体験・交流活動(2年)

校名	教育目標・特色ある教育活動
真田中 (つづき)	・ 地域食材、卒業後の食生活、世界の農・食・健康の問題、SDGsなど自分の課題追究(3年) ・ 学習成果を発表するかりがね祭(全校) ○ 心を育てる花づくり、環境教育の推進 ・ 真田中学校の伝統であり、誇りであるサルビアの花を全校生徒一人ひとりがプランターに栽培。地域の方も楽しみにしているサルビアの花づくりを通して、地域に貢献し愛される真田中を創る。 ○ 地域と結びついた生徒会活動 ・ 地域でのボランティア活動への積極的な参加(清掃ハイキング、ふれあいひろば、かりがねフェスティバル等) ・ 支部生徒会で民生委員さんと生徒との懇談を企画し、地域について語り合う場を設定 ○ 地域と連携・協力した活動 ・ さなだスポーツクラブ(地域にある総合型地域スポーツクラブ)による部活動への支援 ・ 真田中CSとの連携事業(サルビアの定植・管理、放課後学習支援、農業体験等) ・ 真田中CS、真田の郷まちづくり推進会議との連携による校内ボランティアルーム・放課後カルチャークラブの運営 ・ 真田地域包括支援センターによる真田地域住民支え合い研修会の実施 令和6年度 特色ある学校づくり交付金事業 ○ 食育を中核とした健康教育 ・ 自らの食を考える朝食・弁当作り(1年)、地域での農業体験・交流(2年)、SDGsの視点で食と命について探究(3年) ○ 真田中学校の伝統であり、誇りであるサルビアの花を全校生徒一人ひとりが学習支援ボランティアと共にプランターに栽培 ○ キャリア教育の一環で、2学年において農業体験学習に向けた事前学習として、地域講話等を2回実施 ○ 学力向上事業として、アセス等検査を実施し、分析結果を受けて人間関係形成能力の育成に役立てた
依田窪 南部中	教育目標 …… 「知・徳・体の調和がとれ、自立した生徒の育成」 ○ 知 …… 「かしこく」 ○主体的に課題を追究し、自己表現しながらお互いに高めあう南中生 ○ 徳 …… 「やさしく」 ○人や物、郷土を大切にし、互いに認め合い支え合いながら、豊かな人間関係を築く南中生 ○ 体 …… 「たくましく」○積極的に心身を鍛え、夢や願いの実現に向け挑戦する南中生 特色ある教育活動 ○ 「地域未来プロジェクト」を中心としたキャリア教育及び地域との共生 信州型コミュニティスクール「南中応援隊」の支援による「地域未来プロジェクト」では、1年生で地域発見学習、2年生で3日間の職場体験学習、3学年でアントレプレナーシップ(起業家精神涵養)学習を実施している。アントレ学習については、地域の方々にも多く参加いただいており、9月の紫苑祭(文化祭)で発表会を行っている。さらには、「黒耀石のふるさと祭り」に参加したり、地域の行事に(浦安の舞の奉納、夏祭りみこしかつぎ、大山獅子祭みこしかつぎ等)中学生が積極的に関わったりする等、地域に根ざす文化継承の一役を務めている。地域での役割を担い、地域で育つ生徒となっている。 ○ 地域と連携しながら生徒を育てる健康教育 全校生徒を対象にした生活実態調査を継続して行っている。結果を保護者に公表し、そこから見える課題の解決に向けて生徒・保護者・地域の方々が共に連携し取り組んでいる。また、平成元年から上田薬剤師会と連携し、薬剤師による薬物乱用防止やエイズ教育の授業を行っている。平成18年厚生労働省医薬食品局賞を受賞。 PTAと生徒会が主体となってメディアコントロールデー(メディアを使用しない日)を月1回設定し、健康面への注意喚起を行うとともに、家族との団らんの大切さを呼びかけている。 ○ 心を合わせ美しいハーモニーを創りあげる合唱 文化祭の学級合唱発表に向け、生徒自らが意欲的に練習に取り組み、美しいハーモニーを創りあげている。 また、生徒会文芸委員会が中心となって、全校音楽・クラス発表や生徒会歌(合唱)の練習計画を企画・運営している。 中学校区の3つの小学校の6年生と合同の音楽集会を実施し歌の交流を行い、文化祭で4校での合唱を発表している。 ○ 県をまたいだ交流活動 台風19号による河川増水のため、新潟県佐渡市に漂着したサッカーボールが返還された縁から、佐渡市在住の方との交流を続けている。年に一度互いの近況報告を交わしている。
ちぐさ 幼稚園	教育目標 …… 「心豊かな子ども」 ○ 夢中になって遊ぶ ○ 自分も友達も大切にしよう 特色ある教育活動 ○ 地域の方々と子どもたちが一緒に取り組む畑作り ○ 小規模園ならではの異年齢交流 ○ 主体性をもって自ら考え「できる」「楽しい」と成功体験を積みながら、意欲的に遊ぶための環境作り ○ 参加型保育の実施(保護者の保育体験) ○ 支援を必要としている子に対して各関係機関との連携 ○ 障がい福祉サービス事業所きらりと交流 ○ 菜園活動

市立学校教職員数

1 小学校

(令和7年5月1日現在) 単位:人

項目 学校名	教 員									職 員												教職員合計
	県費(校長・教頭含む)						市 費		教員計	事務職員		栄養士	学校司書	特別支援教育支援員	心の教室相談員	その他ALT等	給 食 調理員		庁務員	職員計		
	男 性	女 性	講師 (再任用含)	養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	講 師	養護教諭補助		県 費	市 費						正 規	会計年度				
清明小学校	6	12	2	1					21	1			1	2	1	2			1	8	29	
東 小学校	12	14	7	1		2		1	37	1	1		1	3	1	4			1	12	49	
西 小学校	11	7	4	1					23	1	1		1	2	1	1			1	8	31	
北 小学校	10	14	6	1					31	1	1		1	3	1	3			1	11	42	
城下小学校	9	12	6	1					28	1	1		1	2	1	2			1	9	37	
塩尻小学校	4	7	2	1					14	1			1	1	1	1			1	6	20	
川辺小学校	15	12	3	1				1	32	1			1	3		3			1	9	41	
神川小学校	10	14	9	1					34	1	1		1	3		6			1	13	47	
神科小学校	17	14	4	1				1	37	1	1		1	4		4			1	12	49	
豊殿小学校	6	5	3	1					15	1			1	2	1	1			1	7	22	
東塩田小学校	5	5	3	1					14	1			1		1				1	4	18	
中塩田小学校	7	15	7	1				1	31	1	1		1	4	1	3			1	12	43	
塩田西小学校	7	6	4	1					18	1			1	3	1	1			1	8	26	
浦里小学校	5	5	1	1					12	1			1	1	1	1			1	6	18	
川西小学校	7	8	5	1					21	1			1	1	1	2			1	7	28	
南 小学校	10	20	9	1				1	41	1	1		1	3	1	4			1	12	53	
丸子中央小学校	12	15	4	1		1			33	1	1	1	1	2	1	1			1	9	42	
丸子北小学校	9	8	7	1					25	1	1		1	2	1	1			1	8	33	
塩川小学校	6	6	3	1					16	1			1	1	1	1			1	6	22	
菅平小学校	6	2	2						10	1			1	1	1	1		3		8	18	
長 小学校	6	3	3	1					13	1		1	1	2	1	1		3	1	11	24	
傍陽小学校	5	5	1	1					12	1			1	5	1	3		3	1	15	27	
本原小学校	4	9	4	1					18	1		1	1	2	1	4	2	3	1	16	34	
武石小学校	8	3	3	1					15	1		1	1	1	1	1		3	1	10	25	
小学校計	197	221	102	23		3		5	551	24	10	4	24	53	21	51	2	15	23	227	778	

市立学校教職員数

2 中学校

(令和7年5月1日現在) 単位:人

項目 学校名	教 員								職 員											教職員合計	
	県費(校長・教頭含む)						市 費		教員計	事務職員		栄養士	学校司書	特別支援教育支援員	心の教室相談員	その他ALT等	給食調理員		庁務員		職員計
	男 性	女 性	講師 (再任用含)	養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	講師	養護教諭補助		県費	市費						正規	会計年度			
第一中学校	21	12	4	1				1	39	1	1		1	2	2	5			1	13	52
第二中学校	11	8	8	1					28	1	1		1		1	2			1	7	35
第三中学校	13	12	4	1					30	1	1		1	1	1	4			1	10	40
第四中学校	19	17	4	1				1	42	1	1		1	3	2	6			1	15	57
第五中学校	18	9	8	1					36	1	1		1	3	1	2			1	10	46
塩田中学校	16	16	5	1				1	39	1	1		1	2	1	7			1	14	53
第六中学校	12	14	4	1		1			32	1	1	1	1	1	1	4			1	11	43
丸子中学校	11	6	4	1			1		23	1	1		1	1	1	1			1	7	30
丸子北中学校	11	8		1					20	1	1		1	1	1				1	6	26
菅平中学校	6	3		1					10							1			1	2	12
真田中学校	10	5	4	1		1			21	1	1	1	1	1	1	1		5	1	13	34
中学校計	148	110	45	11		2	1	3	320	10	10	2	10	15	12	33		5	11	108	428

小中計	345	331	147	34		5	1	8	871	34	20	6	34	68	33	84	2	20	34	335	1206
-----	-----	-----	-----	----	--	---	---	---	-----	----	----	---	----	----	----	----	---	----	----	-----	------

[参 考] 上田市長和町中学校組合立

単位:人

依田窪南部中学校	12	5	5	1			2		25	1		1	1	1		2		3	1	10	35
----------	----	---	---	---	--	--	---	--	----	---	--	---	---	---	--	---	--	---	---	----	----

3 幼稚園

(令和7年5月1日現在) 単位:人

項目 園名	教 員				
	園長	主任教諭	教諭	臨時	教員計
ちぐさ幼稚園	1	1	1	2	5

小・中学校通学区域

小・中学校の通学区域は、上田市立小・中学校の通学区域に関する規則において、基本的に自治会単位で定めています。

1 小学校通学区域

学校名	通学区域
清明小学校	南天神町、北天神町、松尾町、鷹匠町、本町、末広町、大手町、横町、海野町、原町、袋町、馬場町、田町、丸堀町、木町、泉平、北大手町、天神の杜
東小学校	踏入、泉町、上常田、中常田、下常田、北常田、材木町、常入、染屋、岩門
西小学校	下紺屋町、鎌原、新町、西脇、諏訪部、生塚、緑が丘、新屋、緑が丘北、緑が丘西、常磐町、城北
北小学校	上川原柳町、下川原柳町、愛宕町、上鍛冶町、鍛冶町、上房山、下房山、柳町、新田、上紺屋町、山口、蛇沢
城下小学校	小牧、諏訪形、須川、中村、三好町、御所、朝日ヶ丘
塩尻小学校	秋和、上塩尻、下塩尻
川辺小学校	上田原、川辺町（三区）、倉升、神畑、築地、福田、吉田、東築地
神川小学校	大屋、岩下、下青木、上青木、久保林、黒坪、上沢、国分、下堀、上堀、みすず台南、みすず台北、梅が丘
神科小学校	畑山、伊勢山、神科新屋、野竹、西野竹、笹井、金井、大久保、長島、金剛寺、富士見台、住吉が丘、川原
豊殿小学校	森、大日本、長入、宮之上、小井田、中吉田、町吉田、下吉田、林之郷、下郷、岩清水、矢沢、赤坂、漆戸、桜台、ひかり
東塩田小学校	平井寺、鈴子、石神、柳沢、下之郷、奈良尾、中組、下組、桜
中塩田小学校	下本郷、五加、東五加、上本郷、中野、上小島、下小島、保野、舞田、学海北、学海南
塩田西小学校	八木沢、セレーノ八木沢、八舞、十人、塩田新町、東前山、西前山、手塚、山田、野倉、分去、大湯、院内、上手
浦里小学校	浦野、越戸、藤之木、浦野南団地
川西小学校	仁古田、岡、小泉、下室賀、上室賀、ひばりヶ丘
南小学校	中之条、千曲町、半過、川辺町（一区、二区）、下之条
丸子中央小学校	下丸子、中丸子、上丸子、腰越、東内、長瀬のうち 3 6 2 9 番地の 3、3 6 2 9 番地の 4、3 6 2 9 番地の 5、3 6 2 9 番地の 1 5、3 6 2 9 番地の 2 5、3 6 2 9 番地の 3 3、3 6 2 9 番地の 3 4、平井、西内、鹿教湯温泉

学校名	通学区域
丸子北小学校	生田、御嶽堂、長瀬（長瀬のうち3629番地の3、3629番地の4、3629番地の5、3629番地の15、3629番地の25、3629番地の33、3629番地の34、2888番地の6、2893番地の1、2894番地の2、2905番地の2、2906番地の3、2908番地の3、2909番地の1、2932番地、2933番地、2937番地の2を除く。）、塩川のうち3871番地、3955番地の2、3956番地の2、3956番地の4、3956番地の6、3959番地の2、3959番地の3、3959番地の5、3965番地の2、3969番地、3970番地の1、4336番地
塩川小学校	塩川（塩川のうち3871番地、3955番地の2、3956番地の2、3956番地の4、3956番地の6、3959番地の2、3959番地の3、3959番地の5、3965番地の2、3969番地、3970番地の1、4336番地を除く。）、藤原田、長瀬のうち2888番地の6、2893番地の1、2894番地の2、2905番地の2、2906番地の3、2908番地の3、2909番地の1、2932番地、2933番地、2937番地の2
菅平小学校	菅平高原（大洞地区を除く。）
長小学校	真田町長、菅平高原（大洞地区）
傍陽小学校	真田町傍陽
本原小学校	真田町本原
武石小学校	武石鳥屋、武石沖、下武石、上武石、武石下本入、武石上本入、武石小沢根、武石余里

2 中学校通学区域

学校名	通学区域
第一中学校	東小学校、神川小学校の通学区域
第二中学校	清明小学校、塩尻小学校の通学区域、西小学校の通学区域（新町、西脇、諏訪部、生塚）
第三中学校	北小学校の通学区域、西小学校の通学区域（下紺屋町、鎌原、緑が丘、新屋、緑が丘北、緑が丘西、常磐町、城北）
第四中学校	城下小学校、南小学校の通学区域
第五中学校	神科小学校、豊殿小学校の通学区域
塩田中学校	東塩田小学校、中塩田小学校、塩田西小学校の通学区域
第六中学校	川辺小学校、浦里小学校、川西小学校の通学区域
丸子中学校	丸子中央小学校の通学区域
丸子北中学校	丸子北小学校、塩川小学校の通学区域
菅平中学校	菅平小学校の通学区域
真田中学校	長小学校、傍陽小学校、本原小学校の通学区域
依田窪南部中学校	武石小学校、小県郡長和町立長門小学校、和田小学校の通学区域

市立学校施設

1 校地

令和7年5月1日現在

校地 学校名		校地総面積 (単位:㎡)	内 訳			屋 外 運 動 場 一人当たり面積
			建 物 敷 地	屋 外 運 動 場	実験実習地・その他	
小 学 校	清 明	18,995	10,594	8,353	48	29.7
	東	18,623	10,025	8,175	423	17.1
	西	20,615	12,915	※ 7,615	85	21.7
	北	34,978	16,899	※ 17,390	689	45.4
	城 下	19,985	9,904	8,806	1,275	22.5
	塩 尻	20,687	13,273	※ 7,414		44.7
	川 辺	32,572	22,372	※ 9,480	720	18.8
	神 川	19,886	10,894	※ 8,992		19.1
	神 科	32,970	24,985	7,745	240	11.4
	豊 殿	21,608	14,194	※ 7,414		40.3
	東塩田	23,385	14,768	8,438	179	47.7
	中塩田	27,827	17,082	10,745		22.9
	塩田西	26,059	16,028	※ 9,678	353	46.8
	浦 里	18,193	8,535	9,493	165	197.8
	川 西	22,135	14,357	7,778		34.0
	南	26,270	14,570	※ 11,700		18.5
	丸子中央	23,579	14,865	8,714		21.2
	丸子北	28,000	19,115	8,885		28.5
	塩 川	14,503	6,560	7,943		50.3
	菅 平	11,129	4,576	6,553		115.0
	長	22,863	13,483	7,655	1,725	80.6
	傍 陽	17,895	8,468	7,740	1,687	99.2
	本 原	12,540	6,794	5,474	272	24.9
	武 石	17,025	7,033	7,780	2,212	59.8
計		532,322	312,289	209,960	10,073	29.5

※ 夜間照明施設あり

校地 学校名		校地総面積 (単位:㎡)	内 訳			屋 外 運 動 場 一人当たり面積
			建 物 敷 地	屋 外 運 動 場	実験実習地・その他	
中 学 校	第 一	40,587	25,989	※ 13,400	1,198	26.1
	第 二	12,208	3,846	6,194	2,168	22.1
	第 三	21,773	11,842	※ 9,735	196	27.2
	第 四	25,162	13,561	※ 10,541	1,060	19.3
	第 五	28,813	12,926	※ 15,442	445	32.9
	塩 田	41,925	27,537	※ 14,388		27.7
	第 六	31,410	17,113	※ 13,700	597	34.4
	丸 子	32,069	19,502	12,567		57.9
	丸子北	29,177	11,558	17,619		67.0
	菅 平	8,984	5,216	3,768		139.6
	真 田	35,123	18,459	16,293	371	82.3
	計	307,231	167,549	133,647	6,035	35.3
幼稚園	ちぐさ	2,898	1,314	1,584		72.0

※ 夜間照明施設あり

2 校舎

令和7年5月1日現在

建物区分 学校名		保有建物面積（単位：㎡）									
		一般校舎					屋内運動場				
		木造	鉄筋 コンクリート	鉄骨 その他	計	一人当たり 面積	木造	鉄筋 コンクリート	鉄骨 その他	計	一人当たり 面積
小学校	清明	315	4,325	131	4,771	17.0		1,293		1,293	4.6
	東		5,687	211	5,898	12.3			1,252	1,252	2.6
	西	27	5,018	78	5,123	14.6		1,384		1,384	3.9
	北	459	5,436	159	6,054	15.8			991	991	2.6
	城下	3,443	2,437	312	6,192	15.8			894	894	2.3
	塩尻	106	3,337	147	3,590	21.6		1,215		1,215	7.3
	川辺	184	5,995	46	6,225	12.4		1,529		1,529	3.0
	神川		5,575	123	5,698	12.1		1,295		1,295	2.8
	神科	33	6,266	130	6,429	9.5			1,710	1,710	2.5
	豊殿	19	4,136	64	4,219	22.9			1,380	1,380	7.5
	東塩田	288	3,939	66	4,293	24.3		1,344		1,344	7.6
	中塩田	178	6,888	142	7,208	15.4		880		880	1.9
	塩田西	46	4,957		5,003	24.2		1,215		1,215	5.9
	浦里	1,318		505	1,823	38.0			704	704	14.7
	川西		2,912	1,588	4,500	19.7			1,303	1,303	5.7
	南		6,400	388	6,788	10.7			1,350	1,350	2.1
	丸子中央	59	6,827	58	6,944	16.9			1,014	1,014	2.5
	丸子北	53	4,522	972	5,547	17.8			802	802	2.6
	塩川		3,946	102	4,048	25.6		854		854	5.4
	菅平		1,946	8	1,954	34.3		679		679	11.9
	長		3,070		3,070	32.3		1,027		1,027	10.8
	傍陽		2,795	212	3,007	38.6		730		730	9.4
	本原		1,233	2,297	3,530	16.0		1,026		1,026	4.7
	武石		3,394	262	3,656	28.1			1,529	1,529	11.8
計		6,528	101,041	8,001	115,570	16.3	0	14,471	12,929	27,400	3.9

建物区分 学校名		保 有 建 物 面 積 (単位 : m ²)									
		一 般 校 舎					屋 内 運 動 場				
		木 造	鉄 筋 コンクリート	鉄 骨 その他	計	一人当たり 面 積	木 造	鉄 筋 コンクリート	鉄 骨 その他	計	一人当たり 面 積
中 学 校	第 一		10,382		10,382	20.2		3,823		3,823	7.5
	第 二		5,348		5,348	19.1		2,238		2,238	8.0
	第 三		6,459		6,459	18.0		2,932		2,932	8.2
	第 四	11	7,302	332	7,645	14.0		3,450		3,450	6.3
	第 五		7,117	701	7,818	16.7	988		79	1,067	2.3
	塩 田		8,064		8,064	15.5		3,405		3,405	6.5
	第 六		7,172	57	7,229	18.2		1,845		1,845	4.6
	丸 子	130	6,059	27	6,216	28.6		1,485		1,485	6.8
	丸子北		5,909	132	6,041	23.0		1,316		1,316	5.0
	菅 平		1,517		1,517	56.2		838		838	31.0
	真 田		6,581	22	6,603	33.3		2,216		2,216	11.2
計		141	71,910	1,271	73,322	19.4	988	23,548	79	24,615	6.5
幼稚園	ちぐさ	510		12	522	23.7					

中学校の屋内運動場には武道場を含む。
 保有面積、構造は文部科学省「公立学校施設台帳」に準ずる。
 屋内運動場にクラブハウス・部室は含まない。

3 学校プール

令和7年5月1日現在

学校名		項目	建設 年度	構 造	大プール					小プール			
					コース	長さ (m)	幅 (m)	水 面 面 積 (㎡)	深 さ (m)	長さ (m)	幅 (m)	水 面 面 積 (㎡)	深 さ (m)
小 学 校	清 明	H26	ステンレス	8	25	17	425	1.00～1.20	15	5	75	0.6～0.7	
	東	H5	FRP	7	25	14	350	1.00～1.20	25	3	75	0.7	
	西	S62	FRP	7	25	15	375	0.90～1.10	15	5	75	0.7	
	北	S60	FRP	8	25	17	425	0.90～1.10	15	6	90	0.7	
	城 下	H13	ステンレス	6	25	13	325	0.90～1.10	15	5	75	0.5～0.6	
	塩 尻	H15	ステンレス	6	25	13	325	0.90～1.10	10	8	80	0.6～0.7	
	川 辺	H20	ステンレス	7	25	15	375	0.90～1.10	10	5	50	0.6～0.7	
	神 川	S55	鋼板	8	25	17	425	1.00～1.20	18	5	90	0.5～0.8	
	神 科	H17	ステンレス	8	25	17	425	1.00～1.20	15	5	75	0.6～0.7	
	豊 殿	H1	FRP	6	25	13	325	0.90～1.10	15	5	75	0.7	
	東塩田	H4	FRP	6	25	13	325	1.00～1.20	15	5	75	0.7	
	中塩田	S36	FRP	6	25	12	300	0.80～1.00			85	0.5～0.6	
	塩田西	H7	FRP	6	25	13	325	1.00～1.20	15	5	75	0.7	
	浦 里	S37	コンクリート	6	25	10	250	0.90～1.00	25	3	75	0.5～0.6	
	川 西	H29	FRP	6	25	13	325	0.90～1.10	12	5	60	0.7	
	南	S59	鋼板	8	25	17	425	1.00～1.20	15	6	90	0.7～0.8	
	丸子中央	S54	ステンレス	8	25	17	425	0.90～1.10	17	13	213	0.65～0.75	
	丸子北	H19	ステンレス	6	25	13	325	1.00～1.20	25	4	100	0.65～0.7	
	塩 川	S57	ステンレス	6	25	13	325	0.90～1.10	13	8	104	0.55～0.65	
	菅 平	S62	FRP	6	25	12	300	1.10～1.30	25	3	75	0.7	
	長	S56	コンクリート	6	25	15	375	0.90～1.10	25	3	75	0.65～0.75	
	傍 陽	S40	コンクリート	6	25	10	250	1.00～1.10	25	3	75	0.6～0.7	
	本 原	H21	ステンレス	6	25	13	325	0.90～1.10	15	5	75	0.6～0.7	
	武 石	S37	ステンレス	7	25	15	375	1.00～1.20	15	6	90	0.7～0.75	

学校名 \ 項目		建設 年度	構造	大プール					小プール			
				コース	長さ (m)	幅 (m)	水面 面積 (㎡)	深さ (m)	長さ (m)	幅 (m)	水面 面積 (㎡)	深さ (m)
中学校	第一	H10	ステンレス	8	25	17	425	1.30～1.50				
	第二											
	第三	H30	FRP	6	25	14	350	1.10～1.30				
	第四	H29	FRP	6	25	14	350	1.2～1.4				
	第五	S42	コンクリート	7	25	15	375	1.30～1.50				
	塩田	H23	ステンレス	8	25	17	425	1.20～1.40				
	第六	S63	FRP	8	25	17	425	1.10～1.30				
	丸子	H7	FRP	8	25	17	425	1.20～1.40				
	丸子北	H2	FRP	7	25	15	375	1.10～1.30				
	菅平											
	真田	S39	コンクリート	7	25	15	375	1.10～1.40				
幼稚園	ちぐさ		コンクリート		8	4	32	0.5				

市立学校学級数、児童・生徒数

令和7年5月1日現在 単位:人

1 小学校

学 校 名	第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			第5学年			第6学年			支援学級 学級	学級数 合計	通常学級		支援学級		児童生徒 総数									
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計			男	女	合計	男		女	合計							
清明小学校	22	2	24	2	19	18	37	2	14	32	46	2	20	29	49	2	23	23	46	2	3	3	6	12	3	15	120	142	262	14	5	19	281	
東小学校	2	39	24	63	2	18	41	59	2	33	35	68	3	34	39	73	3	45	41	86	3	50	37	87	15	7	22	219	217	436	25	17	42	478
西小学校	2	26	24	50	2	26	20	46	2	33	26	59	2	26	26	52	2	25	29	54	2	30	29	59	12	5	17	166	154	320	23	8	31	351
北小学校	2	29	27	56	2	24	28	52	2	27	29	56	3	45	29	74	2	36	29	65	2	29	20	49	13	5	18	190	162	352	24	7	31	383
城下小学校	2	33	34	67	2	24	27	51	3	34	37	71	2	24	26	50	2	26	38	64	2	27	33	60	13	5	18	168	195	363	20	9	29	392
塩尻小学校	1	16	12	28	1	14	9	23	1	12	9	21	1	17	18	35	1	11	8	19	1	14	14	28	6	2	8	84	70	154	10	2	12	166
川辺小学校	3	35	40	75	3	40	43	83	3	34	37	71	3	40	39	79	2	37	33	70	3	44	48	92	17	5	22	230	240	470	28	5	33	503
神川小学校	3	26	46	72	2	32	36	68	3	37	34	71	3	39	38	77	3	43	30	73	3	37	43	80	17	5	22	214	227	441	21	10	31	472
神科小学校	4	61	56	117	4	60	56	116	3	47	56	103	3	44	55	99	4	50	58	108	3	48	58	106	21	5	26	310	339	649	20	10	30	679
豊殿小学校	1	9	15	24	1	9	16	25	1	19	8	27	1	14	17	31	1	7	21	28	1	14	20	34	6	3	9	72	97	169	14	1	15	184
東塩田小学校	1	6	13	19	1	8	14	22	2	15	22	37	1	20	10	30	1	19	13	32	1	14	13	27	7	2	9	82	85	167	7	3	10	177
中塩田小学校	2	27	30	57	3	31	42	73	3	36	40	76	3	39	36	75	3	34	41	75	3	53	38	91	17	4	21	220	227	447	20	2	22	469
塩田西小学校	1	20	13	33	1	14	17	31	1	15	15	30	1	14	19	33	2	22	18	40	1	14	14	28	7	3	10	99	96	195	11	1	12	207
浦里小学校	1	3	6	9	1	1	3	4	1	8	3	11	1	0	6	6	1	5	3	8	1	4	3	7	6	1	7	21	24	45	2	1	3	48
川西小学校	1	9	15	24	2	22	21	43	1	17	8	25	2	13	27	40	1	18	17	35	2	19	26	45	9	3	12	98	114	212	13	4	17	229
南小学校	3	38	47	85	3	44	47	91	3	49	50	99	4	49	58	107	3	46	59	105	4	46	60	106	20	6	26	272	321	593	31	8	39	632
丸子中央小学校	2	30	21	51	2	29	30	59	2	23	31	54	2	33	31	64	2	32	35	67	3	50	37	87	13	5	18	197	185	382	24	5	29	411
丸子北小学校	2	27	23	50	2	23	30	53	2	22	20	42	2	19	23	42	2	25	29	54	2	25	18	43	12	4	16	141	143	284	21	7	28	312
塩川小学校	1	12	13	25	1	14	15	29	1	11	14	25	1	10	7	17	1	11	12	23	1	7	11	18	6	3	9	65	72	137	18	3	21	158
菅平小学校	1	2	6	8	1	4	2	6	1	7	3	10	1	5	6	11	1	4	5	9	1	6	7	13	6	0	6	28	29	57	0	0	0	57
長小学校	1	5	4	9	1	7	5	12	1	10	4	14	1	4	10	14	1	6	14	20	1	6	13	19	6	2	8	38	50	88	7	0	7	95
傍陽小学校	1	5	7	12	1	3	5	8	1	8	1	9	1	9	12	21	1	8	4	12	1	6	5	11	6	2	8	39	34	73	2	3	5	78
本原小学校	1	17	18	35	2	12	26	38	1	13	12	25	2	24	26	50	1	12	18	30	2	13	23	36	9	2	11	91	123	214	3	3	6	220
武石小学校	1	5	11	16	1	12	5	17	1	9	12	21	1	5	4	9	1	10	16	26	1	6	11	17	6	4	10	47	59	106	18	6	24	130
小学校計	41	502	524	1,026	43	490	556	1,046	43	533	588	1,071	46	547	591	1,138	43	555	594	1,149	46	584	602	1,186	262	86	348	3,211	3,405	6,616	376	120	496	7,112
合 計	上段: 支援学級児童生徒数を外数で記載。総合計は支援学級及び原賠分室を含めた全児童生徒数。																																	

市立中学校学級数、児童・生徒数

学 校 名		第1学年			第2学年			第3学年			通常学級		支援学級		学級数		通常学級		支援学級		児童生徒総数			
		クラス	男	女	合計	クラス	男	女	合計	クラス	男	女	合計	通常学級	支援学級	合計	男	女	合計	男	女	合計		
令和7年5月1日現在																							単位:人	
2 中学校																								
第一中学校		5	66	75	141	5	76	91	167	5	85	85	170	15	5	20	227	251	478	30	5	35	513	
第二中学校		3	44	40	84	3	46	42	88	3	39	50	89	9	3	12	129	132	261	10	9	19	280	
第三中学校		4	60	56	116	4	47	64	111	3	50	51	101	11	4	15	157	171	328	23	7	30	358	
第四中学校		5	85	78	163	5	101	72	173	5	85	76	161	15	6	22	271	226	497	31	12	49	546	
(原峠分室)		0	0	1	1	1	3	1	4	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	3	3	0	
第五中学校		5	73	69	142	5	67	76	143	5	75	73	148	15	6	21	215	218	433	27	9	36	469	
塩田中学校		5	77	79	156	5	79	66	145	6	88	97	185	16	5	21	244	242	486	24	10	34	520	
第六中学校		4	63	58	121	4	59	59	118	4	57	67	124	12	5	17	179	184	363	26	9	35	398	
丸子中学校		2	32	33	65	3	46	37	83	2	27	31	58	7	3	10	105	101	206	5	6	11	217	
丸子北中学校		3	39	38	77	3	43	36	79	3	52	39	91	9	3	12	134	113	247	9	7	16	263	
菅平中学校		1	1	2	3	1	4	10	14	1	4	6	10	3	0	3	9	18	27	0	0	0	27	
真田中学校		2	41	28	69	2	27	31	58	2	28	31	59	6	3	9	96	90	186	9	3	12	198	
中学校計		39	581	556	1,137	40	595	584	1,179	39	590	606	1,196	118	44	162	1,766	1,746	3,512	197	80	277	3,789	
合 計		上段:支援学級児童生徒数を外数で記載。総合計は支援学級及び原峠分室を含めた全児童生徒数。																						

令和6年5月1日との比較

小 学 校	令和6年5月1日		令和7年5月1日		増減	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
	人数	人数	人数	人数	人数	人数
小学校	3,703	3,576	3,777	3,777	74	0
中学校	3,587	3,525	3,789	3,789	202	264
合計	7,290	7,101	7,566	7,566	276	264

3 上田市長和町中学校組合立(令和7年度5月1日現在)

学 校 名	第1学年			第2学年			第3学年			通常学級		支援学級		児童生徒総数								
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計							
	クラス	クラス	クラス	クラス	クラス	クラス	クラス	クラス	クラス	合計	合計	学級	学級	合計	合計							
依田窪南部中学校	2	29	18	47	2	19	29	48	2	20	31	51	6	5	11	68	78	146	20	7	27	173

4 幼稚園(令和7年度5月1日現在)

平成28年度(2016年度)の状況													平成28年度							
幼稚園名	2歳児			3歳児(年少)			4歳児(年中)			5歳児(年長)			合計							
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計					
ちぐさ幼稚園	1	2	0	2	1	5	1	6	1	2	5	7	1	3	5	8	4	12	11	23

児童・生徒の体位（平均）

令和5年度

区 分			身 長(cm)		体 重(kg)		測定人数(人)	
			上田市	長野県	上田市	長野県	上田市	長野県
小 学 校	1年	男	117.2	116.8	21.6	21.5	576	8,005
		女	116.3	115.8	21.2	21.0	547	7,364
	2年	男	123.0	122.7	24.6	24.3	628	8,246
		女	121.8	121.8	23.5	23.6	603	7,787
	3年	男	128.7	128.3	27.9	27.6	634	8,472
		女	128.0	127.5	27.1	26.8	618	8,026
	4年	男	134.2	133.7	31.7	31.3	640	8,390
		女	133.9	133.8	30.6	30.4	612	8,123
	5年	男	139.8	139.4	35.5	35.1	666	8,527
		女	140.8	140.7	34.7	34.7	604	8,222
	6年	男	146.0	145.8	40.1	39.6	677	8,845
		女	147.6	147.4	39.7	39.7	630	8,403
中 学 校	1年	男	154.0	153.6	46.3	45.4	644	8,887
		女	152.0	152.0	44.5	44.3	627	8,519
	2年	男	161.1	160.7	51.0	50.5	643	8,747
		女	154.9	154.8	47.1	47.5	561	8,409
	3年	男	165.6	165.5	55.1	54.6	588	9,015
		女	156.1	156.3	49.6	49.7	669	8,791

中学校卒業者の進路状況

単位:人

年度	卒業生数	高校(公立)			高校(私立)		高専	進学者合計	進学率 %	各種 学校	職 業 訓練校	就職	家居	帰国 その他
		全日制	定時制・ 通信制	多部制	全日制	定時制・ 通信制								
元	1,420	1,011	27	88	221	34	18	1,399	98.5	0	0	3	14	4
2	1,375	981	29	73	215	52	14	1,364	99.2	1	0	1	8	1
3	1,324	932	32	74	203	53	15	1,309	98.9	1	0	4	9	1
4	1,337	914	34	63	222	73	8	1,314	98.3	10	0	0	10	3
5	1,325	923	30	52	198	81	16	1,300	98.1	8	0	2	12	1
6	1,238	838	34	52	202	80	17	1,223	98.8	3	0	3	10	1

情報教育

1 学校教育の情報化に関する基本方針の概要

- わかる授業の実現（確かな学力の育成）
 - ・情報機器を活用した学力向上のための効果的な授業の実施
- 情報活用能力の育成（情報リテラシーの向上）
 - ・情報教育の推進、情報機器等を活用した指導力の向上
- 情報モラルの育成
 - ・情報モラルの育成、学校教育の情報化に対応した安全管理体制の整備
- 情報機器等の環境整備
 - ・情報教育環境整備の推進
- 学校ホームページを活用した開かれた学校づくり
 - ・更新操作の職員研修の開催、ICT支援員による校務支援

2 ICT機器の整備状況（令和7年4月1日現在）

箇所	整備内容
PC 教室	小学校：GIGAスクール1人1台環境を受け、廃止。 中学校：技術科に対応するため存続。ただし、端末更新はせず、いずれ廃止の予定。（学校の要望によっては既に廃止）
普通教室 特別支援教室 特別教室（一部）	Wi-Fi 環境整備完了
事務室	PC 1 台（庁内LAN接続用）
職員室	PC 1 台（デスクトップ型共用機） Wi-Fi 環境整備完了
教職員用	ノートパソコン 常勤教職員に1人1台
児童生徒用	コンピュータ（2 in 1 型）1人1台
各学校	大型TVモニター：全学校普通教室に配備 書画カメラ、画面投影機：全学校に配備

3 情報機器を活用した授業実施に向けた支援体制

情報教育担当指導主事を 中心とした情報教育の推進	ア 情報機器を活用した「わかる授業」の実現 ・情報教育主任会を充実させ、情報教育担当教員が自校の全教員へ指導を実施。全教職員のスキルアップを図る。 ・教職員ポータルサイトの内容充実を図り、全教職員への情報発信や学習資料等の共有を行う。 ・情報教育担当者や導入機器・ソフトウェアのメーカーと連携して活用研修を実施し、情報機器の活用能力を高める。 ・教職員を対象に研修会を実施し、プログラミング教育への共通理解および授業での活用力を高める。 イ 情報セキュリティ・モラル指導を行う。 ・学校からの依頼により、教職員、児童生徒、保護者、それぞれを対象とした情報モラル指導を実施、または、コーディネートする。 ウ 情報担当者や学校間の連携を図る。
-----------------------------	---

	・学校からの要望、上田市の情報環境や活用状況を把握し、調整を図りながら、学校の情報化を推進する。 エ 教職員情報教育研修会の実施 ・1人1台端末活用に向けた研修
上田市マルチメディア情報センターへ委託した様々な支援	ア 安全かつ高速で活用できるネットワークやサーバーの管理 ・学校環境に適したフィルター設定等の実施 ・個人情報など機密事項の漏えい事故を防止するためのウイルス対策と監視 イ 使用目的や上田市の情報環境に適した情報機器やソフトウェアの導入テストや検討 ウ 教職員間の情報共有や地域への情報発信のための教職員ポータルサイトや学校ホームページの管理
行政情報処理センターへ委託した情報機器等の保守管理・ICT支援	ア パソコンの接続不良等のトラブル対応、機器の保守メンテナンス等 イ 学校からの依頼によるソフトウェアのインストールや情報機器の接続設定、活用研修 ウ 学校ICT支援（平成21年度～） ・授業支援（情報スキルやモラルを中心とした授業における機器操作支援、内容指導 等） ・校務支援（情報機器操作支援、教材作成支援 等） ・ホームページ作成支援 ・1人1台端末の活用支援 エ デジタル教材開発 ・情報スキル、モラル学習資料 オ 情報モラル教育、プログラミング教育授業支援 ・学校からの依頼により、児童生徒、保護者、それぞれを対象とした情報モラル指導を実施  プログラミング教育授業支援

4 情報セキュリティ

上田市教育委員会では、平成18年度に学校間情報ネットワークの一元化に併せて技術的なセキュリティ対策の向上を図るとともに、「上田市小中学校等情報セキュリティポリシー」を策定し情報セキュリティ対策に取り組んでいる。令和3年度にはネットワーク及びセキュリティの再構築を行い、さらなる技術的セキュリティ対策の向上を図った。また、GIGAスクール構想に沿った教職員用セキュリティマニュアルを作成し、令和4年度から運用している。

[徹底事項]

- ① 個人情報の取り扱い
- ② 離席する場合の対応
- ③ パスワード管理の徹底
- ④ 個人情報の持ち出し
- ⑤ 学校内での情報管理ルールの徹底

5 メディアリテラシーの指導について

インターネットや情報端末の急速な普及に伴い、児童生徒への悪影響が心配されている。上田市内の小中学生においてもスマホやタブレット等の所持率が上がり、「SNSなどでの誹謗中傷や仲間はずし」、「ネット依存」、「ネット上で知り合った人との接触」、などの事案が起こっており、殺人事件や自殺、性被害にいつ巻き込まれてもおかしくない状況にあると考えられる。

このため、児童生徒がインターネットや情報端末を利用する際の正しいルールやマナー（情報モラル）を身に付けるとともに、情報活用能力（メディアリテラシー）を向上させていくことが必要である。

各学校においては、児童・生徒のインターネットや携帯端末等の利用実態の把握に努めるとともに、依存しないための居場所づくりや自己肯定感の育成に努めていく必要がある。

- ① 各学校において、児童・生徒のインターネットや情報端末等の利用実態の把握（子どもとメディア信州による「情報端末とのよりよい関わりに向けたアンケート」を実施する）、それに伴ういじめの実態把握に努めていただくとともに、児童生徒のメンタルの部分での指導を行う。
- ② 児童生徒へのメディアリテラシーの指導や、安易に情報端末等を与えることの危険性、インターネット利用の危険性について保護者への啓発を行う。
- ③ 「スマホ・ネットをかしこく安全に使うために（生涯学習・文化財課発行）」リーフレットの活用を促進する。

6 有害情報への対応について

インターネットを利用した情報収集を行う場合は、有害情報への対応について配慮が必要である。学校では、（一財）上田市地域振興事業団の支援を受けながら、児童生徒に正しい情報を選択するための教育（情報モラル教育）を実施している。

ネットワーク環境においては、フィルタリングソフトを導入し、パソコンからインターネット接続時にはWebフィルタリング設定を行っている。なお、フィルタリングソフトはクラウド型を採用しており、児童生徒が家庭学習のために1人1台端末を持ち帰って使用する際にも効力がある。また、インターネット接続可能な時間を制御することができ、児童生徒の心身の健全な発達のため、夜間のインターネット接続はできないよう配慮している。

キ ャ リ ア 教 育

1 キャリア教育

現在、若者をめぐる社会情勢は厳しく、さらには精神的・社会的な自立の遅れも指摘されています。

そのため、幼保・小・中・高の各発達段階において、必要な教育を体系的・系統的に進め、学校から社会生活への円滑な移行が大切となっています。

子どもたちが「生きる力」を身に付け、社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面するであろうさまざまな課題に柔軟、かつ、たくましく対応し、社会人、職業人として自立していくことができるようにするキャリア教育の推進が強く求められています。

2 小中学校の取組

各学校では、外部講師として、地元の方や企業、技術者、専門家の方などをお願いし、稲作り・野菜作り等の農業や、地元工芸や手芸、ものづくりの専門家からの技術指導などの学習をしています。

中学校では、社会における役割や将来の生き方等を考えさせ、目標を立てて計画的に取り組む態度を育成し、進路の選択・決定に導いていくことが大切です。

そのため、市内の中学校では、2日から3日間の「職場体験学習」を実施をしています。令和6年度は、市内中学校10校で、各事業所の協力により約400事業所において職場体験学習を実施しました。

勤労観や職業観を身につけ、進路や生き方について自分で選択・決定する能力を育て、将来の子どもの自立を促す必要があるため、「職場体験学習」をとおして、働くことへの関心や意欲を高めることで将来の職業生活に夢や希望を抱き、学校で学ぶことと、働くということを結びつけることを目指しています。

3 市の取組

職場体験学習の成果を上田地域産業展へ出展することなどによって、職場体験学習の場の拡大と地域への啓発等に努めています。

そして、児童・生徒にものづくりや働くことの大切さを理解させ、実践的な体験の充実を図るなど、地域全体でキャリア教育を支援・推進します。

地域とともにある学校づくり

1 コミュニティ・スクール

I コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールは、平成16年6月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により導入されました。

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

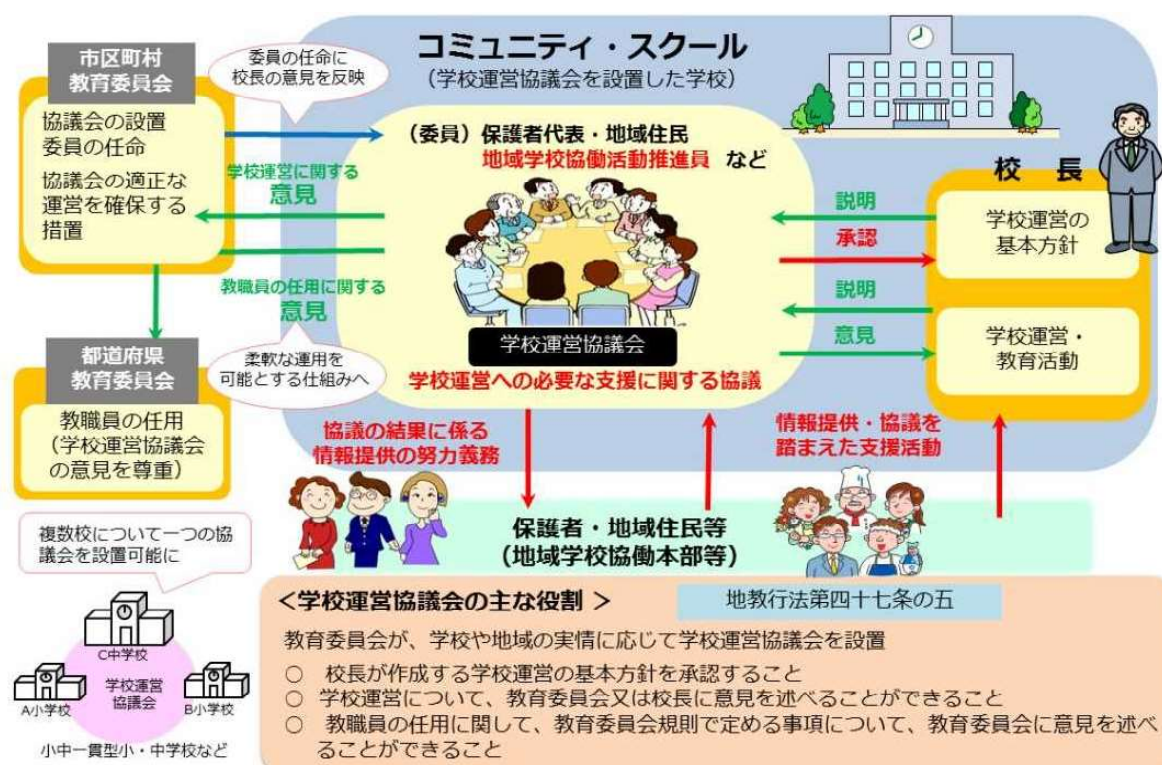
保護者や地域住民などで構成される学校運営協議会が設置されている学校をコミュニティ・スクールと呼び、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取組が行われ、これらの活動を通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができます。

II コミュニティ・スクール導入についての考え方

上田市教育委員会では、保護者の願いと地域の声を反映させるとともに、学校の自主性・自立性を尊重し、学校と保護者・地域とが協働した教育活動の充実を図るため、コミュニティ・スクールも一つの方法と捉え、信州型コミュニティスクールと併せて、平成23年度より条件の整った学校から学校運営協議会の設置を行いました。

III 学校運営協議会の設置状況

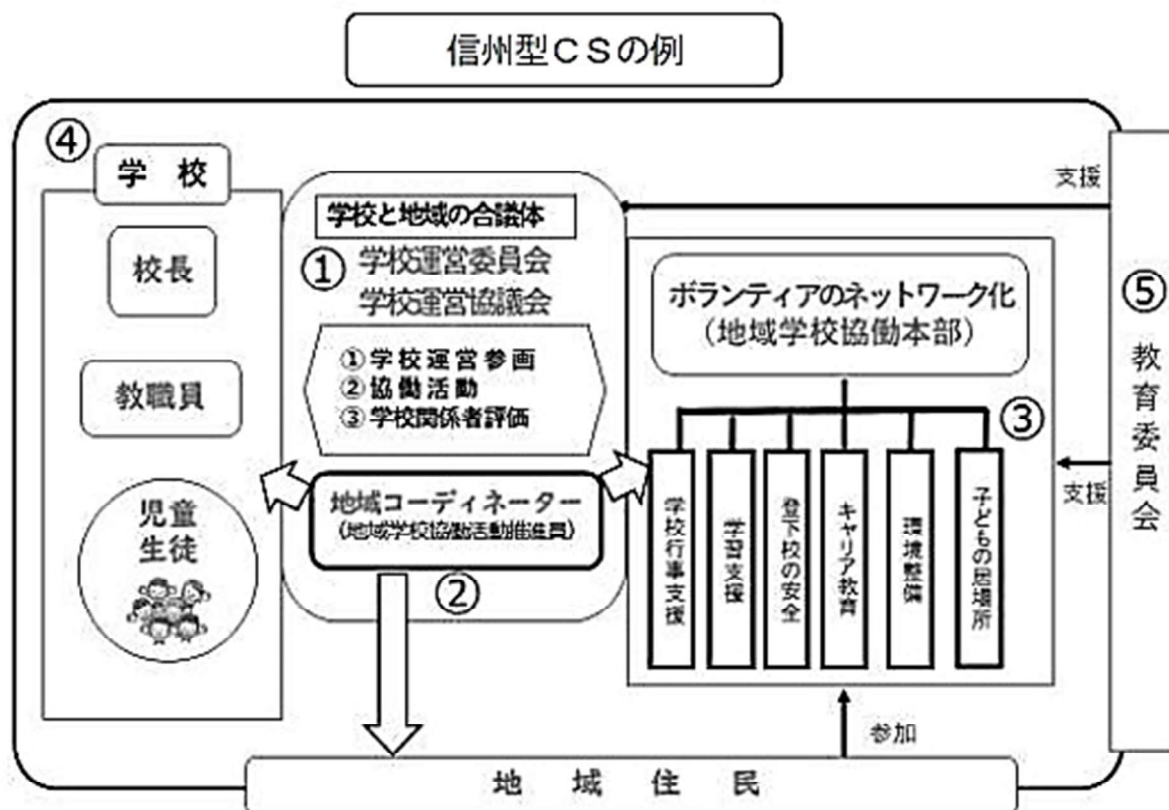
- | | |
|---------------|---------------------|
| (1) 設置されている学校 | 上田市立浦里小学校、上田市立川西小学校 |
| (2) 学校運営協議会委員 | 8人以内 |
| (3) 委員の任期 | 1年 |



2 信州型コミュニティスクール

長野県では、各学校は地域との間に築き上げてきた土台の上に、①学校運営参画②協働活動③学校評価機能を一体的・持続的に実施する仕組みを「信州型コミュニティスクール（信州型CS）」として構築し、学校と地域住民の協働により、子どもたちの豊かな成長を支えるため、「地域と共にある学校」づくりを進めています。

上田市の現状としては、国型のコミュニティ・スクールの小学校2校と、その他全ての小中学校において、信州型コミュニティスクールの要件を満たしています。



3 上田市学校支援プロジェクト(地域学校協働活動)

国で推奨している統括コーディネーターを配置し、各地域のコーディネーター及び公民館と連携しながら、学校支援及び地域学校協働活動を推進しています。

ボランティアの皆さんへ「学校支援ボランティアハンドブック」や「コーディネーター向けのハンドブック」などのマニュアルを配布するとともに、「ボランティア活動保険」に加入し、安心して活動していただけるよう配慮しています。

また、持続可能な「地域とともにある学校づくり」を目指し、活動している関係者への支援として交流会・研修会等の実施、活動を紹介する「学校支援ボランティア コミュニティルーム紹介」「地域とともにある学校づくり」などの作成・配布、特色ある活動のホームページへの掲載などを行っています。

教育相談・児童生徒支援

1 教育相談所

教育相談所は、「学校に行きたがらない」、「学校生活での心配」等子どものさまざまな問題をともに考え、児童生徒、保護者及び教職員の支援を行っています。

教育相談所	場 所	中央六丁目5番39号 ひとまちげんき 健康プラザうえだ内 電話27-0241
	開 所 時 間 等	1 開 所 日 月曜日から金曜日まで 2 開所時間 午前9時から午後4時まで 3 休 所 日 土曜日、日曜日、祝日、年末・年始

2 相談件数

教育相談所での相談件数及び訪問件数の状況です。教育相談所では、相談業務のほかに、必要に応じて学校、家庭訪問等も行っています。

単位：件

項 目		R 4	R 5	R 6
来所相談	保 護 者	172	221	291
	児童生徒	78	107	167
	学 校	307	182	348
	関係機関	566	625	829
	計	1, 123	1, 135	1, 635
電話相談	保 護 者	207	232	253
	児童生徒	3	1	9
	学 校	1, 395	1, 438	1, 563
	関係機関	1, 002	1, 329	1, 383
	計	2, 607	3, 000	3, 208
訪問支援	保 護 者	41	3	0
	児童生徒	(41)	(3)	0
	学 校	677	647	688
	関係機関	388	432	452
	計	1, 106	1, 082	1, 140

3 中間教室

中間教室（ふれあい教室）では、学校・家庭との連携を密にしながら、児童生徒の一人ひとりの状況に応じた支援を行います。それぞれの子どもの状態を見ながら、一日の日課や活動内容を工夫し、集団活動や学ぶことの楽しさ、充実感が実感できることを目指します。

ふれあい教室	常磐城教室	常磐城六丁目3番29号（旧ときわ保育園）	電話27-0104
	上田原教室	上田原1081-3	電話23-6821
	丸子教室	生田2177（信州国際音楽村内）	電話42-1090
	真田教室	真田町本原2165	電話72-2004
	武石教室	武石上本入374（旧権現保育園）	電話85-3344
	開所時間	1 開所日 月曜日から金曜日まで 2 開所時間 午前9時から午後4時まで 3 休所日 土曜日、日曜日、祝日、年末・年始	

4 児童生徒支援体制

名 称	内 容
スクール カウンセラー （県・市配置）	児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを小・中学校に派遣し、児童生徒へのカウンセリングや教職員及び保護者への相談・助言に当たり、いじめや不登校などの問題解決と予防に当たります。 県のスクールカウンセラーに加え、令和4年度から市単独のスクールカウンセラーを新規に配置し、市内全ての小中学校を対象校とした細やかな相談活動を行っています。
スクールソーシャル ワーカー （県・市配置）	悩みを抱える児童生徒が置かれている環境を改善するための支援、関係機関等とのネットワークの構築、学校内におけるチーム支援体制の構築、保護者や教職員等に対する支援、助言及び情報提供、教職員等への研修等の活動を行っています。県のスクールソーシャルワーカーに加え、令和4年度から市単独のスクールソーシャルワーカーを新規に配置しています。
子どもと親の相談員 心の教室相談員	子どもと親の相談員（県配置）または心の教室相談員を全小中学校に配置し、当該学校長のもとで、学級担任等と連携し、不登校児童生徒及び不登校傾向児童生徒に対する登校援助指導や相談等を実施します。
上田地域定住自立圏 スクールカウンセラー・ スクールソーシャルワーカー	上田地域定住自立圏共生ビジョンによりスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを小・中学校に派遣し、児童生徒へのカウンセリングや教職員及び保護者への相談・助言、いじめや不登校などの問題解決と予防に当たります。

特 別 支 援 教 育

1 学校別特別支援学級の状況

令和7年5月1日現在

項目 学校名		知的障がい		自閉症・情緒障がい		虚弱、肢体、難聴等	計
		学級数	開設年月日	学級数	開設年月日	学級数	
小 学 校	清 明	1	昭和58年4月1日	2	昭和60年4月1日		3
	東	2	昭和39年4月2日	4	平成 5年4月1日	1	7
	西	2	昭和42年5月4日	3	平成16年4月1日		5
	北	2	昭和29年5月8日	3	平成元年4月1日		5
	城 下	2	昭和32年4月1日	3	平成14年4月1日		5
	塩 尻	1	昭和53年4月1日	1	平成25年4月1日		2
	川 辺	2	昭和35年6月1日	3	平成 5年4月1日		5
	神 川	2	昭和47年5月1日	3	平成16年4月1日		5
	神 科	2	昭和42年4月1日	3	平成 4年4月1日		5
	豊 殿	1	昭和43年5月1日	2	平成 2年4月1日		3
	東 塩 田	1	昭和33年4月1日	1	平成24年4月1日		2
	中 塩 田	2	昭和48年5月1日	2	平成18年4月1日		4
	塩 田 西	2	平成 9年4月1日	1	平成20年4月1日		3
	浦 里 小			1	令和4年4月1日		1
	川 西	1	平成 2年4月1日	2	平成18年4月1日		3
	南	2	昭和59年4月1日	4	平成10年4月1日		6
	丸子中央	2	昭和46年4月1日	3	昭和61年4月1日		5
	丸 子 北	2	昭和48年4月1日	2	平成13年4月1日		4
	塩 川	1	平成18年4月1日	2	平成18年4月1日		3
	長	1	昭和45年5月1日	1	平成28年4月1日		2
	傍 陽	1	昭和41年4月1日			1	2
	本 原	1	昭和39年4月1日	1	平成22年4月1日		2
	武 石	1	昭和40年4月1日	3	平成17年4月4日		4
	小 計	34		50		0	86

項目 学校名		知的障がい		自閉症・情緒障がい		虚 弱	計
		学級数	開設年月日	学級数	開設年月日	学級数	
中 学 校	第 一	2	昭和44年4月1日	3	平成 4年4月1日		5
	第 二	1	昭和62年4月1日	2	平成21年4月1日		3
	第 三	1	昭和31年5月8日	3	平成10年4月1日		4
	第 四	2	昭和32年4月1日	4	平成元年4月1日		6
	原峠分室					1 ※	1
	第 五	2	昭和43年5月1日	4	平成 4年4月1日		6
	塩 田	2	昭和36年4月1日	3	平成 3年4月1日		5
	第 六	1	昭和63年4月1日	4	平成11年4月1日		5
	丸 子	1	昭和37年4月1日	2	平成13年4月1日		3
	丸子北	1	昭和43年4月1日	2	平成14年4月1日		3
	真 田	1	昭和41年5月2日	2	平成 2年4月1日		3
	小 計	14		29		1	44
	合 計	48		79		1	130

※原峠分室の設置年月日は昭和32年4月1日、昭和63年4月13日に四中に移転

2 通級指導教室の状況

令和7年5月1日現在

項目 学校名	教室数	開設年月日	種別	教室名	サテライト校
北小学校	2	平成 7年4月1日	言語通級指導教室	ことばの教室	神川小学校 長小学校
	2	平成20年4月1日	LD、ADHD等通級指導教室	まなびの教室	東小学校 長小学校
南小学校	1	平成 5年4月1日	言語通級指導教室	ことばの教室	中塩田小学校
丸子中央小学校	2	平成31年4月1日	LD、ADHD等通級指導教室	まなびの教室	中塩田小学校 武石小学校
第三中学校	2	平成29年4月1日	LD、ADHD等通級指導教室	おおぼし教室	真田中学校
丸子中学校	2	令和5年4月1日	LD、ADHD等通級指導教室	つゆくさ教室	第六中学校 塩田中学校
川辺小学校	2	令和6年4月1日	LD、ADHD等通級指導教室	まなびの教室	
丸子北小学校	1	令和7年4月1日	言語通級指導教室	ことばの教室	
合 計	14				

3 教育支援

心身に障がいのある児童・生徒に教育を行うには、障がいの種類や程度に応じて、それぞれに特別な配慮が必要です。具体的には、その障がいの状況を的確に把握して、その子の心身の発達が適切かつ最大限に発揮される教育の場を見出し就学できるようにすることです。

上田市教育委員会では、上田市教育支援委員会を設置し、心理的・教育的・医療的な総合的な実態を調査し、就学に関する支援を行っています。

就学援助制度

1 要保護及び準要保護児童生徒援助費の状況（令和6年度）

単位：人・円

区 分	小 学 生		中 学 生		金額合計
	対象児童数	金 額	対象生徒数	金 額	
学 用 品 費	615	6,676,559	352	7,605,064	14,281,623
通 学 用 品 費	522	1,107,168	230	499,581	1,606,749
校外活動費(泊なし)	567	742,658	277	242,239	984,897
校外活動費(泊あり)	82	232,587	106	658,260	890,847
新入学学用品費	74	4,216,500	131	8,253,000	12,469,500
修 学 旅 行 費	109	4,005,609	90	6,178,912	10,184,521
学 校 給 食 費	607	32,991,211	342	22,038,696	55,029,907
医 療 費	13	75,250	5	34,090	109,340
通 学 費	0	0	1	35,700	35,700
支 給 人 数	655	50,047,542	469	45,545,542	95,593,084

※令和7年度新小学1年及び新中学1年入学予定者について、新入学用品費を入学準備費として前倒しで支給しました。（小学生及び中学生新入学用品費欄に計上）

2 特別支援教育就学奨励費の状況（令和6年度）

単位：人・円

区 分	小 学 生		中 学 生		金額合計
	対象児童数	金 額	対象生徒数	金 額	
学用品等購入費	356	1,867,433	155	1,695,621	3,563,054
校外活動費(泊なし)	279	180,084	23	9,560	189,644
校外活動費(泊あり)	51	88,659	49	152,145	240,804
新入学学用品費	35	707,514	51	1,322,531	2,030,045
修 学 旅 行 費	70	755,300	33	948,672	1,703,972
学 校 給 食 費	350	9,395,153	150	4,910,179	14,305,332
通 学 費	0	0	8	376,900	376,900
支 給 人 数	357	12,994,143	155	9,415,608	22,409,751

3 遠距離通学対策（令和6年度）

単位:人・円

		交通機関利用		徒歩自転車		通級教室		計	
		人数	補助金額	人数	補助金額	人数	補助金額	人数	補助金額
小学校	北	0	0	0	0	23	25,760	23	25,760
	川 辺	0	0	0	0	3	3,360	3	3,360
	神 科	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊 殿	0	0	13	58,500	0	0	13	58,500
	川 西	30	13,028,400	0	0	0	0	30	13,028,400
	南	0	0	5	22,500	9	10,080	14	32,580
	東塩田	0	0	2	9,000	0	0	2	9,000
	中塩田	0	0	0	0	5	5,600	5	5,600
	丸子中央	52	20,122,560	6	27,000	9	10,080	67	20,159,640
	丸子北	0	0	11	49,500	5	5,600	16	55,100
	塩 川	0	0	11	49,500	0	0	11	49,500
	長	11	1,244,360	0	0	0	0	11	1,244,360
	傍 陽	0	0	0	0	0	0	0	0
	武 石	21	1,077,420	0	0	0	0	21	1,077,420
小学校計		114	35,472,740	48	216,000	54	60,480	216	35,749,220
中学校	第 一	16	375,290	6	27,000	0	0	22	402,290
	第 二	54	1,677,520	12	54,000	0	0	66	1,731,520
	第 三	0	0	0	0	6	6,720	6	6,720
	第 四	0	0	12	54,000	0	0	12	54,000
	第 五	0	0	47	211,500	0	0	47	211,500
	塩 田	23	1,137,590	87	391,000	0	0	110	1,529,090
	第 六	9	1,108,080	81	363,000	2	2,240	92	1,473,320
	丸 子	27	14,091,000	3	13,500	8	8,960	38	14,113,460
	丸子北	0	0	63	283,500	0	0	63	283,500
	真 田	3	667,200	8	76,800	0	0	11	744,000
	依田窪中	8	984,960	4	223,560	0	0	12	1,208,520
中学校計		140	20,041,640	323	1,698,360	16	17,920	479	21,757,920
合 計		254	55,514,380	371	1,914,360	70	78,400	695	57,507,140

修学支援制度

1 高等学校通学費等補助制度

長野県内の高校等に通学する生徒の保護者の方に対して、通学に要する費用の負担を軽減することを目的として、補助金を交付しています。

(1) 補助要件

次の要件すべてに該当する高校生を扶養している保護者の方が対象です。

ア 通学している高校等

長野県内の高等学校・高等専門学校・特別支援学校高等部・専修学校高等課程

イ 次のA又はBに該当する高校生

A 次に掲げる自治会に住所を有する高校生。但し、丸子修学館高校に通学している場合には、対象とならない自治会あり。【(2)参照】

野倉 / 西内 平井 萩窪 和子 下和子 辰ノ口 腰越 / 菅平 大日向 角間
横沢 入軽井沢 岡保 傍陽中組 田中 下横道 中横道 上横道 穴沢 三島平 /
鳥屋 沖 薮合 中島 セケ 片羽 堀之内 市之瀬 下本入 権現 下小寺尾
上小寺尾 唐沢小原 築地原 大布施巣栗 西武 小沢根 余里

B 公共交通機関を利用している高校生。但し、次の条件をすべて満たす方に限ります。

- a 公共交通機関（電車・バス）で通学している。
- b 定期券を購入し、利用している。
- c 公共交通機関による通学距離のうち、上田市内における利用距離が片道 13 km以上である。

ウ 高校等へ入学して、3年以内であること。

エ 保護者の方に、市税の滞納がないこと。

(2) 補助金額

ア 上記(1)のイのAに該当する場合

自治会名	補助金額	
	右欄以外の場 合	丸子修学館高校 へ通学の場合
野倉 / 大日向 角間 横沢 入軽井沢 岡保 傍陽中組 田中 下横道 中横道 上横道 穴沢 三島平	月額 3,000 円	月額 3,000 円
和子 下和子 辰ノ口 腰越 / 鳥屋 沖	月額 3,000 円	対象になりません
萩窪 / 薮合 中島 セケ 片羽 堀之内 市之瀬 下本入 小沢根 余里	月額 4,000 円	対象になりません
菅平	月額 5,000 円	月額 5,000 円
西内 平井 / 権現 下小寺尾 上小寺尾 唐沢小原 築地原 大布施巣栗 西武	月額 5,000 円	月額 3,000 円

イ 上記(1)のイのBに該当する場合

市内利用区間定期代の 20% (百円未満切捨)

ウ 上記(1)のイのAとBの両区分に該当する場合

原則として補助金額の高い区分により算定します。但し、片道定期を利用している場合には、上記アで算定された額に、上記イで算定される補助金額の 2 分の 1 を加算します。

(3) 補助実績

単位：人、円

地域名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	生徒数	金額	生徒数	金額	生徒数	金額
上田地域	9	255,900	15	291,100	11	314,400
丸子地域	47	1,682,902	41	1,526,858	43	1,622,968
真田地域	28	1,194,221	36	1,456,508	35	1,444,481
武石地域	46	2,114,838	49	2,268,000	52	2,412,000
計	130	5,247,861	141	5,542,466	141	5,793,849

2 奨学金制度

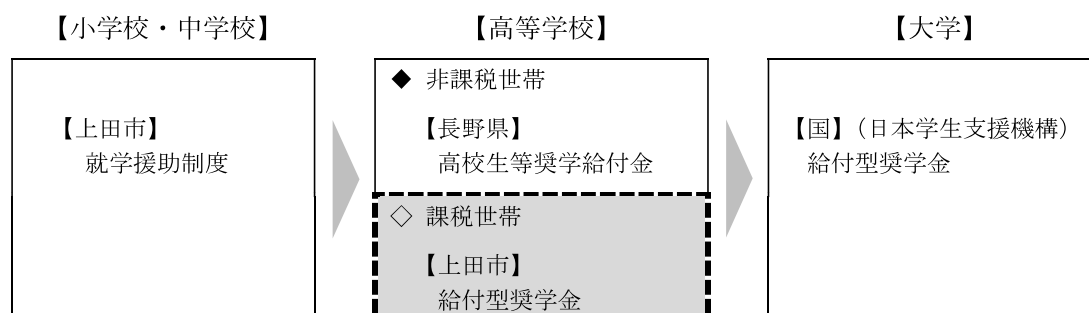
平成 28 年度に上田・丸子・真田地域の奨学金制度を統一し、全市域の高校生を対象とした給付型奨学金制度を実施しています。

(1) 高校生を対象とした給付型奨学金

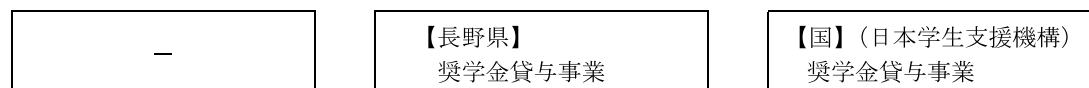
項目	内容
運営主体	上田市
奨学方法	給付
対象区分	県内の高等学校（全日制、定時制、通信制）、中等教育学校の後期課程、高等専門学校、専修学校高等課程
金額	・全日制、定時制の高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校、専修学校高等課程 年額 72,000 円 ・通信制の高等学校 年額 30,000 円
資格要件	次の要件を全て満たす高校生等の保護者 ① 7 月 1 日現在、市内に引き続き 6 月以上住所を有していること ② 学校長が推薦する向学心のある高校生等の保護者であること ③ 生活保護法に規定する要保護者に準じる程度に困窮している世帯に属し、かつ、同法の規定による保護を受けていないこと ④ 長野県の高校生等奨学給付金の受給要件を満たしていないこと
支給実績	令和 6 年度 56 件 3,660,500 円
奨学基金	131,325,970 円（令和 7 年 4 月 1 日現在）

■ 教育課程別 経済的支援を目的とした公的制度のイメージ図

給付型



貸与型



(2) 平成 27 年度までの各地域の制度

項目	上田地域	丸子地域	真田地域
事業主体	上田市育英会	丸子育英会	上田市
奨学方法	給付	貸与（無利子）	貸与（無利子）
対象区分	高校	高校～大学	高校～大学

学 校 給 食

1 学校給食の目標(学校給食法)

- ① 適切な栄養の摂取により、児童生徒の健康の保持増進を図る。
- ② 健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養う。
- ③ 学校生活を豊かにし、社交性や協同の精神を養う。
- ④ 生命及び自然を尊重する精神並びに環境保全に寄与する態度を養う。
- ⑤ 食に関わる人々に感謝し、勤労を重んずる態度を養う。
- ⑥ 地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深める。
- ⑦ 食料の生産、流通及び消費について正しい理解を深める。

＜特徴的な取組＞

- ・ 適切な栄養摂取による健康の保持増進ができるよう、学校保健統計から上田市の児童生徒の体位に合わせて、給食で摂取するエネルギーを算出し、各給食施設の学校給食摂取基準を定め給食を実施しています。
- ・ 「上田市食材規格表」に基づき、より安全良質な無(低)添加等の食品や国産品を使用し、地場産物の使用を積極的に進めています。
- ・ 季節の食品、行事食、郷土食等を取り入れ、献立の多様化を図るとともに、薄味や家庭で不足しがちな食品を使用する等、健康増進に配慮した食事内容にしています。
- ・ 天然素材から出汁をとったり、ルーを手作りしたりする等、手作りを心がけおいしい給食作りに努めています。
- ・ 地産地消の推進及び流通を中心とした学び等、食育の推進を目的として、関係課や生産者、流通業者等の方々と連携を図りながら、企画給食等の取組を実施しています。
- ・ 食の指導に関する全体計画を全小中学校が作成し、計画的に食育を実施しています。
- ・ 各学校給食施設において、献立計画や食育指導計画等により、食育の教材となるよう計画的に給食を提供しています。

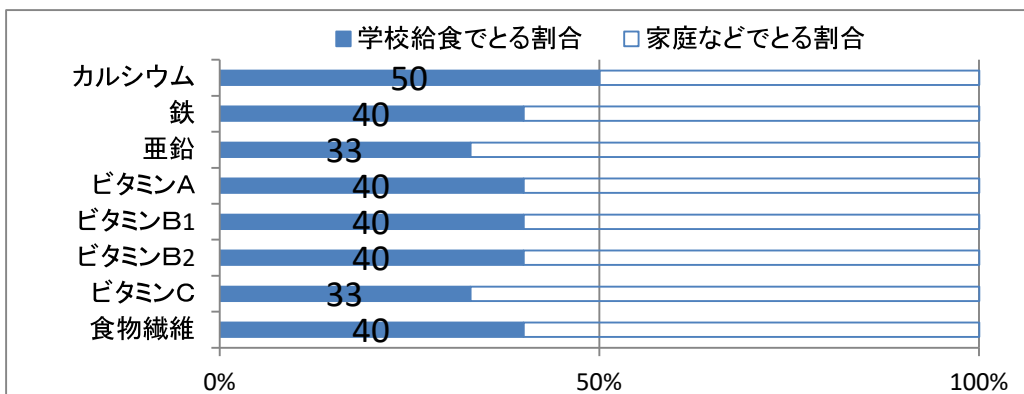
2 上田市学校給食摂取基準（令和7年度）

児童・生徒1食あたりの摂取基準（上田市平均）

	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学生
エネルギー(kcal)	540	650	800	840
たんぱく質(g)	22 (18 ～ 27)	27 (22 ～ 33)	33 (26 ～ 40)	35 (28 ～ 42)
脂質(g)	15 (12 ～ 18)	18 (15 ～ 21)	22 (18 ～ 26)	23 (19 ～ 28)

※各給食施設ごと対象者に合わせて設定している

学校給食でとる各栄養素の割合（％）



3 学校給食の実施状況

令和7年5月1日現在

(1) 給食数・給食日数・給食費

小学校

施設名	学校名	給食数 (食)	児童数 (人)	給食日数 (日)	1食あたりの給食費(円)	
					低学年	高学年
第二学校給食センター(15校) 児童数 5,474 人 給食数 5,891 食 (センター職員 58 人含む)	清明小学校	300	281	203	310	330
	東小学校	507	478	202		
	西小学校	375	351	204		
	北小学校	408	383	202		
	城下小学校	423	392	203		
	塩尻小学校	183	166	205		
	川辺小学校	536	503	203		
	神川小学校	497	472	204		
	神科小学校	711	679	202		
	豊殿小学校	199	184	203		
	中塩田小学校	496	469	204		
	塩田西小学校	223	207	203		
	浦里小学校	62	48	200		
	川西小学校	248	229	204		
	南小学校	665	632	204		
丸子学校給食センター(4校) 児童数 1,058 人 給食数 1,165 食 (センター職員 28 人含む)	東塩田小学校	192	177	202		
	丸子中央小学校	435	411	204		
	丸子北小学校	337	312	203		
	塩川小学校	173	158	202		
自校給食校(5校) 児童数 580 人 給食数 673 食	長小学校	112	95	203		
	傍陽小学校	96	78	203		
	本原小学校	244	220	203		
	菅平小学校	70	57	201		
	武石小学校	151	130	202		
給食数・児童数合計、給食日数平均、給食費		7,729	7,112	203	310	330

中学校

施設名	学校名	給食数 (食)	生徒数 (人)	給食日数 (日)	1食あたりの給食費 (円)
第一学校給食センター(7校) 生徒数 3,084 人 給食数 3,333 食 (センター職員 40 人含む)	第一中学校	542	513	199	370
	第二中学校	306	280	202	
	第三中学校	385	358	203	
	第四中学校	582	546	203	
	第五中学校	503	469	203	
	塩田中学校	550	520	204	
	第六中学校	425	398	203	
丸子学校給食センター(2校) 生徒数 480人 給食数 528食	丸子中学校	244	217	204	370
	丸子北中学校	284	263	204	
自校給食校(2校) 生徒数 225人 給食数 264食	菅平中学校	37	27	201	370
	真田中学校	227	198	200	
給食数・生徒数合計、給食日数平均、給食費		4,125	3,789	202	370

令和5年度に上田市学校給食運営審議会を開催し、令和6年度以降の給食費を1食あたり小学校23円、中学校24円引き上げるとともに、地域差(+6～10円)を解消し、小学校低学年310円、高学年330円、中学校370円とした。令和6年度の給食費は、激変緩和措置として基本引き上げ分の1食あたり小学校23円、中学校24円を公費負担とする学校給食負担軽減事業を実施した。令和7年度も子育て世帯への経済的支援が急務であることから、引き続き国の交付金を活用して学校給食負担軽減事業を実施し、保護者負担額を据え置くとともに、主食の価格上昇に対応するため、1食あたり10円を上乗せし、小学校33円、中学校34円を交付している。

(2) 上田市学校給食における地元(上小地域)農産物使用状況

①地元産青果物の使用状況

年 度	2 ※	3	4	5	6
総使用量 (kg)	303,868	350,130	340,796	308,243	317,056
うち地元産 (kg)	42,693	52,773	47,844	45,484	31,167
地元産割合 (%)	14.0	15.1	14.0	14.8	9.8

②地元産米の年度別使用率

年 度	2 ※	3	4	5	6
総使用量 (kg)	126,867	136,144	133,461	130,469	131,773
うち地元産 (kg)	126,867	136,144	133,461	130,469	131,773
利用割合 (%)	100	100	100	100	100
1人当たり年間使用量(g)	9,870	10,778	10,597	10,607	10,964

③米+青果物の年度別使用量(①+②)

年 度	2 ※	3	4	5	6
総使用量 (kg)	430,735	486,274	474,257	438,712	448,829
うち地元産 (kg)	169,560	188,917	181,305	175,953	162,940
利用割合 (%)	39.4	38.8	38.2	40.1	36.3

※新型コロナウイルス感染症対策のためR2.4-5月は給食停止

4 学校給食施設従事職員数

令和7年5月1日現在 (人)

施 設 名	県		市						計
	栄養教諭	栄養職員	管理栄養士・栄養士		事務職員		調理員		
	正 規	臨時的 任用職員	正 規	会計年度 任用職員	正 規	会計年度 任用職員	正 規	会計年度 任用職員	
第一学校給食センター	1	1			2	1	18	17	40
第二学校給食センター	2		1	2	2	1	23	27	58
丸子学校給食センター	1	1		1	2		9	14	28
長小学校				1				3	4
傍陽小学校								3	3
本原小学校			1				2	3	6
菅平小・中学校								3	3
真田中学校		1						5	6
武石小学校				1				3	4
計	4	3	2	5	6	2	52	78	152

5 学校給食センター一覧

施 設 名	配送学校数	給食数	住 所	電話番号
第一学校給食センター	中学校 7校	3,333	小泉1-1	22-7084
第二学校給食センター	小学校 15校	5,891	古里1913	25-1287
丸子学校給食センター	小学校4校 中学校2校	1,693	中丸子1771-14	42-2892

放課後児童対策

1 事業概要

放課後や学校休業日における児童の健やかな成長と働く親の子育てを支援するため、次の施設を設置し、指定管理者制度により運営しています。

- ・健全育成施設：児童館・児童センター（自由来館制・無料）
- ・留守家庭対策施設：放課後児童クラブ（児童クラブと学童保育所（登録制・有料））

2 施設概要（全37施設）

(1) 役割・運営状況

ア 児童館・児童センター：11施設（上田地域：8、丸子地域：1、真田地域：1、武石地域：1）

遊びや健康づくりを通して、児童の心と体を豊かに育む施設です。18歳未満ならだれでも利用でき、遊戯室や図書室があり、専任の児童厚生員が指導にあたっています。

イ 放課後児童クラブ：26施設

- ・児童クラブ：20施設（上田地域：12、丸子地域：4、真田地域：4）
- ・学童保育所：6施設（上田地域：5、武石地域：1）

昼間保護者のいない家庭の小学生に遊びと生活の場を提供し、保護者に代わって児童を保育する施設です。専任の指導員が保育にあたっています。

(2) 設置状況

※は小学校内に設置している施設

地域	小学校区	児童館・児童センター	放課後児童クラブ	
			児童クラブ	学童保育所
上田	清 明		※清明児童クラブ 21-9320	
	東		※東部児童クラブ 23-8567	
	西	緑が丘児童館 25-0444	※西部児童クラブ 22-0460	
	北	大星児童センター 27-5610		※太郎の家 24-6265
	城 下	朝日が丘児童館 25-0849		たんぼぼ 25-9010
	塩 尻	秋和児童センター 25-6011	※塩尻児童クラブ 22-2057	
	川 辺		※川辺児童クラブ 21-5567	バッタの家 25-0869
	神 川	神川児童センター 21-1156	※神川児童クラブ 22-5339	
	神 科	神科児童センター 25-2055		※どんぐり 55-7512
	豊 殿		※豊殿児童クラブ 22-6812	
	東 塩 田	東塩田児童センター 38-9150	※東塩田児童クラブ 38-7054	
	中 塩 田		※中塩田児童クラブ 38-6805	
	塩 田 西		※塩田西児童クラブ 38-0907	
	浦 里		浦里児童クラブ 31-0331	
	川 西		川西児童クラブ 25-2456	
丸子	丸 子 中 央	下丸子児童館 090-4442-8302	※丸子中央児童クラブ 42-7014	
			西内児童クラブ 44-2066	
	丸 子 北		丸子北児童クラブ 43-0205	
	塩 川		※塩川児童クラブ 35-1015	
真田	菅 平		※菅平児童クラブ 74-2029	
	長		長児童クラブ 72-0218	
	傍 陽		傍陽児童クラブ 73-2173	
	本 原	真田児童館 72-0323	本原児童クラブ 72-0323	←児童館・児童クラブ併設
武石	武 石	武石児童館 85-2826	←児童館・学童保育所併設→	ピーターパン 85-2826

※ 平成21年度から現在の体制に再編・統一（武石児童館は22年4月新設（既存のピーターパンを移転併設））

※ 上田地域の学童保育所は平成14年度まで民設民営（運営費補助）、平成15年4月からは公設民間委託

※ 合併前の委託施設（上田・丸子の児童館・児童センター、全学童保育所）は、合併時（平成18年3月6日）に指定管理者制度に移行

※ 合併前の直営施設（真田児童館、現在の児童クラブ）は、平成21年度再編時に指定管理者制度に移行

※ 学童保育所の分室：「太郎の家」には分室「太郎の家」、「たんぼぼ」には分室「ふれんど」、「どんぐり」には分室「ころころ」、「トットの家」には分室「スマイル」がある。

(3) 各施設の運営状況

施設種類	地域	指定管理者	運営時間	利用料
児童館・ 児童センター	上田 ※1	上田市 社会福祉協議会	平日：午後1時～午後6時 ※2 土曜日・学校休業日：午前9時～午後6時	無料
	丸子		平日・計画休業日：午後3時30分～午後5時30分 長期休業日（夏）：午後1時～午後5時30分 長期休業日（冬、春）：午後1時～午後5時	
	真田	労働者協同組合 ワーカーズ・コープ・センター事業団	平日：午後1時～午後5時 土曜日・学校休業日：午前9時～午後5時	
	武石	NPO法人 武石子育て 支援を考える会	平日：午後1時～午後6時 土曜日・学校休業日：午前9時～午後6時	
放課後児童クラブ				
児童クラブ	上田・丸子 真田	労働者協同組合 ワーカーズ・コープ・センター事業団	平日：午後12時30分～午後7時 ※2 土曜日・学校休業日：午前8時～午後7時	有料
学童保育所	上田	各学童保育所 運営委員会		
	武石	NPO法人 武石子育て 支援を考える会		

※1 上田地域の児童館・児童センターについては、留守家庭児童の場合、申請により小学校から直接行くことができます。

※2 上田地域の児童館・児童センターと全放課後児童クラブは、平日小学校が午前中で終わるような場合、下校時刻に合わせて開館します。（急な下校時刻の変更は除きます。）

休業日		
児童館・児童センター	毎週日曜日	12/29～1/6 、 8/13～8/16
児童クラブ・学童保育所	国民の祝日に関する法律に規定する休日	12/29～1/3 、 8/13～8/16

(4) 放課後児童クラブ登録児童数の推移（人）

施設	地域	施設名	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
児童クラブ	上田	豊殿児童クラブ	115	125	118	118	118	120
		中塩田児童クラブ	214	238	204	201	184	192
		川西児童クラブ	128	129	99	94	69	101
		塩田西児童クラブ	96	88	87	87	86	99
		浦里児童クラブ	28	29	25	25	29	28
		東部児童クラブ	306	317	286	311	261	245
		川辺児童クラブ	204	181	157	179	195	209
		清明児童クラブ	166	145	124	115	112	133
		西部児童クラブ	154	162	129	131	113	133
		塩尻児童クラブ	88	89	65	71	80	83
		神川児童クラブ	160	160	153	158	162	171
		東塩田児童クラブ	64	66	50	55	59	54
		小計	1,723	1,729	1,497	1,545	1,468	1,568
	丸子	丸子中央児童クラブ	191	208	176	174	164	178
		丸子北児童クラブ	168	164	149	152	147	178
		塩川児童クラブ	88	83	71	71	56	74
		西内児童クラブ	17	17	9	13	8	7
		小計	464	472	405	410	375	437
	真田	本原児童クラブ	100	94	81	83	74	91
		長児童クラブ	50	48	58	50	54	59
		傍陽児童クラブ	44	42	32	36	41	40
		菅平児童クラブ	34	32	31	36	38	37
		小計	228	216	202	205	207	227
	児童クラブ 合計			2,415	2,417	2,104	2,160	2,050
学童保育所	上田	学童保育所 太郎の家	44	42	50	66	80	93
		学童保育所 バッタの家	43	53	45	41	43	41
		学童保育所 どんぐり	85	100	94	83	83	93
		学童保育所 トットの家	85	85	74	73	82	91
		学童保育所 たんぽぽ	83	88	77	76	85	87
		小計	340	368	340	339	373	405
	武石	学童保育所 ピーターパン	33	42	45	37	42	41
		学童保育所 合計	373	410	385	376	415	446
放課後児童クラブ 合計			2,788	2,827	2,489	2,536	2,465	2,678

(5) 放課後児童クラブ保育料

児童クラブ	月10日以上利用の場合：3,000円/月、月10日未満利用の場合：300円/日
学童保育所	6,000円/月

◆ 保育料の軽減

- 1 同一世帯で2人以上の児童が利用する場合は、最も保育料の額が高い児童（最も保育料の額が高い児童が2人以上の場合は、そのうちの1人とする。）についてはその額、その他の児童については保育料の2分の1の額とする。
- 2 母子家庭又は父子家庭の児童が利用する場合は、保育料の2分の1の額とする。この場合において、前項の規定は、適用しないものとする。

※ 丸子地域の児童クラブは、旧児童クラブ当初から有料

※ 真田地域の児童クラブは、旧ふれあいの館時代の平成17年度に有料化

※ 上田地域の児童クラブ（旧こども館）は、平成21年度の再編とともに有料化

(6) 年間利用児童数の推移（延べ人数）

施設	地域	施設名	開設年月	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
児童館	上田	朝日が丘児童館	S55. 4	3,377	3,391	2,925	3,365	2,812	
		緑が丘児童館	S61. 4	2,448	2,030	1,321	1,783	1,512	
		川辺町児童センター	S62. 4	8,242	8,334	8,295	10,827	10,669	
		秋和児童センター	S63. 4	1,982	1,855	668	641	1,569	
		東塩田児童センター	H 2. 4	5,162	3,824	3,037	4,042	4,211	
		大星児童センター	H 4. 4	6,941	9,250	10,047	11,322	9,924	
		神科児童センター	H 6. 4	8,611	11,531	10,299	10,495	15,080	
		神川児童センター	H 9. 4	4,970	4,400	5,535	6,039	5,699	
	丸子	下丸子児童館	S57. 11	185	649	169	245	373	
	真田	真田児童館	H15. 3	421	453	89	495	1,624	
武石	武石児童館	H22. 4	6,031	6,198	7,141	8,740	9,105		
児童館 計 (小、中、高)				48,370	51,915	49,526	57,994	62,578	
児童クラブ	上田	豊殿児童クラブ	H12. 10	10,227	12,541	12,177	13,673	15,453	
		中塩田児童クラブ	H13. 10	18,881	20,471	16,091	16,599	18,110	
		川西児童クラブ	H13. 12	6,841	8,034	6,809	6,987	10,543	
		塩田西児童クラブ	H14. 2	4,524	6,953	6,331	6,781	8,286	
		浦里児童クラブ	H14. 10	1,834	2,141	1,709	2,259	1,454	
		東部児童クラブ	H14. 10	26,748	30,836	25,354	22,416	24,066	
		川辺児童クラブ	H14. 10	13,929	15,274	15,306	15,345	18,528	
		清明児童クラブ	H15. 4	8,272	10,589	11,067	12,501	12,117	
		西部児童クラブ	H21. 4	9,844	10,497	10,628	12,088	13,240	
		塩尻児童クラブ	H21. 4	5,963	6,491	8,102	11,033	11,690	
		神川児童クラブ	H21. 4	13,385	16,597	16,340	18,353	20,960	
		東塩田児童クラブ	H21. 4	4,306	5,974	5,373	6,154	4,782	
	丸子	丸子中央児童クラブ	H12. 4	10,354	12,339	13,535	15,922	17,445	
		丸子北児童クラブ	H12. 4	12,079	16,489	15,176	15,106	19,902	
		塩川児童クラブ	H14. 4	6,407	5,806	6,137	5,918	7,808	
		西内児童クラブ	H19. 7	946	743	1,143	916	700	
	真田	本原児童クラブ	H10. 4	7,708	8,137	6,820	6,949	7,448	
		長児童クラブ	H12. 12	3,162	3,744	3,436	5,927	4,369	
		傍陽児童クラブ	H12. 12	2,316	2,582	3,561	4,600	4,814	
		菅平児童クラブ	H13. 4	1,487	1,989	2,603	3,682	3,770	
	児童クラブ 計 (小学生)				169,213	198,227	187,698	203,209	225,485
	学童保育所	上田	学童保育所 太郎の家	S58. 4	6,997	9,090	11,978	15,757	18,773
			学童保育所 バッタの家	S60. 4	8,807	7,789	6,876	7,897	7,693
学童保育所 どんぐり			S60. 4	15,593	16,857	11,498	14,349	16,525	
学童保育所 トットの家			S62. 7	13,917	12,970	10,561	15,170	11,271	
学童保育所 たんぽぽ			H 6. 4	11,951	11,494	11,219	13,404	13,919	
武石		学童保育所 ピーターパン	H10. 2	7,120	9,238	7,053	8,404	7,894	
学童保育所 計 (小学生)				64,385	67,438	59,185	74,981	76,075	
合計				281,968	317,580	296,409	336,184	364,138	

※ 児童館は小学生～高校生、児童クラブと学童保育所は小学生

市内の国・県・私立学校等

令和7年4月1日現在

1 大学、短期大学

区分	大学名等	郵便番号	所在地	電話番号
国立	信州大学繊維学部	386-8567	常田 3-15-1	21-5300
国立	筑波大学山岳科学センター 菅平高原実験所	386-2204	菅平高原 1278-294	74-2002
県立	長野県工科短期大学校	386-1211	下之郷 813-8	39-1111
公立	長野大学	386-1298	下之郷 658-1	39-0001
私立	上田短期大学	386-1214	下之郷乙 620	38-2352

2 高等学校

区分	学校名	郵便番号	所在地	電話番号
県立	上田千曲高等学校	386-8585	中之条 626	22-7070
	上田高等学校	386-8715	大手 1-4-32	22-0002
	上田染谷丘高等学校	386-8685	上田 1710	22-0435
	上田東高等学校	386-8683	常田 3-5-68	22-0101
	丸子修学館高等学校	386-0405	中丸子 810-2	42-2827
私立	上田西高等学校	386-8624	下塩尻 868	22-0412
	さくら国際高等学校	386-1433	手塚 1065	39-7707
	コードアカデミー高等学校	386-0012	中央 1-2-21	75-7877

3 特別支援学校

区分	学校名	郵便番号	所在地	電話番号
県立	上田養護学校	386-0153	岩下 462-1	35-2580

4 幼稚園、幼保連携型認定こども園

区分	幼稚園名	郵便番号	所在地	電話番号
私立	梅花幼稚園	386-0024	大手 2-2-8	22-0009
	たちばな幼稚園	386-0012	中央 6-3-3	25-2716
	聖マリア幼稚園	386-0018	常田 2-2-1	22-1398
	大屋幼稚園	386-0152	大屋 40-1	35-0190
	上田幼稚園	386-0023	中央西 2-8-3	22-6259
	上田南幼稚園	386-1102	上田原 1183	24-2237
	上田短期大学附属幼稚園	386-1214	下之郷乙 602	38-5996

区分	幼稚園名	郵便番号	所在地	電話番号
私立	上田北幼稚園	386-0003	上野 1616-65	25-2868
	おひさまクラブ幼稚園	386-1326	舞田 738-1	38-4578
	西望幼稚園	386-0404	上丸子 303	42-2322
	いずみ幼稚園	386-2201	真田町長 7042	72-2262
	幼保連携型認定こども園 キッズ・うえだみなみ	386-0018	常田 1-4-12	29-3735
	幼保連携型認定こども園芙蓉園	386-0011	中央北 2-7-51	22-1147
	幼保連携型認定こども園 あそびの森あきわ	386-0041	秋和 864-3	27-8820
	幼保連携型認定こども園かんぎおん	386-0027	常磐城 3-7-48	22-1595
	幼保連携型認定こども園にしおか	386-0151	芳田 1411-1	35-1157
	幼保連携型認定こども園日向幼稚園	386-1107	築地 189-1	25-1727

5 専修学校

区分	学校名	郵便番号	所在地	電話番号
私立	上田総合文化専門学校	386-0012	中央 3-6-2	22-0129
	上田情報ビジネス専門学校	386-0012	中央 3-7-5	22-0255
	長野医療衛生専門学校	386-0012	中央 2-13-27	23-3800
	専門学校長野ビジネス外語カレッジ	386-0012	中央 3-5-18	23-7220
	上田看護専門学校	386-0012	中央 2-22-10	25-0539
	信州クラーク高等学院	386-0023	中央西 1-14-31	27-5588

6 各種学校

区分	学校名	郵便番号	所在地	電話番号
私立	上田予備学校	386-0012	中央 1-2-21	22-5588

IV 社会教育

生涯学習

1 基本方針

第二次上田市生涯学習基本構想の基本理念「学びをつむぐまちづくり」に基づき、誰もが自由に学ぶことができるよう、市民の生涯各期にわたる自主的・自発的な学習活動を支援するとともに、「学び」を地域の中で「生かす」ことによって自己と社会を豊かにしていく生涯学習社会の形成を目指します。

また、地域や生活の課題を解決するために、互いに学び合い、支え合うことができるよう地域人材の活用や交流等の市民活動を促進し、生涯学習の推進による地域の教育力の醸成を図ります。

2 令和7年度重点施策

- (1) 第二次上田市生涯学習基本構想の基本計画における具体的な施策について、計画的に事業を実施していきます。また、第三次生涯学習基本構想の策定に向け、これまでの取組について検証していきます。
- (2) 地域で培われてきた伝統や文化、人的資源などを生かした特色ある事業を進めるとともに、自治基本条例の理念を踏まえ、市民の主体的な学びを尊重し、地域課題の掘り起こしや、解決に向けた学習活動、主体的な地域づくり・人づくり活動を支援していきます。
- (3) 地域の教育力を活用するため、生涯学習情報の提供や学習の成果をさまざまな活動に結び付けるための機会をつくり、市民の参加と協働による生涯学習の各種施策を進めます。
- (4) 地域学校協働活動の取組が、持続可能な活動となるような体制づくりを進めるとともに、多様な学習ニーズに対応するためのコーディネートや学びを広げていくための情報発信や交流を進めます。

3 令和7年度事業計画

令和7年4月1日現在

事業名	事業内容
社会教育委員関係	・社会教育委員会議の開催、視察研修の実施
社会教育事業の条件整備	・社会教育機関、学校等関係機関との連携 ・社会教育職員の資質向上及び専門性の向上
社会教育施設の環境整備	・公民館、図書館、博物館等社会教育施設の施設整備の推進 ・社会教育施設の活用及び維持管理
第三次生涯学習基本構想の策定	・生涯学習基本構想策定委員会の諮問に応じた審議及び答申
市民への学習機会の提供、活動への支援	・市内5大学と連携したリレー講座「未来学科」の実施 ・生涯学習シンポジウムの開催 ・出前ときめきのまち講座の実施（109講座） ・各種講座、事業等の市民への情報提供
地域性を生かした事業の実施	・戦争遺跡の保存・活用（説明看板の設置） ・国際交流事業の実施（丸子地域）
学社連携・協働事業	・学校支援プロジェクトの取組の推進 ・学校支援ボランティア及びコーディネーターの育成（交流会等開催） ・「丸子地域青少年ネットワーク会議」による小・中・高校の連携（丸子地域） ・第一中学校、第二中学校、城下小学校、塩田西小学校、塩田中学校特別教室の施設開放

青少年教育

1 基本方針

- (1) 人口減少、少子化の進展など社会情勢が急激に変化する中、良好な教育環境づくりに向けた啓発・支援活動に取り組むとともに、子どもたちの豊かな社会性と人間性を育む体験活動事業を促進します。
- (2) 家庭、学校、地域社会がそれぞれの役割を果たし、相互の連携が促進するよう地域の取組を支援し、地域で子どもを育てるという意識の醸成を図ります。

＜期待される主な役割＞

家 庭	だんらんや家族一緒にの活動等により愛情の充足や心の安定を図るとともに、メディア等との関わりを家族で考えるなど健全な生活習慣の定着を支えます。
学 校	上田市教育支援プランに基づき、家庭や地域と連携・協力しながら、多様な学習や体験の機会を提供し、豊かな心と身体を育成します。
地 域	培われた歴史や文化を大切にする中で、さまざまな団体などと連携し、生活体験、自然体験、社会体験、ボランティア体験、自由な遊びなどの場や機会を一層充実させ、地域ぐるみで子どもたちの健全育成を図ります。

2 令和7年度重点施策

(1) 青少年育成関係団体の連携の推進

青少年育成の課題解決に向け、公民館地区ごとに青少年育成関係団体間の連携を深めながら市民会議・市民の集いなどの各種事業に取り組みます。

(2) 地域における体験活動の促進・支援

育成会や公民館、学校での体験活動を支援するとともに、子どもたちの体験活動の促進に資する各種事業に取り組みます。

(3) 社会の変化に対応した青少年を育む環境づくりの推進

こども安全安心見守り委員と学校・青少年育成関係団体・地域社会との連携を強化し、子どもたちへの「支援」の充実を図ります。子どもたちがメディア接触について自律的なコントロールができるよう、家庭、学校、地域の連携による啓発・支援活動を展開します。

3 令和7年度事業計画

令和7年4月1日現在

事 業 名	事 業 内 容
青少年育成全般	・「上田市生涯学習基本構想」「上田市教育支援プラン」に沿った青少年育成事業を総合的に推進 ・「心の教育推進プラン」に沿った事業の実施 (青少年善行表彰、あいさつ運動、メディアリテラシー教育)
地域の青少年教育支援	・青少年育成市民会議等地区集会の開催（公民館単位） ・子ども向け体験活動事業の実施（公民館単位） ・「地域におけるこどもまんなか社会学習事業」の推進（自治会・分館単位）
子ども会育成会活動支援 ・体験活動促進	・単位子ども会育成会活動の支援（補助金、交流会、育成会の手引き） ・子ども会育成連絡協議会による体験事業の実施 ・自然体験活動・集団遊びの促進に向けた事業の実施
家庭教育支援	・家庭教育力充実事業の推進（公民館単位） ・子ども情報誌発行等の実施 ・「家庭の日」の普及活動と作文募集 ・インターネット・スマートフォンなどの適正利用の啓発
青少年の社会参加・交流の促進	・二十歳を祝う式の開催（7会場） ・うえだこどもまつり開催の支援
青少年を育む環境づくり	・こども安全安心見守り委員による見守り活動の推進（あいさつ運動、定期街頭活動、環境チェック活動、少年育成センター活動、地域見守り懇談会など） ・小・中・高等学校及び青少年関係団体との連携・情報共有 ・青少年相談活動の充実

人権同和教育

1 基本方針

- (1) 全ての人がお互いの人権を尊重し合い、心豊かに安心して暮らせる希望に満ちた上田市を築き上げるために、「上田市人権尊重のまちづくり条例」及び「上田市人権施策基本方針」に基づき、人権同和教育と人権啓発を推進します。
- (2) 人権尊重の意義及び様々な人権問題についての理解と認識を深めるとともに、自他ともに人権を尊重することの重要性を正しく認識し、それが、日常生活の中で具体的な態度や行動に現われるよう、地域の実情を踏まえつつ「学校人権同和教育」及び「社会人権同和教育」に取り組みます。

2 令和7年度重点施策

(1) 学校人権同和教育の推進

- ア 学校人権同和教育の重要な柱を同和教育に据え、「あけぼの」を中心教材として扱います。小学校低学年・中学年は命の大切さや他人の痛みが理解できる心の育成を目指し、小学校高学年・中学校は被差別部落の人々が厳しい差別の中にあっても仕事に誇りを持ってたくましく生き、人々の生活を支えてきたことへの理解を深めるとともに、未だ残る部落差別の現実を学び、差別の不当性を見抜く力と差別に立ち向かう力の育成を目指します。
- イ 人権尊重の精神に立った学校づくり、教育課程の編成、生徒指導を推進します。
- ウ 発達段階に応じた学習活動を継続的に実践していくため、校種間における計画の調整や相互協力・相互研修を深めます。また、社会教育との連携を図りながら学校等における人権同和教育を推進します。
- エ 人権同和教育に視点を当てた授業研究、研修などにより、教職員の人権意識と指導力の向上に努めます。

(2) 社会人権同和教育の推進

- ア 公民館等の社会教育施設を中心に、幼児期・少年期・青年期・成人期・高齢期の生涯各期に応じ、各人の自発的意思に基づき人権に関する学習が行えるよう体験的参加型学習などの手法を用い、人権に関する多様な学習の機会を提供します。
- イ 解放子ども会は、学校・公民館・地域の方々などの協力を得て、活動の充実に努めます。
- ウ 企業人権教育組織に働きかけ、人権意識の向上を図り、偏見や差別のない職場づくりを支援します。

(3) 人権啓発の推進

- ア 人権啓発により、生命の尊さを見つめ直すとともに、自己も他者もかけがえのない存在であること、また、誰もが自らの権利や他者の人権を尊重することの必要性等を考える機会とし、人権尊重の精神が生活の中に根づくよう啓発活動を行います。
- イ L G B Tなどの性的マイノリティの人権、インターネットを悪用した人権侵害など、人権問題はますます多様化しています。市民で組織する人権啓発団体や社会教育関係団体等と連携協力し、様々な啓発活動を推進します。

3 令和7年度事業計画

令和7年4月1日現在

事業名	事業内容
人権同和教育推進事業	〔学校人権同和教育の推進〕 ・小中学校人権同和教育研究事業、教職員人権同和教育研修会の実施 ・幼稚園・保育園・高校・大学と連携した人権同和教育研修事業の実施 ・学校等人権同和教育主任会の開催 〔社会人権同和教育の推進〕 ・自治会・公民館分館が行う主体的な人権意識の高揚を図る学習活動を支援・促進するため、「地域における人権学習事業」を推進 ・偏見や差別のない職場づくり等、企業における人権同和教育活動への支援 ・人権・解放学習を基本とし、基礎学力の向上と生涯にわたり支え合う仲間づくりを目指した解放子ども会活動の実施 〔人権啓発の推進〕 ・上田市人権啓発推進委員会を核とした、市民の自主的な啓発活動の支援 ・人権を考える市民のつどい、人権フェスティバル等の開催 ・街頭啓発の実施

文 化 財

1 基本方針

- (1) 「上田市文化財保存活用地域計画」を推進し、文化財を生かしたまちづくりに取り組みます。
- (2) 史跡や建造物等の保存とともに積極的な公開や活用を推進します。また、子どもたちや市民に向けて上田の歴史や先人・偉人の業績を紹介することにより、郷土に対する理解を深め、誇りや愛着を醸成するよう努めます。

2 令和7年度重点施策

- (1) 文化財の保存と活用
文化財の指定や登録の推進に向け、調査等を実施します。
また、文化財の現状把握や保存事業の支援に努めます。
「文化財 de 文化祭」の開催などにより、文化財の積極的な活用に取り組みます。
- (2) 史跡上田城跡整備事業の推進
上田城跡の復元整備に向けた計画策定や調査を進めます。
- (3) 郷土の歴史、文化、先人・偉人の業績等を知る機会の創出
「信州上田ふるさと先人館」の運営、観覧機会の創出に努めます。



市指定文化財
「木造薬師如来立像」(神畑)

3 令和7年度事業計画

令和7年4月1日現在

事業名	事業内容
史跡上田城跡の整備	・ 史跡上田城跡整備専門家会議の開催 ・ 史跡上田城跡整備基本計画の改訂 ・ 旧市民会館の解体及び武者溜り整備、櫓の復元に向けた調査検討
埋蔵文化財の保護	・ 開発事業に伴う立会調査、試掘調査の実施
文化財の保存・継承	・ 文化財の市指定、国登録の推進 ・ 指定文化財保護事業に対する補助金の交付 ・ 文化財パトロールの実施 ・ 無形民俗文化財等後継者育成事業に対する補助金の交付
文化財の活用	・ 文化財 de 文化祭の開催 (2回) ・ 文化財建造物修理等見学会の実施 ・ 発掘したクジラ化石のクリーニング作業と情報発信・活用事業の実施
ふるさと上田先人顕彰事業の推進	・ 信州上田ふるさと先人館の運営、「出張どこでも先人館」の実施

4 指定等文化財件数

令和7年4月1日現在

種類	有形文化財								無形文化財	民俗文化財		記念物			計
	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	古文書	資料	資料	芸能	有形	無形	史跡	名勝	記念物	
国 宝	1														1
国指定	6		4	2		1	1			1		3		3	21
国重美		1			2										3
国登録	17														17
国選択											3				3
県指定	10	2	4	3				2				4		3	28
県選択											1				1
市指定	38	9	26	20	3	19	4	7	4	14	14	45	7	30	240
計	72	12	34	25	5	20	5	9	4	15	18	52	7	36	314

文化財一覽

国指定文化財

種 別	No.	名 称	所 有 者	指定年月日	員数	時 代	内 容
国宝	建造物	1 安楽寺八角三重塔	安楽寺	S27.3.29	1	鎌倉時代末期	八角三重塔婆、初重裳階付、こけら葺、高さ18.56m、(附)仏壇・棟札
重要文化財	建造物	2 国分寺三重塔	国分寺	M40.8.28	1	室町時代中期	三間三重塔婆、銅板葺、高さ20.10m、(附)棟札
		3 前山寺三重塔	前山寺	T11.4.13	1	室町時代後期	三間三重塔婆、こけら葺、高さ18.07m
		4 法住寺虚空藏堂	法住寺	T11.4.13	1	室町時代	間口三間、奥行四間、入母屋造、こけら葺、折衷様式、(附)厨子・棟札
		5 中禅寺薬師堂	中禅寺	S11.9.18	1	鎌倉時代前期	桁行三間、梁行三間、宝形造、茅葺、(附)棟札
		6 常楽寺多宝塔	常楽寺	S36.3.23	1	鎌倉時代(13世紀)	安山岩、総高274cm
		7 旧常田館製糸場施設	笠原工業(株)	H24.12.28	7	明治36年ほか	三階繭倉庫、四階繭倉庫、五階繭倉庫、五階鉄筋繭倉庫、撰繭場、事務所兼住宅、文庫蔵
	彫刻	8 木造惟仙和尚坐像	安楽寺	T12.3.28	1	鎌倉時代末期(嘉暦四年 1329)	桧材、寄木造、彩色、玉眼嵌入、像高74.4cm
		9 木造恵仁和尚坐像	安楽寺	T12.3.28	1	鎌倉時代末期(嘉暦四年 1329)	桧材、寄木造、彩色、玉眼嵌入、像高75.1cm
		10 木造薬師如来坐像	中禅寺	T12.3.28	1	平安時代後期(13世紀前半)	桂材、寄木造、像高97.8cm、(附)木造神将立像
		11 銅造菩薩立像	長福寺	S15.10.14	1	白鳳時代(7世紀後半)	銅造、像高36.7cm
	工芸品	12 刀(無銘長谷部)	個人	S31.6.28	1	南北朝時代	刀長70.0cm、反り2.4cm
		13 小文地桐紋付韋胴服	上田市	S51.6.5	1	室町時代後期(16世紀)	表:七曜星重小文薫草、裏:濃茶染韋、白鹿韋五三桐紋7ヶ所、身丈89.0cm、肩幅70.5cm
	古文書	14 生島足島神社文書	生島足島神社	S62.6.6	94	室町時代後期から江戸時代初期	起請文83通(永禄9・10年) 寄進状ほか11通
	歴史資料	15 反射望遠鏡	上田市	H24.9.6	1	江戸時代後期(天保5年 1834)	グレゴリー式反射望遠鏡 国友一貫斎作 (附)覚書
重要有形民俗文化財		16 染屋焼コレクション	上田市	S39.5.29	66	江戸時代末期から昭和初期	甕・壺類46点、鉢類12点、その他8点
記念物	史跡	17 信濃国分寺跡	上田市ほか	S5.11.19	1	奈良時代(8世紀)	4,178.00㎡、追加指定(S43.3.19)125,161.70㎡
		18 上田城跡	上田市ほか	S9.12.28	1	安土桃山時代(天正11年 1583)	111,586㎡
	跡	19 鳥羽山洞窟	深山・岡森・一本木諏訪神社	S53.1.27	1	縄文・古墳時代	古墳時代の葬所跡(曝葬)幅25m、奥行15m
		20 西内のシダレクリ自生地	個人	T9.7.17	1		自生地、上田市平井字上の原一帯
	天然記念物	21 東内のシダレエノキ	上田市・下和子自治会	T9.7.17	1		接木子木(7本)、実生子木(5本)
		22 四阿山の的岩	上田市東御市真田共有財産組合	S15.2.10	1		幅2～3m、高さ15m、長さ200m 垂直に柱状節理が発達した安山岩の大岩脈

国認定重要美術品

種別	No.	名 称	所 有 者	指定年月日	員数	時 代	内 容
絵画	1	板絵著色三浦屋の図	常楽寺	S16.7.23	1	江戸時代中期(享保15年 1730)	高さ116cm×横170cm
書跡	2	大般若経六百帖箱	常楽寺	S8.7.25	600	南北朝から室町時代	版本444帖及び写本156帖
	3	紙本墨書徳川家康日課念仏	常楽寺	S9.5.18	1	江戸時代初期(慶長17年 1612)	縦26cm×横140cm

国登録有形文化財

種別	No.	名 称	所 有 者	登録年月日	員数	時 代	内 容
建造物	1	上田蚕種協業組合事務棟	上田蚕種(株)	H9.5.7	1	大正6年(1917)頃	木造2階建、瓦葺、建築面積764㎡
	2	信州大学繊維学部講堂(旧上田蚕糸専門学校講堂)	信州大学	H10.9.2	1	昭和4年(1929)	木造2階建、鉄板葺、建築面積357㎡
	3	旧常田幼稚園園舎	カルディア会上田いずみ園	H15.7.1	1	大正8年(1919)	木造2階建、瓦葺、建築面積194㎡
	4	花屋ホテル本館・事務室棟ほか	(株)花屋ホテル	H18.10.18	19	大正7年(1918)他	木造、瓦葺ほか
	5	旧草間歯科医院	個人	H19.7.31	1	大正12年(1923)	木造2階建、瓦葺、建築面積53㎡
	6	飯島商店店舗棟・事務所棟・作業所棟	(株)飯島商店	H19.10.2	3	明治27年頃(1894)他	店舗棟 木造3階建、鉄板葺、146㎡ 事務所棟 木造3階建、瓦葺、231㎡ 作業所棟 木造3階建、瓦葺、330㎡
	7	信州大学繊維学部資料館(旧上田蚕糸専門学校貯繭庫)	信州大学	H25.6.21	1	明治43年(1910)	煉瓦造2階建、瓦葺、建築面積67㎡
	8	信州大学繊維学部守衛所(旧上田蚕糸専門学校門衛詰所)	信州大学	H25.6.21	1	大正元年(1912)/昭和4・39年移築他	木造平屋建、鉄板葺、建築面積24㎡
	9	筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所大明神寮	筑波大学	H30.3.27	1	昭和40年(1965)	木造平屋建、金属板葺、建築面積147㎡
	10	旧松高産婦人科医院大正館・表門及び塀	個人	H30.11.2	2	大正時代前期	大正館:木造2階建、金属板葺、建築面積33㎡、表門及び塀:及びコンクリート造、間口2.2m、総延長15m
	11	相澤商店店舗	個人	H30.11.2	1	昭和10年(1935)	木造2階建、銅板葺、建築面積157㎡
	12	上田聖ミカエル及諸天使教会堂	日本聖公会中部教区	R3.2.4	1	昭和7年(1932)	木造平屋建一部地階付、瓦葺、建築面積171㎡
	13	小泉家住宅店舗兼主屋	個人	R3.2.4	1	明治前期/平成28年改修	木造2階建、瓦葺、建築面積142㎡
	14	佐藤家住宅(三ツ引)主屋及び奥上段・蚕室・消毒室・文庫蔵ほか	個人	R3.6.24	9	江戸後期～明治後期	木造、瓦葺ほか
	15	前山寺本堂及び庫裏・玄関・山門	前山寺	R6.3.6	4	江戸中期～後期/平成13年改修ほか	本堂:木造平屋建、茅葺 庫裏・玄関:木造平屋建、瓦葺 山門:木造平屋建、茅葺 ほか
	16	りんどう橋	上田市	R6.3.6	1	明治中期/昭和3年・平成19年移築	鋼製単桁橋、橋長33m、幅員4.4m
	17	旧佐藤家住宅(藤本)一号蚕室ほか	藤本工業(株)	R6.8.15	6	明治前期/明治中期	土蔵造、瓦葺ほか

国選択無形民俗文化財

種別	No.	名 称	所 有 者	選択年月日	員数	時 代	内 容
無形民俗文化財	1	戸沢のねじ行事	戸沢のねじと馬引き保存会	H8.11.28	1		「ねじ」は、縁起物などをかたどった食物
	2	別所温泉の岳の幟行事	岳の幟保存会	H9.12.4	1	室町時代(伝:永正元年 1504)	雨乞い習俗として地域的特色のある行事
	3	上田市八日堂の蘇民将来符頒布習俗	信濃国分寺・蘇民講	H12.12.25	1	室町時代以降	1月7・8日に六角柱型の護符(蘇民将来符)を頒布

県指定文化財

種 別	No.	名 称	所 有 者	指定年月日	員数	時 代	内 容
県宝	建 造 物	1 上田城(南櫓、北櫓、西櫓)	上田市	S34.11.9	3	江戸時代初期(寛永3～5年)	桁行5間、梁間4間、木造2階建、入母屋造、本瓦葺 寛永3～5年(1626～1928)に仙石忠政が建築
		2 石造五輪塔(金王五輪塔)	舞田自治会	S49.11.14	1	鎌倉時代初期	総高211cm
		3 西光寺阿弥陀堂	西光寺	S56.12.7	1	室町時代後期(16世紀前半)	桁行三間(一間吹放し、梁間三間、木造平屋建、入母屋造、柿葺
		4 生島足島神社歌舞伎舞台	生島足島神社	S61.8.25	1	明治元年(1868)	桁行9間、張間6.5間、木造平屋建、切妻造、棧瓦葺 回転台直径4.5m
		5 文殊堂	天竜寺	S63.8.18	1	江戸時代	間口三間、奥行四間、入母屋造、銅板葺
		6 実相院宝篋印塔	実相院	H3.8.15	1	南北朝時代(貞治6年 1367)	総高213.5cm
		7 国分寺本堂(薬師堂)	国分寺	H9.2.20	1	江戸時代末期(万延元年 1860)	桁行八間、梁間五間、単層入母屋造、屋根棧瓦葺
		8 生島足島神社本殿内殿	生島足島神社	H10.10.26	1	室町時代後期(16世紀前期から中期)	桁行柱間三間、梁間柱間二間、屋根切妻厚板張
		9 生島足島神社摂社諏訪社本殿及び門	生島足島神社	H14.3.28	2	江戸時代初期(慶長15年 1610)	本殿:一間社流造、銅板葺(元こけら葺)
		10 旧倉沢家住宅主屋及び客座敷	上田市	H17.3.28	2	江戸時代前期(17世紀中頃)ほか	木造平屋建、茅葺、寄棟造(附)表門・文庫蔵・土蔵・倉庫・井戸及び上屋・屋敷神祠・普請文書
	絵 画	11 紙本墨書著色正保の信濃国絵図	上田市	S49.11.14	1	江戸時代前期(正保4年 1647)	縦854cm×横464cm
		12 絹本着色綱敷天神像	常楽寺	H17.3.28	1	室町時代(応永12年 1405)	軸装、本紙(縦69.0cm、横36.2cm)、軸(縦169.5cm、横50.8cm)、菅原道真(綱敷天神)画像
	彫 刻	13 木造阿弥陀如来坐像	霊泉寺	S55.3.13	1	南北朝時代	寄木造、像高96cm、(附)造内納入品一括
		14 中禅寺木造金剛力士立像	中禅寺	H13.3.29	2	平安時代末期	桂材(一部桧材)、寄木造、阿吽一對、像高:阿形219cm、吽形222cm
		15 銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像	願行寺	H29.3.16	3	鎌倉時代後期(13世紀末)	銅造 善光寺式一光三尊仏 像高47.5cm(中尊)33.2cm(左脇侍) 32.2cm(右脇侍)
		16 木造十一面観音菩薩立像	実相院	H30.2.13	1	平安時代後期(12世紀第2～3四半期)	桂材、寄木造、彫眼、像高107.8cm
	工 芸 品	17 太刀(山浦壽昌)	上田市	S40.1.14	1	江戸時代末期(弘化4年 1847)	刀長97.5cm、反り2.1cm、山浦壽昌(真雄)作
		18 刀(源清磨)	個人	S41.3.17	1	江戸時代末期(嘉永2年 1849)	刀長72.7cm、反り1.8cm、源清磨作
		19 刀(源清磨)	個人	S41.3.17	1	江戸時代末期(嘉永2年 1849)	刀長71.2cm、反り1.9cm、源清磨作
	資 料 古	20 唐沢B遺跡出土品	上田市	H12.9.21	32	縄文時代草創期	石斧、尖頭器等の石器類25点、剥片6点、礫1点
		21 鳥羽山洞窟遺跡出土品	上田市	H19.1.11	247	縄文・古墳時代	須恵器、石釧、銅釧、鉄剣、鹿角装刀子、鉄製馬具等
記念物	史 跡	22 真田氏館跡	上田市ほか	S42.10.23	1	室町時代後期	東辺80m 西辺130m 北辺150m 南辺160m
		23 戸石城跡	私所有42名	S44.5.15	1	室町時代後期	28,818㎡、米山城を含む
		24 塩田城跡	私所有46名	S45.4.13	1	鎌倉時代後期	146,038㎡
		25 菅平唐沢岩陰遺跡	上田市東御市真田共有財産組合	S48.3.12	1	縄文時代から古墳時代	標高1,240m 幅15m 奥行2m 高さ3mの岩陰遺跡
	天然記念物	26 菅平のツクシキノコ自生地	菅平牧場畜産共同組合	S35.2.11	1		スイカズラ科ツクシキノコ属 多年草 高さ70～90cm
		27 小泉、下塩尻及び南条の岩鼻	法人3及び個人8名	S49.1.17	2		104,469㎡(うち上田市83,960㎡) モイワナズナ・シンパク・シモフリナゲシコが自生、チョウゲンボウが生息
		28 小泉のシナノイルカ	高仙寺	S49.11.14	1	約1,400万年前	化石、長さ1.2m

県選択無形民俗文化財

種別	No.	名 称	所 有 者	選択年月日	員数	時 代	内 容
無形民俗文化財	1	別所岳の幟の習俗	岳の幟保存会	S44.3.30	1	室町時代(伝:永正元年 1504)	雨乞い習俗として地域的特色のある行事

市指定文化財

種別	No.	名 称	所 有 者	指定年月日	員数	No.	名 称	所 有 者	指定年月日	員数
建 造 物	1	荒神宮本殿	荒神宮	S43.4.25	1	20	荒神宮石造五輪塔	荒神宮	S59.4.9	1
	2	石造五輪塔（二基）	下塩尻自治会	S43.4.25	2	21	常楽寺石造多層塔	常楽寺	S59.4.9	1
	3	願行寺四脚門	願行寺	S43.4.25	1	22	安曾甚太夫五輪塔	個人	S59.4.9	2
	4	上田藩主居館表門及び土塀・濠・土塁	長野県	S44.5.9	1	23	上田原石造五輪塔	個人	S61.6.5	1
	5	奈良尾の石造多重塔（弥勒仏塔）	奈良尾自治会	S44.6.5	1	24	太郎山神社本殿	太郎山並太郎山神社保存会	H11.10.9	1
	6	安楽寺経蔵（附）八角輪蔵	安楽寺	S44.6.5	1	25	妙見寺 鳴龍	妙見寺	H11.12.20	1
	7	霊泉寺五輪塔	霊泉寺	S45.1.1	1	26	五加八幡神社石燈籠	五加自治会	H2.2.20	1
	8	竹の花五輪塔	個人	S45.1.1	1	27	塩野神社拝殿及び本殿	東前山・西前山自治会	H3.9.12	2
	9	信濃国分寺石造多宝塔	国分寺	S46.4.8	1	28	平井諏訪神社奉納殿	西内崇敬会	H4.3.26	1
	10	中原宝篋印塔	中原自治会	S47.4.1	1	29	旧上田市立図書館	上田市	H5.2.3	1
	11	安良居神社本殿	上丸子4自治会	S47.7.1	1	30	旧宣教師館	上田市	H5.5.6	1
	12	石造五輪塔	中禅寺	S48.4.9	1	31	別所神社本殿	別所神社	H6.11.1	1
	13	東昌寺鐘樓	東昌寺	S49.6.5	1	32	カネタの煙突	個人	H7.8.29	1
	14	弾正塚宝篋印塔	個人	S50.10.1	1	33	常楽寺本堂	常楽寺	H9.4.9	1
	15	日吉社の社殿	大宮諏訪神社氏子	S51.6.19	1	34	全芳院本堂	全芳院	H17.1.28	1
	16	南方薬師堂	南方自治会	S52.11.28	1	35	依水館客殿及び玄関	上田市	H18.1.27	2
	17	小泉大日堂	高仙寺	S56.4.8	1	36	笠原工業常田館製糸場	笠原工業(株)	H22.2.19	8
	18	宗吽寺石幢	宗吽寺	S57.4.13	1	37	飯沼郷蔵	飯沼自治会	H28.4.20	1
	19	塩野神社廻り舞台	保野自治会	S58.4.8	1	38	旧千曲会館	信州大学	H28.6.22	1
絵 画	39	紙本着色花鳥人物屏風	竜光院	S44.6.5	2	40	絹本着色藤娘と鬼の念仏絵	常楽寺	S52.3.18	1
	40	板絵著色劉備檀溪渡河の図	常楽寺	S47.6.8	1	41	板絵著色絵馬富士の巻狩り	富士嶽神社	S55.4.8	1
	41	板絵著色踊り念仏と六歌仙図	常楽寺	S47.6.8	1	42	仏生誕・涅槃図	藤原田自治会	S57.3.14	2
	42	絹本着色聖観音画像	常楽寺	S48.4.9	1	43	紺屋町八幡社絵馬	上田市	S60.9.6	2
	43	絹本着色愛染明王画像	常楽寺	S48.4.9	1					
彫 刻	48	長泉寺板碑	長泉寺	S45.1.1	1	61	木製鬼板	手塚八幡社	S56.3.6	2
	49	聖観音立像	信廣寺	S46.2.15	1	62	藤原田木造千手観音坐像	藤原田自治会	S57.3.14	1
	50	弥勒菩薩坐像	鳥屋自治会	S46.2.15	1	63	木造狛犬	塩野神社	S57.4.13	2
	51	木造馬頭観音坐像	実相院	S47.4.1	1	64	双体道祖神	鳥屋自治会	H6.3.18	1
	52	木造僧形坐像	横沢自治会	S47.4.1	1	65	掌善掌悪の碑	妙見寺	H6.3.18	2
	53	尾野山木造千手観音立像	尾野山自治会	S47.7.1	1	66	石幢	正念寺	H6.3.18	1
	54	木造阿弥陀如来立像	芳泉寺	S49.6.5	1	67	木造菩薩立像	願行寺	H6.11.1	1
	55	南方荒野板碑	個人	S53.12.27	2	68	木造阿弥陀如来坐像	耕雲寺	H12.4.26	1
	56	石造大姥坐像	富士嶽神社	S55.4.8	1	69	西光寺金剛力士像	西光寺	H13.9.13	2
	57	木造獅子頭	塩野神社	S55.4.8	2	70	木造大日如来坐像	前山寺	R6.11.28	1
	58	木造狛犬	生島足島神社	S55.4.8	2	71	木造薬師如来立像	神畑自治会	R6.11.28	1
	59	木造薬師如来立像	馬背神社	S56.2.6	1	72	木造阿弥陀如来坐像	芳泉寺	R6.11.28	1
	60	木造狛犬	馬背神社	S56.3.6	2	73	木造阿弥陀如来坐像	芳泉寺	R6.11.28	1
工 芸 品	74	銅製鰐口	観音寺	S43.4.25	1	84	銅製孔雀文磬	高仙寺	S49.6.5	1
	75	銅製雲板	陽泰寺	S43.4.25	1	85	東昌寺僧具	東昌寺	S53.4.8	7
	76	灰釉四耳壺	深区神社	S44.5.9	1	86	鋳銅製御正鉢	日輪寺	S54.4.9	1
	77	褐色緞唐冠崩し当世具足	上田市	S44.5.9	1	87	鉄製湯釜	生島足島神社	S55.4.8	6
	78	紺糸緞白熊毛当世具足	上田市	S44.5.9	1	88	刀 糸巻太刀拵付	菅平自治会	S56.6.26	2
	79	杵掛家蹴鞠資料	個人	S45.5.11	49	89	銅製陣鐘	個人	S58.4.8	1
	80	銅製鰐口	中禅寺	S45.6.5	1	90	銅製鉦鼓	荒井自治会	H8.6.25	1
	81	紺糸緞金剛力士頭当世具足	上田市	S46.4.8	1	91	銅製雲板	個人	H8.6.25	1
	82	木造百万塔	常楽寺	S48.4.9	1	92	銅製像御正体	三島神社氏子	H20.6.24	1
	83	銅製御正鉢（懸仏）	高仙寺	S49.6.5	1	93	刀	個人	R6.11.28	1
	94	佐久間象山書五反幟	五加八幡社	S44.6.5	2	96	加舎白雄自筆酒中仙屏風	個人	H2.2.20	1
	95	加舎白雄自筆面賛屏風	個人	H2.2.20	1					
古 文 書	97	海野町柳沢家日記（本陣日記）	個人	S44.5.9	146	107	紙本墨書武田信玄朱印状（小泉家）	個人	S55.4.8	1
	98	原町滝沢家日記（問屋日記）	個人	S44.5.9	157	108	野倉惣帳	野倉自治会	S56.3.6	1
	99	元禄信濃国絵図	上田市	S44.5.9	1	109	信濃国分寺勸進帳	国分寺	S57.4.13	11
	100	黄檗版蔵経	安楽寺	S44.6.5	7334	110	天保信濃国絵図	上田市	S58.4.8	15
	101	紙本墨書武田信玄の朱印状	塩野神社	S45.6.5	1	111	真田氏文書	山家神社・信濃寺・実相院・上田市	S59.8.31	17
	102	紙本墨書武田勝頼の朱印状	前山寺	S45.6.5	1	112	上田藩村明細帳	個人	S61.6.5	77
	103	紙本墨書開善寺宛武田信玄判物	海禅寺	S54.4.9	1	113	牛頭天王祭文	国分寺	H7.12.7	1
	104	紙本墨書開善寺宛武田信玄寄進状	海禅寺	S54.4.9	1	114	真田氏給人知行地檢地帳	個人	H11.3.26	1
	105	紙本墨書武田信玄朱印状	向源寺	S54.4.9	1	115	安楽寺蘭溪道隆尺牘	安楽寺	H17.9.28	1
	106	紙本墨書武田信玄朱印状（西光寺宛）	西光寺	S55.4.8	1					
	116	小山真夫調査野帳	上田市	S50.11.13	26	118	岩谷堂法蔵寺奉加帳	宝蔵寺	H9.12.24	1
資 歴 料 史	117	赤松小三郎佩刀	上田市	S58.4.8	1	119	蔵前の大櫓	個人	H24.10.19	1
考 古 資 料	120	石器	個人	S50.10.1	614	124	銅印	上田市	H25.3.14	1
	121	巴形銅器	個人	S50.11.13	1	125	鉄鑿	上田市	H25.3.14	1
	122	雁石遺跡魚形土製品	上田市	H10.6.30	1	126	鉄矛	上田市	H27.7.23	1
	123	銅三尊仏	上田市	H25.3.14	1					

市指定文化財

種別	No.	名 称	所 有 者	指定年月日	員数	No.	名 称	所 有 者	指定年月日	員数
芸 能	127	尾野山三頭獅子	尾野山無形文化財保存会	S51.7.30	1	129	腰越諏訪神社御柱祭御練り	腰越御練り保存会	H4.3.26	1
	128	尾野山式三番叟	尾野山無形文化財保存会	S53.12.27	1	130	依田神社大神楽獅子舞	御嶽堂依田神社大神楽保存会	H5.8.19	1
有形民俗文化財	131	蘇民将来符	国分寺及び檀信徒	S43.4.25	1	138	円座(いつつあ)	個人	S55.4.8	1
	132	八日堂縁日図	国分寺	S43.4.25	1	139	男石神社絵馬	赤坂自治会	S58.4.8	71
	133	板碑	個人	S44.5.9	10	140	地芝居引幕	野倉自治会	S61.6.5	6
	134	藤本蚕種株式会社保存繭標本	上田市	S44.5.9	2500	141	お舟の天王山車	海野町自治会	S61.8.5	1
	135	浜村家能面狂言面	上田市	S46.4.8	70	142	下丸子釈迦涅槃図	下丸子自治会	H6.8.29	1
	136	能衣装上田縞小格子厚板	上田市	S46.4.8	1	143	祇園祭礼屏風	上田市	H15.10.9	2
	137	五位塚の板碑	上室賀自治会	S47.4.1	3	144	三島神社の円座(いつつあ)	三島平自治会	H18.1.27	3
無形民俗文化財	145	常田獅子	常田獅子保存会	S43.4.24	1	152	前山三頭獅子	東前山獅子保存会	H1.3.8	1
	146	房山獅子	房山獅子保存会	S43.4.24	1	153	上室賀三頭獅子	室賀水上神社三頭獅子さくら保存会	H5.2.3	1
	147	岳の幟	岳の幟保存会	S44.6.5	1	154	下室賀三頭獅子	下室賀自治会	H5.5.6	1
	148	保野の祇園祭	保野祇園祭保存会	S44.6.5	1	155	太郎山神社太々神楽	太郎山神社太々神楽保存会	H7.12.7	1
	149	子檀嶺神社御柱祭行事	子檀嶺神社氏子	S46.2.15	1	156	下之郷三頭獅子	下之郷三頭獅子舞保存会	H11.2.9	1
	150	三ツ頭獅子	上原三ツ頭獅子保存会	S54.5.1	1	157	横道の十九夜講	横道3自治会	H12.4.26	1
史 跡	151	氷上王子神社大神楽獅子舞	氷上王子神社神楽保存会	S56.3.6	1	158	一心神社祭典行事	一心神社氏子	H1.12.20	1
	159	赤坂將軍塚古墳	赤坂自治会	S43.4.24	1	182	新屋古墳	個人	S48.4.9	1
	160	二子塚古墳	二子神社	S43.4.25	1	183	皇子塚古墳	八幡社氏子会	S48.4.9	1
	161	下青木吉田原古墳	下青木自治会	S44.5.9	1	184	日向畑遺跡	上田市	S50.4.1	1
	162	秋和大蔵京古墳	豊秋霧原野神社	S44.5.9	1	185	藤沢古墳1号・2号	個人	S50.10.1	2
	163	活文禪師遺跡1号 毘沙門堂跡	上田市	S44.5.9	1	186	塚穴原第1号古墳	上田市	S53.4.8	1
	164	活文禪師遺跡2号 龍洞院敷地及び遺品	龍洞院	S44.5.9	1	187	赤松小三郎遺髪墓の墓	月窓寺	S53.4.8	1
	165	活文禪師遺跡3号 岩門大日堂跡	岩門自治会	S44.5.9	1	188	成沢寛経翁奥城(墓)	日輪寺	S53.4.8	1
	166	辰ノ口高塚	個人	S45.1.1	1	189	竹内善吾武信の墓	呈蓮寺	S53.4.8	1
	167	小松姫(真田信之室)の墓	芳泉寺	S45.5.11	1	190	神宮寺古墳	個人	S55.4.8	1
	168	岩谷堂岩窟古墳	宝蔵寺	S46.3.1	1	191	東馬焼窯跡	個人	S56.3.6	1
	169	王子塚古墳	王子神社	S46.4.8	1	192	仙石家霊廟	芳泉寺	S56.4.8	2
	170	寒松院(真田昌幸室)の墓	大輪寺	S46.4.8	1	193	仙石家本陽寺墓所	本陽寺	S56.4.8	1
	171	岡城跡	私所有15名	S47.4.1	1	194	矢花の七つ塚	個人	S57.4.13	4
	172	広山寺古墳	広山寺	S47.4.1	1	195	畑山発電所跡	個人	S57.4.13	1
	173	真田氏本城跡	十林寺自治会ほか	S47.4.1	1	196	弘長三年光明寺建立碑	長谷寺	S58.3.7	1
	174	松尾城跡	横沢自治会ほか	S47.4.1	1	197	岩井観音堂再建碑	長谷寺	S58.3.7	1
	175	天白城跡	赤井自治会ほか	S47.4.1	1	198	塚穴古墳	赤坂自治会	S58.4.8	1
	176	横尾城跡・内小屋城跡	横尾自治会ほか	S47.4.1	2	199	舟窪古墳群	上田市	S60.9.6	5
	177	根小屋城跡	曲尾自治会ほか	S47.4.1	1	200	タタラ塚古墳	長野県	S63.3.7	1
名 勝	178	洗馬城跡	個人	S47.4.1	1	201	徳邦和尚火定の跡	大円寺	H1.3.8	1
	179	真田幸隆・昌幸の墓	長谷寺	S47.4.1	3	202	中山城跡	小沢根自治会	H1.12.20	1
	180	真田信綱の墓	信綱寺	S47.4.1	2	203	浦野城跡・御射山祭広庭跡	個人	H23.2.8	7
	181	他田塚古墳	上田市	S47.6.8	1					
	204	岩屋観音洞窟	横沢自治会	S54.5.1	1	208	天狗の欄干	国(東信森林管理所)	S54.5.1	1
	205	シシの牢	国(東信森林管理所)	S54.5.1	1	209	鬼ヶ城	国(東信森林管理所)	S54.5.1	1
	206	鬼の門	国(東信森林管理所)	S54.5.1	1	210	鴻の巣	上田市	H10.11.18	1
	207	アラ板の岩壁とネンボウ岩	国(東信森林管理所)	S54.5.1	2					
	211	科野大宮社社叢	科野大宮社	S44.5.9	1	226	石割りのアオナシ	上田市	S54.5.1	1
	212	大星神社社叢	大星神社	S44.5.9	1	227	信広寺のシダレザクラ	信廣寺	S54.10.24	1
天然記念物	213	枕状溶岩露出地	上田建設事務所	S46.3.1	1	228	大布施のヒガンザクラ	個人	S54.10.24	1
	214	大日向の二形カエデ	個人	S47.4.1	1	229	南方荒野ビャクシン	個人	S55.4.26	2
	215	菅平湿原のクロサンショウウオ		S47.4.1	1	230	菅平口の枕状溶岩	個人	S57.1.20	1
	216	穴沢弾正塚の一本松	個人	S47.4.1	1	231	山家神社社叢	山家神社	S57.3.2	1
	217	大宮諏訪神社のサワラの木	大宮諏訪神社氏子	S47.4.27	1	232	番匠のカツラ	個人	S58.7.15	1
	218	武石	信廣寺・上田市	S47.4.27	1	233	桑の木	上田市	S60.9.6	1
	219	ナンジャモンジャの木	上塩尻自治会	S48.4.9	1	234	大笹街道のシナノキ群	菅平牧場畜産協同組合ほか	S63.12.20	5
	220	愛染カツラ	常楽寺	S49.6.5	1	235	緑簾石	上田市	H1.12.20	1
	221	出早雄神社社叢	下原・上原・大畑自治会	S50.10.1	1	236	大六のケヤキ	石神自治会	H4.5.13	1
	222	駒形神社のトチの木	余里自治会	S51.6.19	1	237	岩谷堂エドヒガン	宝蔵寺	H9.12.24	1
	223	天神宮のケヤキ	岩下自治会	S52.3.18	2	238	ちがいの石の産地	前山寺・東前山生産森林組合	H10.5.15	1
	224	高仙寺参道並木	高仙寺	S54.4.9	1	239	ニホンオオカミの頭骨	上田高等学校	H18.2.16	1
	225	前山寺参道並木	上田市	S54.4.9	1	240	マダラヤンマ及びその生息地	上田市	H18.2.16	1

公 民 館

1 基本方針

公民館は、地域社会に根づき、住民生活に密接に結びついた活動を通し、人々の学習意欲を高め、地域づくりの中に住民を主体とした生涯学習を進めるため、次の目標を達成できるよう努めます。

- (1) 地域住民が自由に集える場の実現を目指します。
- (2) 地域の生涯学習の拠点として、様々な学習活動を展開します。
- (3) 地域の暮らしと文化を創造し、明るいまちづくりを目指します。

2 所在地等

公民館名	所在地	開館年月日	延面積	電話・FAX
中央公民館 上田文化会館 (文化センター)	〒386-0014 材木町一丁目2番3号	中央公民館 昭和60年2月1日 上田文化会館 昭和60年6月10日	3,977.9㎡ 内訳 中央公民館 1,836.5㎡ 上田文化会館 2,109.5㎡ 喫茶室31.9㎡	Tel 22-0760 Fax 22-1633
西部公民館	〒386-0027 常磐城五丁目4番34号	昭和54年4月1日 (平成29年8月1日 移転改築)	1,609.92㎡ 内訳 本館 1,523.39㎡ 工芸棟 86.53㎡	Tel 27-7544 Fax 27-7522
城南公民館 (城南解放会館と 併設)	〒386-0034 中之条460番地	昭和49年7月10日 (平成24年3月28日 改築)	1,653.86㎡ 内訳 城南解放会館と併設 1,567㎡ 工芸棟 86.86㎡	Tel 27-7618 Fax 27-7467
上野が丘公民館	〒386-0002 住吉378番地1	昭和47年4月1日 (平成16年4月11日 移転改築)	1,514.55㎡ 内訳 本館 1,408.30㎡ 工芸棟 106.25㎡	Tel 24-0659 Fax 24-2300
塩田公民館 (塩田解放会館と 併設、塩田地域 自治センターとの 複合館)	〒386-1325 中野20番地	昭和46年7月20日 (平成22年3月28日 改築)	1,558.89㎡ 内訳 塩田解放会館と併設 1,512.78㎡ 陶芸棟46.11㎡	Tel 38-6883 Fax 38-7013
川西公民館 (川西地域 自治センター との複合館)	〒386-1106 小泉863番地1	昭和48年8月31日 (平成24年3月21日 改築)	1,224.15㎡ 内訳 公民館部分 1,159.15㎡ 美術工作室65㎡	Tel 22-5004 Fax 22-5014
丸子公民館	〒386-0404 上丸子1592番地2	平成22年4月1日	1,201.72㎡	Tel 42-3147 Fax 42-0303
真田中央公民館	〒386-2201 真田町長7199番地1	昭和61年4月1日	2,216.7㎡	Tel 72-2655 Fax 72-8133
武石公民館(武 石地域総合セン ターとの複合館)	〒386-0592 下武石742番地	昭和48年10月31日 (令和3年3月29日 改築)	2,599.94㎡ (武石地域総合セン ターを含む)	Tel 85-2030 Fax 85-2205
神川地区公民館	〒386-0155 蒼久保1212番地1	昭和56年10月3日 (平成31年4月1日 移転改築)	685㎡	Tel 71-6553
塩尻地区公民館	〒386-0042 上塩尻253番地1	昭和57年4月1日	656.71㎡	Tel 27-7544 (西部公民館)

3 令和7年度事業計画

令和7年4月1日現在

区分	中央公民館	実施時期	西部公民館	実施時期	城南公民館	実施時期
成人・女性教育	アナログ・レコード鑑賞会 料理講座 伝統発酵食講座「手前みそ」 防災講座 平和学習・展示 刀剣講座 ハワイアンフラ講座 神川講座	年間 5～3月 6・10月 7月 8月 9月 9～10月 11・2月	誰でもできる！楽しい運動教室 女性学級(女性リーダー育成) 太郎山・虚空蔵山縦走路登山 太郎山・虚空蔵山縦走路整備 童謡・唱歌を楽しむ教室 にこにこ料理講座 地域福祉講座 西部・塩尻今昔 山の幸染め講座 筒けん・けん玉教室 お花の講座 ナチュラルランドリー ほっこりわくわく筆文字講座	年間 年間 春・秋 春・秋 6～3月 秋 冬 冬 冬 2月 年3回 冬 秋	生活文化教養講座 健康づくり講座 地域学習講座 料理教室 歴史講座 平和学習事業 フラワーアレンジメント講座 自然観察会 ウォーキング講習会 防災講座 登山講座 城下消防まつり	年間 年間 年間 年間 年間 年間 年間 7～10月 8月 8月 8月 10月
青少年家庭教育	親子ふれあい広場 あかちゃん広場 地域におけるこどもまんなか 社会学習事業 学校支援事業(小・中学校) 入園グッズ手作り講座 どれみファミリーコンサート ベビーサイン講座 mama'sにこにこセミナー 夏休み子ども教室 まちなか忍者塾川遊びの巻 食育講座 食物アレルギー対応料理講座	年間 年間 年間 年間 年6回 年2回 4～2月 5～1月 7・8月 6月 9月 冬	こどもまんなか社会学習事業 親子のびのび広場 プレ親子のびのび広場 三中支援ボランティア 西小支援ボランティア 青少年育成市民会議講演会 学社連絡会 親子わくわくクッキング デイキャンプ 魚のつかみ取り 青少年育成講演会 青少年育成研修会 春休み子どもおもしろ講座	年間 年間 年間 年間 年間 5月 7月 年2回 10月 7月 10月 12月 3月	地域におけるこどもまんなか社会学習事業 親子すくすく広場 赤ちゃん広場 城南地域の宝さがし事業 子どもフラワーアレンジメント講座 けん玉教室 魚のつかみ取り 青少年育成市民会議 子ども将棋大会 子どもチャレンジ広場 親子フラワーアレンジメント講座 親子食育講座 学童野球大会 デイキャンプ 学童サッカー大会	4～10月 年間 年間 年間 3月 7月 7月 7・11月 7・3月 8月 8月 8月 9月 10月 12月
高齢者教育	上田市ことぶき大学 上田市ことぶき大学院 高齢者文化事業	年間 年間 10月	高齢者芸術鑑賞会 高齢者学級	1月 5～12月	上田市ことぶき大学 (城南公民館校) グラウンドゴルフ大会 マレットゴルフ大会 スマイルボウリング大会 芸能アトラクション スマホ講座	年間 5月 10月 7月 1月 1月
人権同和教育	地域における人権学習事業 神川地区人権出前講座 人権を考える市民集会 東部地区人権出前講座 南部地区人権出前講座	年間 6月 11月 1月 3月	地域における人権学習事業 人権教育指導者研修会 人権を考える市民のつどい	年間 5・10・12月 9月	地域における人権学習事業 人権同和教育基礎講座 城南地区人権を考える集い 解放子ども会(緑が丘)	4～10月 4月 12月 年間
社会体育	軽スポーツ講習会 神川地区ソフトボール大会	5・9月 6月	ペタンク大会 卓球大会 ビーチボール大会&ファミリービーチボール大会 ふれあいレクリエーション	5月 6月 9月 10月	ニュースポーツ講習 ペタンク大会 ニュースポーツ体験交流会	年間 5月 10月
文化活動	神川地区市民文化祭 上田市短詩型文学祭 文化創造祭 上田合唱祭	11月 12月 2月 3月	西部地域まちづくりフェスタ 西部公民館まつり	11月 3月	城南地区文化祭	11月
育分館	分館活動の推進 分館に対する相談窓口の開設 分館役員研修会	年間 年間 2月	分館活動の推進 分館役員研修会 分館に対する相談窓口の開設	年間 2月 年間	分館活動の推進 分館役員研修会 分館に対する相談窓口の開設	年間 3・10月 年間
その他	公民館だより発行 HP・FBによる広報 団体グループ育成 施設・備品貸出 学校支援活動	年間 年間 年間 年間 年間	公民館だより発行 HP・FBによる広報 団体グループ育成 施設・備品貸出 学校支援活動 図書貸出	年間 年間 年間 年間 年間 年間	公民館だより発行 HP・FBによる広報 団体グループ育成 図書貸出 生活改善推進 学校支援活動 施設・備品貸出	年間 年間 年間 年間 年間 年間

区分	上野が丘公民館	実施時期	塩田公民館	実施時期	川西公民館	実施時期
成人・女性教育	教養講座（古文書講座、えんぴつ散歩等） 地域学習講座 健康づくり講座 生活文化講座 （しめ縄づくり、和紙で包む折り形講座等） 平和学習 コンサート	年間 年間 年間 年間 年間 2月	郷土史講座（古文書解説講座・塩田の歴史・文化を学ぶ集い） 生活文化講座（パソコン教室、料理教室等） 地域防災講座 地域の福祉を考える講座 音楽コンサート 冬の健康づくり教室 平和学習 歩こう会 スマホ講座	年間 年間 夏 7～11月 9月 1～3月 3月 年間 年間	教養講座（市誌・文学等） 冬の健康講座 小泉婦人学級 スマートフォン講座 秋の健康講座 フラワーアレンジメント講座 ハーブ講座 川西ボランティア実践講座 歩こう会	年間 12～2月 4～2月 9月 9～11月 12月 2月 年間 年間
青少年家庭教育	こどもまんなか社会学習事業 青少年育成を考える集い 上野が丘ガッツクラブ 夏休み「わいわい塾」 親子ふれあい広場 学校支援事業（小・中学校） 青少年の未来を考える集い 学習室開放事業	4～12月 年2回 年間 8月 年間 年間 11月 年間	こどもまんなか社会学習事業 こどもまんなか社会学習担当者会議 青少年育成関係団体連絡会議 青少年育成推進大会 親子ふれあい広場 青少年故郷体験学習（塩田ため池探検隊） 夏休み学習室開放 夏休み講座 自然体験講座	4～12月 3月 6月 7月 年間 9～2月 7～8月 7～8月 年間	こどもまんなか社会学習事業 青少年育成関係団体連絡会 子どもの明日を考える集い 音楽交流会「ひびけ川西の空に」 親子ふれあい広場 川西剣道教室 親子自然観察会 川西学童野球大会 川西子ども広場（夏・冬・春） 学校支援事業（小・中学校） ファミリーコンサート 親子deハグして1・2・3 ベビーマッサージ	年間 年3回 10月 10月 年間 年間 7月 4月 8・1・3月 年間 年1回 年6回 年4回
高齢者教育	はつらつカレッジ	年間	シニア向け講座 すぐだせ広場 大人のための社会見学講座 生き生き体力アップ教室	9月～ 11月 10～12月	すこやか大学	6～11月
人権同和教育	地域における人権学習事業 人権同和教育指導者養成講座 人権を考える上野が丘地区市民の集い	4～12月 年2回 11月	地域における人権学習事業 人権学習担当者会 人権教室 人権を考える塩田地区市民の集い	5～11月 3月 5月 12月	地域における人権学習事業 人権同和教育講座（4回） 川西地区人権を考える集い 部落解放同盟との懇談	年間 5～8月 11月 7月
社会体育	お宝発見!!上野が丘里山歩き マレットゴルフ体験交流会 ワンバウンドふらば〜るバレー大会 ニューススポーツ体験交流会 ゴルフ大会	4月 5月 6月 10月 春・秋	塩田ファミリースポーツ大会（ビーチボール大会） 塩田ニューススポーツ体験会 塩田バドミントン大会	6月 10月 3月	川西ソフトスポーツフェスタ ソフトスポーツ体験会	11月 6～10月
文化活動	公民館まつり 利用者団体の集い 利用者団体連絡協議会	10月 3月 年間	塩田公民館文化祭 利用者団体連絡協議会	10月 年間	弦楽四重奏 川西公民館まつり	12月 10月
育成館	分館活動の推進 分館役員研修会 分館に対する相談窓口の開設	年間 年間 年間	分館活動の推進 分館役員研修会 分館に対する相談窓口の開設	年間 3月 年間	分館活動の推進 分館役員研修会 分館に対する相談窓口の開設	年間 2月 年間
その他	学習支援活動 公民館だより発行 HP・FBによる広報 生活改善推進 団体グループ育成 図書貸出 施設・備品貸出 住民自治組織との連携	年間 年間 年間 年間 年間 年間 年間 年間	公民館だより発行 HP・FBによる広報 生活改善推進 団体グループ育成 図書貸出 施設・備品貸出 しおだっ子応援団他協働活動 みんなのしおだ食堂への後援 住民自治組織との連携	年間 年間 年間 年間 年間 年間 年間 年間 年間	公民館だより発行 キッズひろば発行 HP・FBによる広報 生活改善推進 団体グループ育成 図書貸出 施設・備品貸出 川西里山・水辺をつなぐ会 住民自治組織との連携 学校支援活動	年間 7・12・3月 年間 年間 年間 年間 年間 年間 年間

区分	丸 子 公 民 館	実施時期	真田中央公民館	実施時期	武 石 公 民 館	実施時期
成人・女性教育	英会話教室 抱っこd e ライブ 各種カルチャースクール 信州上田 丸子夏期大学 日本語教室	年間 年間 年間 8～9月 年間	歴史講座 地域の文化を学ぶ講座 地域の自然を学ぶ講座 料理教室	年間 年間 年間 年間	歴史講座 健康講座 各種講座 料理教室	年間 年間 年間 年間
青少年家庭教育	親子で遊ぼうグーチョキパ ひびき合い教室(4教室) 丸子地域青少年ネットワーク会議 夏休みひびきあい教室 子どもの明日を考える集い こども未来音楽祭	5～2月 5～2月 5～2月 8月 9月 11月	育児教室 かるがもひろば 国内ホームステイ事業 夏休みわくわく体験学校 異世代交流チャレンジ事業	5～3月 7月 8月 9月	レッツちゃれんじ 夏休み自然ふれあい体験 青少年育成関連事業	年4回 7月 年間
高齢者教育	まるこ春秋学園(4コース)	5～1月	やさしいスマホ教室	随時	楽しい会	9月・1月
人権同和教育	新任教職員等人権教育研修会 ふれあい・人権の集い みんなの人権セミナー 自治会人権学習会 丸子地域解放子ども会活動 部落解放女性学級	6月 12月 年2回 年間 年間 年間	自治会人権教育学習懇談会	7～11月	教職員人権同和教育研修 武石地域人権講演会 ふれあい人権の集い	5月 6月 12月
社会体育	丸子地域スポーツ大会(仮称)	11月	分館対抗球技大会 真田地域一周駅伝大会 分館対抗卓球大会	5月 10月 3月	分館親善マレットゴルフ大会 美ヶ原高原ウォーキング 晩秋の武石スポーツ祭 分館親善モルック大会	6月 8月 11月 3月
文化活動	丸子四季の里総合文化祭 (お茶会・芸能祭)	11月	真田総合文化祭 (作品展・舞台発表祭)	10月	ともしびの里文化祭 ともしびの里芸能祭	11月 2月
育成館	分館活動の推進 分館長会 分館に対する相談窓口の開設	年間 年1回 年間	分館活動の推進 分館長会 分館に対する相談窓口の開設	年間 年2回 年間	分館活動の推進 分館長会 分館に対する相談窓口の開設	年間 年3回 年間
その他	団体グループ育成 施設・備品貸出 学校支援活動 ワールドキャンパス国際交流事業 国際交流フェスティバル2025 姉妹都市ブルームフィールド市郡交流事業	年間 年間 年間 7月 7月 7～8月	公民館だより発行 団体グループ育成 施設・備品貸出 学校支援活動	年間 年間 年間 年間	団体グループ育成 図書貸出 施設・備品貸出	年間 年間 年間

4 公民館対象地区分館

令和7年5月1日現在

公民館名	地区名	分館名
中央公民館 50分館 15, 341世帯	東 部	踏入、泉町、上常田、中常田、下常田、北常田、材木町、常入
	南 部	泉平、南天神町、北天神町、松尾町、鷹匠町、本町、末広町、大手町
	中 央	横町、海野町、原町、袋町、馬場町、田町、丸堀町、木町、北大手町
	北 部	上川原柳町、下川原柳町、愛宕町、上鍛冶町、鍛冶町、上房山、下房山、柳町、新田、山口、上紺屋町、蛇沢
	神 川	大屋、岩下、下青木、みすず台南、みすず台北、上青木、梅が丘、久保林、黒坪、上沢、国分、下堀、上堀
西部公民館 15分館 6, 160世帯	西 部	下紺屋町、鎌原、西脇、新町、諏訪部、生塚、常磐町、緑が丘、新屋、緑が丘北、緑が丘西、城北
	塩 尻	秋和、上塩尻、下塩尻
城南公民館 19分館 13, 532世帯	城 下	小牧、諏訪形、須川、中村、朝日ヶ丘、三好町、御所、中之条、千曲町
	川辺・泉田	上田原、川辺町、倉升、神畑、下之条、築地、東築地、半過、福田、吉田
上野が丘公民館 30分館 9, 415世帯	神 科	畑山、伊勢山、富士見台、住吉が丘、神科新屋、野竹、西野竹、笹井、岩門、染屋、金井、大久保、長島、金剛寺
	豊 殿	森、大日木、長入、宮之上、小井田、中吉田、町吉田、ひかり、桜台、下吉田、林之郷、下郷、岩清水、矢沢、赤坂、漆戸
塩田公民館 29分館 8, 520世帯	東塩田	下組、富士山中組、奈良尾、平井寺、鈴子、石神、柳沢、下之郷、桜
	中塩田	下本郷、東五加、五加、上本郷、中野、上小島、下小島、保野、学海南、舞田、八木沢、八舞、学海北
	西塩田	塩田新町、東前山、西前山、手塚、山田、野倉
	別所温泉	別所温泉
川西公民館 9分館 2, 754世帯	川 西	仁古田、岡、浦野、越戸、藤之木、小泉、上室賀、下室賀、ひばりヶ丘
丸子公民館 40分館 9, 201世帯	丸 子	西内、平井、荻窪、和子、下和子、辰ノ口、腰越、三反田、海戸、沢田、八日町、中丸子、下丸子、上組、中山、三角、南原、北原、飯沼、茂沢、尾野山、上長瀬、練合、町組、小路下、金井、上平南、上平県住、権現、西組、東組、東街道、北街道、宮原、石井、坂井、狐塚、郷仕川原、南方、藤原田
真田中央公民館 36分館 4, 114世帯	長	菅平、大日向、角間、横沢、真田、十林寺、石舟、戸沢、つくし、横尾、四日市
	傍 陽	入軽井沢、岡保、中組、大庭、曲尾、萩、田中、下横道、中横道、上横道、穴沢、三島平
	本 原	上原、下郷沢、小玉上郷沢、赤井、下塚、竹室、中原、町原、表木、荒井、大畑、下原、出早
武石公民館 18分館 1, 360世帯	武 石	鳥屋、沖、薮合、中島、七ヶ、片羽、堀之内、市之瀬、下本入、権現、下小寺尾、上小寺尾、唐沢小原、築地原、大布施巣栗、西武、小沢根、余里
合計 246分館	70, 397世帯	

上田図書館

1 所在地等

- (1) 所在地 〒386-0014 材木町一丁目2番47号
- (2) 電話 22-0880 FAX 28-1118
ホームページ
<https://www.city.ueda.nagano.jp/site/ueda-tosho/>
- (3) 開館年月日 昭和45年11月3日
- (4) 建物面積 2,020.95㎡
- (5) 開館時間 火～金曜日：午前9時～午後6時30分
土・日曜日：午前9時～午後5時
- (6) 休館日 月曜日、祝日、館内整理日、年末・年始、特別整理期間

2 創造館分室

- (1) 所在地 〒386-1102 上田原1640番地（上田創造館3階）
- (2) 電話 27-1758
- (3) 開館時間 火～金曜日：午前9時～午後6時
土・日曜日：午前9時～午後5時
- (4) 休館日 月曜日、祝日、館内整理日、年末・年始、特別整理期間

3 令和7年度事業計画（令和7年4月1日現在）

事業名	事業内容
資料の収集・整理・保存等	1 地域資料、行政資料、レファレンス資料を収集。乳児から高齢者まで幅広く利用者のリクエスト等に配慮 2 地域資料の保存整備 3 資料収集方針に基づく資料の収集 4 リサイクルコーナーの設置
資料の提供と情報サービス	1 貸出、予約、閲覧等、資料提供の充実による利用の増進 2 レファレンスサービスの充実 3 インターネット、デジタル資料等による情報サービスの提供 4 電子図書館（デジとしょ信州）の利用促進 5 季節や時節に合わせた特設展示の実施 6 移動図書館車「やまびこ号」の運行(65ステーション)
市民協働による図書館づくり	<古文書学習会山なみ、音訳ライブラリーつくしの会、おはなしざしきわらしの会、修理ボランティアひまわり等との連携> 1 上田社会教育大学連携講座の実施 2 録音図書の作成と利用の拡大 3 音訳ボランティア養成講座の開催 4 おはなし会の開催、絵本講座の開催 5 本の修理 6 貴重資料紹介展の開催
児童サービス	1 「第二次上田市子ども読書活動推進計画」の推進 2 ブックスタート及びセカンドブック事業における読書活動の啓発と推進
その他	1 上田図書館創造館分室の利用拡大 2 上田地域図書館情報ネットワーク(エコール)システム更新及び利用推進 3 中高生向けサービスの充実 4 中学生・高校生職場体験、インターンシップ、異業種体験研修の受入 5 利用者サービス向上のため、各種研修会への参加及び情報の共有 6 資料のデジタルアーカイブ化と利活用の推進 7 第三次上田市図書館基本構想の策定 8 上田図書館整備計画の策定の推進 9 第三次上田市子ども読書活動推進計画策定準備

4 令和6年度利用統計

(1) 蔵書冊数

年度	上田図書館本館	移動図書館	創造館分室	視覚障がい者用録音図書	合 計
4	312,535冊	18,473冊	31,500冊	1,641タイトル	364,149冊
5	317,304冊	18,817冊	31,602冊	1,662タイトル	369,385冊
6	322,096冊	17,480冊	31,693冊	1,678タイトル	372,947冊

(2) 年間貸出冊（巻）数

年度	上田図書館本館 (個人)	移動図書館 (個人)	創造館分室 (個人)	団体貸出	視覚障がい者 用録音図書	合 計
4	236,328冊	10,323冊	75,850冊	7,829冊	1,894巻	332,224冊
5	221,237冊	9,781冊	77,365冊	7,826冊	1,705巻	317,914冊
6	218,038冊	9,517冊	76,529冊	7,686冊	1,465巻	313,235冊

(3) 年間図書購入冊数、年間図書購入費、調査相談件数

年度	年間図書購入冊数	年間図書購入費	調査相談件数
4	5,879冊	15,206千円	1,238件
5	7,758冊	15,112千円	1,831件
6	6,569冊	15,100千円	1,922件

(4) 利用登録者数

年度	旧市内在住者	旧町村在住者	合 計
4	18,407人	6,643人	25,050人
5	18,202人	6,491人	24,693人
6	18,299人	6,413人	24,712人

※ 平成27年6月から利用者カードの本人確認により有効期限を設定しています。(期間:3年間)

(5) 電子図書館（デジとしょ信州）利用状況

年度	利用登録者数（累計）	貸出件数（年度別）
4	883人	4,534件
5	1,292人	6,250件
6	1,417人	4,554件

(6) 雑誌・新聞受入状況

年度	雑誌	新聞
4	73種類	20種類
5	73種類	20種類
6	74種類	20種類

※ 令和4年8月5日事業開始

(7) 指標

年度	奉仕対象人口 (上田市人口)	登録率	登録者1人当たり 貸出冊数	市民1人当たり 蔵書数	市民1人当たり 図書購入費	市民1人当たり 図書貸出冊数
4	153,241人	16.3%	24.5冊	4.3冊	195円	4.0冊
5	152,174人	16.2%	24.6冊	4.3冊	195円	4.0冊
6	151,221人	16.3%	24.4冊	4.4冊	196円	4.0冊

奉仕対象人口…各年度3月1日現在の人口

$$\text{登録率} = \frac{\text{登録者数}}{\text{奉仕対象人口}} \quad \text{登録者1人当たり貸出冊数} = \frac{\text{個人貸出冊数(テープ図書除く)} \times \text{市内4館計}}{\text{登録者数} \times \text{合計}}$$

$$\text{市民1人当たり図書貸出冊数} = \frac{\text{個人貸出冊数(テープ図書除く)} \times \text{市内4館計}}{\text{奉仕対象人口}}$$

上田情報ライブラリー

1 所在地等

- (1) 所在地 〒386-0025 天神一丁目8番1号 上田駅前ビル・パレオ4階
- (2) 電話 29-0210 FAX 29-0211
ホームページ <https://www.city.ueda.nagano.jp/site/jlib-tosho/>
- (3) 開館年月日 平成16年4月23日
- (4) 施設面積 1,173.06㎡（7階倉庫部分含む）
- (5) 開館時間 月曜日、水曜日～金曜日：午前10時～午後8時30分
土・日曜日、祝日：午前10時～午後6時
- (6) 休館日 火曜日、祝日の翌日、館内整理日、年末・年始、特別整理期間

2 令和7年度事業計画（令和7年4月1日現在）

「暮らしとビジネス支援」及び「千曲川地域文化の創造と発信」を基本コンセプトとし、市民団体等と協働して各種事業を展開する。

事業名	事業内容
資料の収集・整理・保存等	1 暮らしとビジネス支援関係資料及びレファレンス資料の収集 2 千曲川流域の歴史、文学、自然等の積極的資料収集 3 資料収集方針に基づく資料の収集 4 リサイクルコーナーの設置
資料の提供と情報サービス	1 貸出、予約、閲覧等、資料提供の充実による利用の増進 2 レファレンスサービスの充実 3 インターネット・データベース等による情報サービス提供 4 電子図書館（デジとしょ信州）の利用促進 5 仕事・資格の応援コーナー、企業紹介コーナー、時事・季節のテーマコーナーの設置
行事・講座・催し物等	〈上田情報ライブラリー開館20周年記念事業〉 1 上田情報ライブラリー所蔵貴重資料の紹介展示と講座 〈暮らしとビジネス支援／千曲川地域文化の創造と発信〉 2 「こころ」と頭の実用セミナー 3 フラワーアレンジメント講座 4 櫻井文庫活用促進事業
市民協働による図書館づくり	〈NPO 上田図書館倶楽部との協働による行事、講座、催し物等の実施〉 1 情報活用サポート（パソコン操作支援） 2 地域情報の調べ方案内のWeb公開とガイド動画制作 3 生成AIを体験する講座 4 図書館本紹介講座（ビブリオバトル） 5 コンサート、朗読会、おはなし会等の開催 ※偶数月は「表現を楽しむ会」によるおはなし会を開催 6 上田商工会議所等と連携した「ビジネスブック」展示、「夜間ビジネス相談」の実施 〈その他〉 7 社会科新聞コンクール受賞作品展示、教科書展等
児童サービス	1 「第二次上田市子ども読書活動推進計画」の推進
その他	1 館内情報システム（利用者用PC）の更新及び利用推進 2 上田地域図書館情報ネットワーク（エコール）のシステム更新及び利用推進 3 中高生向けサービスの充実 4 小中学生・高校生職場体験、インターンシップ受入 5 利用者サービス向上のため、各種研修会への参加及び情報の共有 6 第三次上田市図書館基本構想の策定 7 上田図書館整備計画の策定の推進 8 第三次上田市子ども読書活動推進計画策定準備
諸証明交付	住民票・印鑑証明書・所得証明書・納税証明書の交付
会議室等の貸出	セミナールーム及び上田駅前ビル・パレオ2階供用会議室の受付・貸出業務

3 令和6年度利用統計

(1) 蔵書冊数

年度	蔵書冊数
4	64,884冊
5	65,121冊
6	65,835冊

(2) 年間貸出冊（巻）数

年度	個人貸出	団体貸出	合 計
4	58,836冊	-	58,836冊
5	60,578冊	-	60,578冊
6	57,269冊	-	57,269冊

(3) 年間図書購入冊数、年間図書購入費、調査相談件数

年度	年間図書購入冊数	年間図書購入費	調査相談件数
4	2,184冊	4,230千円	239件
5	2,037冊	3,977千円※	269件
6	2,035冊	4,204千円	267件

※ 5年度年間図書購入費を修正しました。

(4) 雑誌、新聞、視聴覚資料受入状況

年度	雑誌	新聞	視聴覚資料
4	146種類	35種類	1,393タイトル
5	141種類	34種類	1,373タイトル
6	139種類	32種類	1,381タイトル

(5) 入館者数 89,602人

(6) 講座・催事等開催数

年度	実施数
4	175回
5	171回
6	165回

(7) パソコン等利用件数

年度	パソコン	データベース	合計
4	1,703件	61件	1,764件
5	2,627件	94件	2,721件
6	2,890件	103件	2,993件

(8) 諸証明交付通数

年度	住民票	印鑑証明	所得証明	納税証明	軽自完納証明	合計
4	1,929通	1,223通	605通	38通	138通	3,933通
5	1,212通	774通	574通	42通	59通	2,661通
6	989通	586通	632通	53通	55通	2,315通

丸子図書館

1 所在地等

- (1) 所在地 〒386-0405 中丸子1771番地11
- (2) 電話 42-2414 FAX 42-4498
ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/site/maruko-tosho/>
- (3) 開館年月日 平成24年5月1日
- (4) 建物面積 1,639.80㎡
- (5) 開館時間 火～金曜日：午前9時～午後6時30分
土・日・祝日：午前9時～午後5時
- (6) 休館日 月曜日、金曜の祝日（祝日が月～木曜日の場合は前週又は後週の金曜日）、館内整理日、年末・年始、特別整理期間

2 令和7年度事業計画（令和7年4月1日現在）

事業名	事業内容
資料の収集・整理・保存等	1 郷土資料、大活字本、レファレンス資料などの収集・整備と闘病記、人権分野、ワイン関係の特色ある資料の充実 2 郷土資料の保存整備 3 資料収集方針に基づく資料の収集
資料の提供と情報サービス	1 貸出、予約、閲覧等の資料提供の充実による利用の増進 2 レファレンスサービスの充実 3 インターネットやデータベース等による情報サービスの提供 4 電子図書館（デジとしょ信州）の利用促進 5 季節や時節に合わせた特設展示の実施 6 広報活動の推進（広報うえだ、丸子地域自治センターだより、上田市メール配信「丸子地域の情報」、有線放送、丸子テレビ等） 7 移動図書館車「あおぞら号」の運行（53ステーション）
市民協働による図書館づくり	<まるこライブラリーパートナー等との協働による行事、講座、催し物等の実施> 1 古文書講習会、読書講座、ライブラリーコンサート等の実施 2 「図書館まつり」の開催 3 おはなし会の開催 4 本の修理
児童サービス	1 「第二次上田市子ども読書活動推進計画」の推進 2 ブックスタート及びセカンドブック事業における読書活動の啓発と推進 3 「子どもの読書週間」における読書の啓発
その他	1 学校との連携事業の開催（上田短期大学、丸子修学館高校） 2 地域内行事等と連携した移動図書館車の臨時運行 3 上田地域図書館情報ネットワーク（エコール）のシステム更新及び利用促進 4 中高生向けサービスの充実 5 中学生・高校生職場体験、インターンシップ、異業種体験研修の受入 6 利用者サービス向上のため、各種研修会への参加及び情報の共有 7 第三次上田市図書館基本構想の策定 8 上田図書館整備計画の策定の推進 9 第三次上田市子ども読書活動推進計画策定準備 10 丸子図書館館内照明LED化工事

3 令和6年度利用統計

(1) 蔵書冊数

年度	丸子図書館	移動図書館	合 計
4	127, 648冊	15, 157冊	142, 805冊
5	128, 893冊	15, 390冊	144, 283冊
6	130, 635冊	15, 616冊	146, 251冊

(2) 年間貸出冊数

年度	個人貸出	団体貸出	合 計
4	170, 141冊	6, 017冊	176, 158冊
5	171, 549冊	6, 734冊	178, 283冊
6	173, 267冊	6, 523冊	179, 790冊

(3) 年間図書購入冊数、年間図書購入費、調査相談件数

年度	年間図書購入冊数	年間図書購入費	調査相談件数
4	3, 085冊	5, 400千円	1, 876件
5	2, 950冊	5, 400千円	1, 876件
6	2, 595冊	5, 400千円	1, 878件

(4) 利用登録者数

年度	丸子地域在住者	武石地域在住者	合 計
4	4, 275人	524人	4, 799人
5	4, 178人	507人	4, 685人
6	4, 092人	501人	4, 593人

(5) 指標

年度	奉仕対象人口 (丸子・武石 地域人口)	登録率	登録者1人当たり 貸 出 冊 数	市民1人当たり 蔵 書 数	市民1人当たり 図 書 購 入 費	市民1人当たり 図 書 貸 出 冊 数
4	24, 047人	20. 0%	35. 5冊	5. 9冊	225円	7. 1冊
5	23, 692人	19. 8%	36. 6冊	6. 1冊	228円	7. 2冊
6	23, 277人	19. 7%	37. 7冊	6. 3冊	232円	7. 4冊

奉仕対象人口・・・各年度3月1日現在の人口（丸子・武石地域）

$$\text{登録率} = \frac{\text{登録者数}}{\text{奉仕対象人口}} \quad \text{登録者1人当たり貸出冊数} = \frac{\text{個人貸出冊数}}{\text{登録者数}}$$

$$\text{市民1人当たり図書貸出冊数} = \frac{\text{個人貸出冊数}}{\text{奉仕対象人口}}$$

真田図書館

1 所在地等

- (1) 所在地 〒386-2201 真田町長7178番地1
- (2) 電話 72-8080 FAX 72-8082
ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/site/sanada-tosho/>
- (3) 開館年月日 平成22年11月19日
- (4) 建物面積 1,367㎡（真田地域自治センター共用部分含む）
- (5) 開館時間 火～金曜日：午前9時～午後6時30分
土・日曜日：午前9時～午後5時
- (6) 休館日 月曜日、祝日、館内整理日、年末・年始、特別整理期間

2 令和7年度事業計画（令和7年4月1日現在）

事業名	事業内容
資料の収集・整理・保存等	1 真田地域に特化した特色のある図書館形成のため、真田氏関係・女性史関係・自然関係・スポーツ関係等を重点に資料収集 2 資料収集方針に基づく資料の収集 3 リサイクル市の開催
資料の提供と情報サービス	1 貸出、予約、閲覧等、資料提供の充実による利用の増進 2 レファレンスサービスの充実 3 インターネットやデータベース等による情報サービスの提供 4 電子図書館（デジとしょ信州）の利用促進 5 文化芸術作品の展示、中学生から読書に関する情報発信のため、図書館内の展示スペースの活用 6 広報うえだ、地域自治センターだより、上田市メール配信システムなどを利用した広報活動 7 時節や社会情勢などに合わせ、テーマ展示コーナー（一般・児童とも）の設置
市民協働による図書館づくり	<市民を支える図書館、市民が支える図書館をめざし、真田図書館サポーターの会との市民協働を推進> 1 書架整理、本の配架、館内外の美化活動 2 図書館まつり、真田塾（講演会）、おはなし広場、講座、コンサート、ボランティア養成講座等の開催
児童サービス	1 「第二次上田市子ども読書活動推進計画」の推進 2 児童図書、紙芝居の充実 3 ブックスタート及びセカンドブック事業における読書活動の啓発と推進 4 読み聞かせの方法を学ぶため、読み聞かせ講座等への参加の呼びかけ
その他	1 学校との連携事業の開催 2 学校連携による子ども読書活動の推進 3 中学生職場体験、インターンシップ受入、異業種体験研修の受入 4 中高生向けサービスの充実 5 利用者サービス向上のため、各種研修会への参加及び情報の共有 6 資料のデジタルアーカイブ化と利活用の推進 7 第三次上田市図書館基本構想の策定 8 上田図書館整備計画の策定の推進 9 第三次上田市子ども読書活動推進計画策定準備

3 令和6年度利用統計

(1) 蔵書冊数

年度	一般図書ほか	児童書・紙芝居	合 計
4	57, 614冊	20, 730冊	78, 344冊
5	58, 973冊	21, 640冊	80, 613冊
6	60, 616冊	22, 560冊	83, 176冊

(2) 年間貸出冊数

年度	個人貸出	団体貸出	合 計
4	61, 937冊	1, 028冊	62, 965冊
5	66, 066冊	583冊	66, 649冊
6	67, 311冊	743冊	68, 054冊

(3) 年間図書購入冊数、年間図書購入費、調査相談件数

年度	年間図書購入冊数	年間図書購入費	調査相談件数
4	3, 001冊	5, 000千円	128件
5	2, 969冊	5, 000千円	141件
6	2, 857冊	5, 000千円	408件

(4) 利用登録者数

年度	真田地域在住者
4	1, 844人
5	1, 806人
6	1, 820人

※ 平成27年6月～ 利用者カードの本人確認により有効期限を設定しています。(期間:3年間)

(5) 指標

年度	奉仕対象人口 (真田地域人口)	登録率	登録者1人当たり 貸 出 冊 数	市民1人当たり 蔵 書 数	市民1人当たり 図 書 購 入 費	市民1人当たり 図書貸出冊数
4	9, 732人	18. 9%	33. 6冊	8. 1冊	513円	6. 3冊
5	9, 556人	18. 9%	36. 6冊	8. 4冊	523円	6. 9冊
6	9, 413人	19. 3%	36. 9冊	8. 8冊	531円	7. 1冊

奉仕対象人口・・・各年度3月1日現在の人口

登録率＝ $\frac{\text{登録者数}}{\text{奉仕対象人口}}$ 登録者1人当たり貸出冊数＝ $\frac{\text{個人貸出冊数}}{\text{登録者数}}$

市民1人当たり図書貸出冊数＝ $\frac{\text{個人貸出冊数}}{\text{奉仕対象人口}}$

博 物 館

1 基本方針

上田地域の歴史、民俗、産業、自然科学等に関する資料の収集、保管、展示及び調査研究を行います。中でも上田藩に関する資料を中心とした近世以後の歴史資料に重点を置きます。

また企画展、講座、史跡見学会等の事業を通じて、地域の文化振興に努めます。

2 所在地等

- (1) 所在地 〒386-0026 二の丸3番3号
- (2) 電話 22-1274
- (3) 開館年月日 昭和40年6月19日
昭和4年7月13日に「徴古館」として開設
- (4) 延面積 1,551㎡ 鉄筋コンクリート造
- (5) 令和6年度観覧者数 60,911人
- (6) 収蔵資料 146,751点（令和6年度末）
- (7) 休館日 水曜日、祝日の翌日、年末・年始



<http://museum.umic.jp/hakubutsukan/>

関連ページ P102～106

3 令和7年度事業計画（令和7年4月1日現在）

事業名	実施時期	事業内容
資料の収集及び調査研究	年間	上田地域の歴史、民俗、産業、自然科学等に関する資料の収集及び調査研究
資料の整理及び保管	年間	収蔵資料の整理、病虫害予防等の保存管理
資料のデータベース化	年間	収蔵資料及び図書のデータベース化
調査、研究、相談への対応	年間	市民の学習、研究に関する質問、相談、調査に対する回答及び資料提供
常設展	年間	真田氏、上田藩、城下町、近代資料等の展示
特別展（企画展）	7～9月 2～3月	「－新上田市誕生 20 周年記念－ 信州上田の文化財～地域が織りなす物語～」 「新収蔵資料展 みるしるうえだ 2026」（仮称）
出版	年間	新規出版及び改訂
博物館講座	6～11月	「上田の歴史・民俗・自然」について講義
古文書講座	6～11月	初級「江戸の昔を読み解こう-古文書初級講座-」

4 観覧料

区 分		一 般		高校以上の学生		小・中学生	
		個 人	団 体 (20人以上)	個 人	団 体 (20人以上)	個 人	団 体 (20人以上)
観覧料	博物館	300円	250円	200円	150円	100円	50円
	上田城 櫓・櫓門						
	共通券	500円	400円	300円	250円	150円	80円

5 主な収蔵資料（寄託資料も含む）

区 分	収 蔵 資 料 名
国指定文化財	織田信長所用韋(かわ)胴服、染屋焼コレクション、反射望遠鏡（国友一貫斎作）
県指定文化財	太刀（山浦真雄作）、正保の信濃国絵図（信濃最古の詳細大絵図）
市指定文化財	原町滝沢家日記（問屋日記、江戸前期から明治初年まで）、元禄の信濃国絵図、天保の信濃国絵図、仙石秀久着用具足、松平信一着用具足、松平忠周着用具足、上塩尻出土板碑、藤本蚕種株式会社保存繭標本、杓掛家蹴鞠資料、濱村家能面狂言面、上田縞能衣裳、開善寺宛武田信玄判物、開善寺宛武田信玄寄進状、銅製雲板、銅製陣鐘、赤松小三郎佩刀、紺屋町八幡社絵馬、上田藩村明細帳（宝永3年（1706）の藩領内の村勢要覧）、加舎白雄自筆画賛屏風、加舎白雄自筆酒中仙屏風、祇園祭礼屏風
そ の 他	甲冑武具資料…上田藩主松平家・同家臣家伝来の甲冑、刀剣、馬具ほか 古文書資料…松平家文書のほか、町方・村方の古文書・絵図ほか 美術工芸資料…書画掛軸、屏風、什物ほか 古書籍資料…教科書、養蚕技術書ほか 民俗資料…灯火用具、食生活用具、養蚕用具、雛人形、上田縞関係資料ほか 戦時関係資料…軍装品、写真帳ほか 写真資料…写真機、古写真、絵葉書ほか 自然資料…岩石鉱物標本、化石標本（ナウマンゾウの臼歯等）、蝶標本ほか

6 映像資料（関連映像デジタルアーカイブ）

- (1) 「山極勝三郎博士の生涯と実績」 <http://museum.unic.jp/yamagiwa/>
- (2) 「正保・元禄信濃国絵図」 <http://museum.unic.jp/kochizu/>
- (3) 「上田城 城下町絵図アーカイブ」 <http://museum.unic.jp/uedajo/>

信濃国分寺資料館

1 基本方針

上田・小県地方の原始・古代及び全国の国分寺跡関係資料の収集、保管、調査研究を行います。また、これらの資料を活用して市民生活に結びつけた資料館活動を行います。

普及事業として、市民講座、特別展、親子歴史体験教室、資料館講座、万葉集講座、奈良時代を学ぶ会、史跡見学会などを実施し、地域文化の振興を図ります。

2 所在地等

- (1) 所在地 〒386-0016 国分1125番地
- (2) 電話 27-8706
- (3) 開館年月日 昭和55年7月1日
- (4) 延面積 2,004㎡ 鉄筋コンクリート造
- (5) 令和6年度観覧者数 3,619人
- (6) 収蔵資料 143,544点（令和6年度末）
- (7) 休館日 水曜日、祝日の翌日、年末・年始



<http://museum.umic.jp/kokubunji/>

関連ページ P102～106

3 令和7年度事業計画（令和7年4月1日現在）

事業名	実施時期	事業内容
資料の収集・調査研究	年間	上田・小県地方に散在する考古・古代史の資料を調査研究し収集する。
国分寺資料の収集	年間	全国の国分寺跡に関する資料を収集し、研究する。
資料の整理・保管	年間	収蔵資料を整理・分類して、収蔵台帳へ登録する。
資料のデータベース化	年間	収蔵資料及び収蔵図書のデータベース化を図る。
調査・研究・相談への対応	年間	市民の生涯学習、研究に関する質問、相談、調査に対する回答及び資料提供
常設展	年間	信濃国分寺跡出土資料及び上田地域の原始、古代の資料の展示
特別展（企画展）	3月～6月 1月	「中世の信仰遺産と蘇民将来符展」 「新春蘇民将来符展」
出版	年間	新規出版及び改訂
万葉植物園ボランティア	5月～10月	万葉植物園育成ボランティアによる植物園管理活動
親子歴史体験教室	8月	親子を対象に考古学体験を開催
奈良時代を学ぶ会	9月～11月	「続日本紀」を中心に古代史を学ぶ講座を開催
史跡公園の管理	年間	歴史学習の場としての信濃国分寺跡史跡公園の維持管理。

4 入館料

区 分	一 般		学 生 等			
	個 人	団体 (20人以上)	高校生以上		小・中学校	
			個 人	団体 (20人以上)	個 人	団体 (20人以上)
観覧料	250円	200円	180円	100円	60円	40円

5 主な収蔵資料

区 分	主 な 収 蔵 資 料
県指定文化財	唐沢B遺跡出土品 ※1
市指定文化財	巴形銅器・鉄銚・灰釉四耳壺・銅製十一面観音像御正体・八日堂縁日図・牛頭天王之祭文※2
考 古 資 料	国指定史跡信濃国分寺跡出土品（鍔瓦・宇瓦・鬼瓦・丸瓦・平瓦・文字瓦・円面硯・鉄釘・和同開珎など）、塚穴原第1号古墳出土品（直刀・刀装具・轡金具・鞍金具・須恵器・土師器など）、他田塚古墳出土品（直刀・轡金具・勾玉・管玉・切子玉・小玉など）、岳の鼻遺跡出土品（弥生土器・石包丁・紡錘車・ガラス小玉など）、上田原遺跡出土品（弥生土器・銅鏃・鉄釧など）、下前沖遺跡出土品（縄文土器・石鏃・耳飾り・ミニチュア土器・土偶・石皿など）、八千原遺跡出土品（縄文土器・土偶・石斧など）、男女倉遺跡群出土品（黒耀石製石器）、菅平遺跡群出土石器、鷹山遺跡群出土黒耀石製石器、国分遺跡群出土錫杖鋳型、法楽寺遺跡出土品（銅印・金銅三尊仏・磬など）、塩田城跡出土品（陶磁器・将棋駒・銅銭・人形など）ほか ※2
歴 史 資 料	金光明最勝王経・妙法蓮華経（寄託資料）、中国古代瓦レプリカ（西周・戦国・秦・漢・隋・唐）など ※2
民 俗 資 料	信濃国分寺蘇民将来符資料、全国の蘇民将来符関係資料など ※2

※1 上田市文化財マップ <https://museum.unic.jp/bunkazai/>

※2 信濃国分寺資料館HP <http://museum.unic.jp/kokubunji/>

6 映像資料（関連映像デジタルアーカイブ）

(1)「蘇民将来符 その信仰と伝承」 <http://museum.unic.jp/somin/>

丸子郷土博物館

1 基本方針

丸子地域の歴史や文化を理解するために必要な資料の収集、保管、展示及び調査研究を行います。
また収蔵資料を活用した学習機会の提供などを通じて、地域の文化振興に努めます。

2 所在地等

- (1) 所在地 〒386-0413 東内2564番地1
- (2) 電話 42-2158
- (3) 開館年月日 昭和58年11月6日
- (4) 延面積 921.02㎡ 鉄筋コンクリート造
- (5) 令和6年度観覧者数 452人
- (6) 収蔵資料 122, 426点（令和6年度末）
- (7) 休館日 月曜日、休日の翌日、年末・年始



<http://museum.umic.jp/maruko/>

関連ページ P102～106

3 令和7年度事業計画（令和7年4月1日現在）

事業名	実施時期	事業内容
資料の収集及び調査研究	年間	丸子地域の考古資料、製糸関係資料、依田社関係資料等の収集及び調査研究
資料の整理及び保管	年間	収蔵資料の整理及び保存管理
資料のデータベース化	年間	収蔵資料及び図書のデータベース化
調査、研究、相談への対応	年間	市民の学習、研究に関する質問、相談、調査に対する回答及び資料提供
常設展	年間	考古資料、製糸関係資料等の展示

4 観覧料

区分	一般		中学生以下
	個人	団体 (20人以上)	
観覧料	100円	80円	無料

5 主な収蔵資料（寄託資料も含む）

区 分	収 蔵 資 料 名
県指定文化財	鳥羽山洞窟遺跡出土品
考 古 資 料	平井寺坂遺跡出土縄文土器 下久根遺跡出土縄文土器・土偶・石鏃・石斧 深町遺跡出土縄文土器・石鏃・石斧・石錐・土偶・三角とう土製品・耳飾・土製勾玉・白玉・玉斧・装身具・石剣・石刀・石棒・石冠・骨角製品 社軍神遺跡出土管玉未完成品・勾玉未完成品・鏃形石製品未完成品・白玉・石釧未完成品・紡錘車形石製品未完成品・砥石・土師器・須恵器 原山窯跡出土須恵器 諏訪田遺跡出土須恵器円面硯・土師器・灰釉陶器・瓦 市の町遺跡出土有段口縁壺 勝負沢遺跡出土須恵器異形硯 大狭間遺跡出土瓦 井戸下遺跡出土土師器・須恵器 宮原遺跡出土土師器・須恵器 寺開土遺跡出土古瀬戸水注・古瀬戸四耳壺・納入銭貨 池の平古墳出土須恵器・土師器・直刀・勾玉・管玉ほか
歴 史 資 料	長泉寺板碑（市指定文化財）、金砂子切万葉集、製糸関係文書、近世文書、湊ノ上遺跡出土土偶形容器レプリカ、依田社関係資料、旭社関係資料、製糸PRフィルム・写真ほか
民 俗 資 料	農具・養蚕関係資料ほか
美術工芸資料	小森邦夫ブロンズ像ほか

6 映像資料（関連映像デジタルアーカイブ）

- (1) 「依田社 日本最古のPRフィルム」

http://museum.unic.jp/maruko/kindai-seishi/video_yodasha1.html

武石ともしび博物館

1 基本方針

灯火専門の博物館として、関係資料の収集と調査研究を進めます。また、地域に根ざした博物館として、文化活動の拠点となることを目指し活動を進めます。そのために、体験学習を重視し、多彩な学習を用意するとともに、豊かな環境づくりを行います。学校及び諸文化施設、団体等と交流を深め、連携を図りながら幅広い活動を展開します。

2 所在地等

- (1) 所在地 〒386-0503
下武石 1902 番地 4
- (2) 電話 0268-85-2474
- (3) 開館年月日 平成元年 11 月 3 日（新設）
- (4) 延床面積 782.34 m² 鉄筋コンクリート造
- (5) 令和 6 年度観覧者数 3,907 人
- (6) 収蔵資料 2,155 点（令和 6 年度末）
- (7) 休館日 月曜日、祝日の翌日、冬期(12 月 29 日
～3 月 31 日)



<http://museum.umic.jp/sakuhin/eizou13.html>

3 令和 7 年度事業計画（令和 7 年 4 月 1 日現在）

事業名	実施時期	事業内容
資料の収集・調査研究	年間	灯火及び灯火器の調査研究を進め、展示に活用。資料を保存。発火法の研究や展示解説資料の充実。敷地内の植物や茶花などの管理
資料の整理・保管	年間	所蔵資料の再整備を行い、目録や図版の作成
資料のデータベース化	年間	収蔵資料及び収蔵図書のデータベース化
調査・相談への対応	年間	市民や学校研究機関などの灯火に関する問い合わせに対応
常設展	年間	展示替えを適宜に実施、解説や説明文章の見直しや資料作成
体験学習	年間	常設で実施している火おこし体験・灯火器の明るさ体験の充実。ろうそく作りや太陽光発火など様々な体験学習提供
特別展（企画展）	年間	年に 1 回程度、テーマを決めて特別展示

事業名	実施時期	事業内容
萩見の茶会	9月	館内に多くある萩の開花の時期に、館で活動する茶道教室と協働して「萩見の茶会」を開催し、来館者を対象に茶会を開催
ともしび茶会	11月	紅葉の時期にあわせ、茶道教室の学習の一環として、茶室と野点の2席の茶会を開き、来館者に日頃の学習の成果を披露し、併せて茶道への関心を深めるため実施
ナイトイベント	2月	近隣の園児作成の子どもランタンなどを活用し、冬の夜を楽しむイベントの実施
茶道教室	年間	流派にこだわらず、茶の心を大切にする教室、月2回の稽古で、茶の湯の楽しさや厳しさに触れながら自己の向上を図り、受講者相互の連携を深めるため実施
博物館連携事業 及び灯火関連講座	年間	灯火に関する講座や体験教室など公民館や各種団体と連携して多彩な事業を実施

4 入館料

区分	一般		小・中学生	
	個人	団体 (20人以上)	個人	団体 (20人以上)
観覧料	400円	1人につき 300円	200円	1人につき 150円

※ 市の減免制度あり。障がい者、高齢者等の減免あり。

5 主な収蔵資料（寄託資料も含む）

区分	主な収蔵資料
灯火器具等	発火・着火、自然物、灯油、ろうそく、灯・燭兼用、臭水、石油ランプ、ガス、電気
その他	絵画、浮世絵等

※ 史料掲載HP 「武石ともしび博物館」 <http://museum.umic.jp/sakuhin/eizou13html/>

6 映像資料（関連映像デジタルアーカイブ）

「武石ともしび博物館ホームページ」 <http://museum.umic.jp/sakuhin/eizou13html/>

美術館

1 基本方針

上田市ゆかりの郷土作家である山本鼎、石井鶴三、ハリー・K・シゲタ等の作品収蔵、調査研究及び展示公開による顕彰に加え、郷土作家に限らず質が高く多様な芸術に触れる機会となる企画展等により、市民の文化芸術活動を豊かにし地域文化の振興を図ります。

また、子どもアトリエ、市民アトリエ・ギャラリー等を活用した体験プログラムや美術教室、展示発表の機会を通して、感性や創造力を育成するとともに美術愛好者の拡大を目指します。

2 所在地等

- (1) 所在地 〒386-0025 天神三丁目15番15号
- (2) 電話 27-2300
- (3) 開館年月日 平成26年10月2日
- (4) 延面積 2,887㎡ 鉄筋コンクリート造
- (5) 令和6年度利用者数 168,963人
(うち観覧者数 141,125人)
- (6) 収蔵資料 6,586点(令和6年度末)
- (7) 休館日 火曜日、年末・年始



ハリー・K・シゲタ《真珠と人魚》
1934年頃

3 令和7年度事業計画 (令和7年4月1日現在)

事業名	実施時期	事業内容
資料等の収集・調査研究	年間	郷土作家の作品及び関係資料等の収集及び調査研究。
資料等の整理・保管	年間	収集した資料等の分析、目録作成、修復等。
資料等のデータベース化	年間	収集した資料等及び収蔵図書のデータベース化。
調査・研究・相談への対応	年間	市民の美術に関する質問、相談、調査回答及び資料提供。館内外での講演。
収集資料等の展示	企画展同時期	郷土作家等を顕彰する展覧会の開催、図録作成等。
企画展（特別展）	4月～6月	深堀隆介展 水面のゆらぎの中へ
	6月	第52回東信美術展
	7月～8月	魔法の美術館 光と遊ぶ超体験型ミュージアム
	9月～11月	川瀬巴水 旅と郷愁の風景
	11月～1月	第50回全国大学版画展
	1月～3月	クレパス誕生100年 クレパス画名作展
コレクション展	4月～6月	コレクション展Ⅰ
	7月～11月	コレクション展Ⅱ
	1月～3月	コレクション展Ⅲ
美術教室・講座	年間	版画、木彫、デッサン等の教室・講座の開講。受講者作品展の開催。
子どもアトリエ事業	年間	体験プログラムや連続講座の開催、保育園等団体向けのプログラムの実施などにより、美術を通じて子どもたちの感性を育む。
貸館事業	年間	市民の芸術活動支援を目的とする創作発表の場の提供。

4 観覧料（コレクション展）

区 分	一 般		高校・大学生		小・中学生	
	個 人	団 体 (20人以上)	個 人	団 体 (20人以上)	個 人	団 体 (20人以上)
観覧料	300 円	250 円	200 円	150 円	100 円	80 円

※ 障害者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料。

※ 企画展の観覧料は、別途設定。

5 主な収蔵作家・資料等

作家名等	作 品 名
山 本 鼎	油彩：蚊帳、自画像、平田知夫領事肖像、独鈷山麓秋意、五輪のバラ ほか 水彩：御宿風景、秋の田園風景、疎林、河畔の春、日曜の遊び(下図) ほか 版画：漁夫、デッキの一隅、フランス田園の春、モスクワ、ブルトンヌ ほか スケッチ：人物、雨宿り、困った風呂敷、昼寝の雨、波止場 ほか
石 井 鶴 三	彫刻：雷試作、相撲（五）、風 ほか 油彩：黒衣少女、奇峯臨水、裸女溪流 ほか 版画：東京駅夕景、温泉、水泳、相撲 ほか
ハリー・K・シゲタ	ゼラチンシルバークラウドプリント：渦巻、トルソー、真珠と人魚、セルフポートレート ほか ダイトランスファープリント：ストロベリーパイ、コマーシャル用写真（パン） ほか
中 村 直 人	彫刻：若衆、雀、町娘、女の首、暁の進軍、神風号飛行士像（塚越機関士）、 良寛坐像 ほか グアッシュ（不透明水彩）：クルン、婦人像、雄鶏、矩形、赤い肩掛けの女 ほか
林 倭 衛	油彩：フランスの女、エスタック風景、早春、小笠原海岸、葛飾風景、別所沼 ほか
村 山 槐 多	水彩：田端風景 ノート：水彩画法手記
倉 田 白 羊	油彩：風景(大久保)、冬日 水彩：畑の風景
資 料 関 係	児童自由画：大正時代から昭和初期にかけての児童自由画 ほか 農民美術：木片人形、鉢、皿、盆、白樺巻き、煙草入れ、織物、デザイン原画 ほか

6 映像資料（館内上映用）

- (1) 「血気の人 山本鼎」
- (2) 「自分が直接感じたものが尊い 山本鼎」
- (3) 「立体造形を通して人間性を追求 石井鶴三」
- (4) 「上田が生んだ国際的商業写真家 ハリー・K・シゲタ」
- (5) 「KOPPA DOLLS こっぱ人形」

7 作品等紹介ウェブサイト

- (1) コレクション作家紹介 <https://www.santomyuze.com/museum/collection/>
- (2) 山本鼎アーカイブズ <https://museum.unic.jp/yamamotokanae/>
- (3) ハリー・K・シゲタアーカイブズ <https://museum.unic.jp/harrykshigeta/>
- (4) アトリエでつくろう WEB https://www.santomyuze.com/museumevent/kodomo_atorie_movie/

市誌・町誌・村誌の刊行状況

1 『上田市誌』の刊行状況

- (1) 刊行規模 … 全31冊、7編で各5,000部印刷
- (2) 編の構成 … 自然編3冊、歴史編10冊、近現代編9冊、民俗編4冊、文化財編1冊、人物編1冊、別巻(1)～(3)各1冊
- (3) 刊行規格 … B5判を30冊(本文152ページ～264ページ、自然編・文化財編はカラー)、及び別巻(2)はB4判カラー、編ごとのケース入り
- (4) 刊行時期 … 平成11年度から平成16年度までの6年間
- (5) 頒布状況 … 頒布中(歴史編(6)、文化財編は頒布終了)

2 『丸子町誌』の刊行状況

- (1) 刊行規模 … 全5冊、3編で歴史編3,500部、自然・民俗編2,000部印刷
- (2) 編の構成 … 歴史編3冊、自然編1冊、民俗編1冊
- (3) 刊行規格 … B5判(本文480～680ページ、自然編・民俗編はカラー)、編ごとのケース入り
- (4) 刊行時期 … 平成3年度から平成4年度までの2年間
- (5) 頒布状況 … 頒布終了

3 『真田町誌』の刊行状況

- (1) 刊行規模 … 全5冊、4編で各1,500～2,500部印刷
- (2) 編の構成 … 自然編1冊、歴史編2冊、近現代編1冊、民俗編1冊
- (3) 刊行規格 … A5判(本文588～685ページ、自然編はカラー)、各ケース入り
- (4) 刊行時期 … 平成8年度から平成13年度までの6年間
- (5) 頒布状況 … 頒布中(自然編、歴史編上は頒布終了)

4 『武石村誌』の刊行状況

- (1) 刊行規模 … 全4冊、4編で各500部印刷
- (2) 編の構成 … 第1編 武石村の自然と風土、第2編 村の歴史、第3編 民俗、第4編 現代 各1冊
- (3) 刊行規格 … A5判を4冊(本文308ページ～624ページ、4編のケース入り)
- (4) 刊行時期 … 平成元年度
- (5) 頒布状況 … 頒布中

地域映像デジタルアーカイブ事業 ～マルチメディア情報センターによる情報発信～

1 概要

マルチメディア情報センターでは、地域に残る写真や記録映像などを、地域の「時代」を写し撮った貴重な「文化」資産であると捉え、その保存、再生を行う「地域映像デジタルアーカイブ事業」を行っています。

その一環として、上田市内の文化財の情報、博物館・信濃国分寺資料館・図書館の収蔵品に関する情報を、積極的にインターネットで発信し、地域学習の教材としての活用を図ります。

2 情報発信サイトの一覧

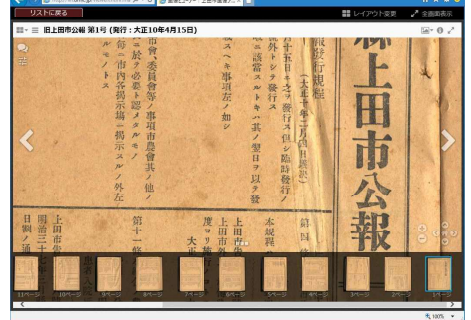
(1) 上田市デジタルアーカイブポータルサイト

	上田市のデジタルアーカイブ事業の総合窓口 上田市が進める「地域映像デジタルアーカイブ」事業の成果を総合的に紹介するサイト。 DVD・CD-ROM、ウェブサイト、映像作品を紹介 DVD・CD-ROM を 6 点、ウェブサイト 34 点、映像作品 14 点を紹介。それぞれのウェブサイトへは、このサイトからリンクされています。
https://museum.unic.jp/	

(2) 上田市の文化財

	上田市の文化財 248 点をホームページで紹介 上田市の、建造物、石造物、史跡、天然記念物、名勝、書跡、絵画、彫刻、工芸品、古文書、有形・民俗文化財等を写真と解説文で紹介。 天地左右 360 度のパノラマ画像 史跡・建造物などを天地左右 360 度のパノラマ画像で紹介。
https://museum.unic.jp/bunkazai/	

(3) 上田市画像アーカイブズ

	アーカイブ画像データを統合的に紹介 アーカイブ事業で収集した、絵図、古地図、古文書、書籍、公報など、様々な史料の画像データを、高解像度で紹介。 国際規格 IIIF(トリプルアイエフ)に準拠 画像の相互運用の国際規格に準拠した形式で公開、世界中の研究者による利用がしやすくなっています。
https://museum.unic.jp/iiif/	

(4) 上田市立博物館

	収蔵品の高解像度画像を収録 上田地域の中世から近現代までの歴史史料として、歴代上田城主の甲冑他の上田藩関係資料、絵図、養蚕資料、古文書類などの収蔵品を高解像度画像で展示。 江戸時代の上田の歴史を紹介 上田城の歴史、現存する3棟の櫓、歴代の城主の説明。
https://museum.unic.jp/hakubutsukan/	

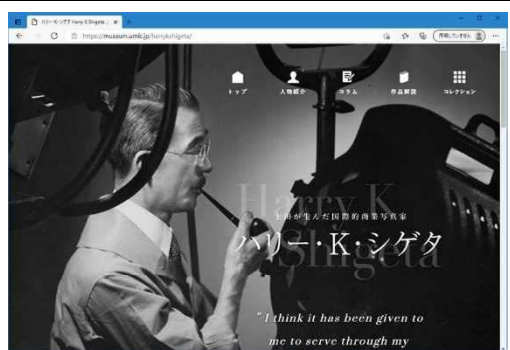
(5) 信濃国分寺資料館

	豊富な収蔵品を紹介 文化財の「八日堂縁日図」「牛頭天王之祭文」や、出土品などの代表的な収蔵品 160 点の高解像度画像を紹介。 資料館と史跡公園のガイド 館内の展示案内、安楽寺八角三重塔模型について。公園の概要と僧寺跡、尼寺跡とその発掘について。
https://museum.unic.jp/kokubunji/	

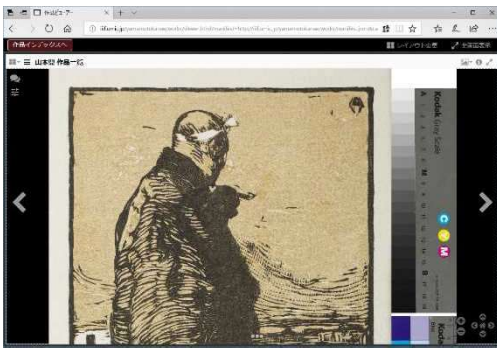
(6) 丸子郷土博物館

	近代器械製糸の歴史を紹介 製糸業の歴史を豊富な資料とともに紹介。現存する最古のPRフィルムと言われる、「依田社」制作の宣伝フィルム「依田社の記録」を配信。 豊富な出土品と丸子地域の無形文化財を紹介 丸子地域周辺の遺跡から発掘された出土品を、109 点の写真で紹介。丸子地域の無形文化財である獅子舞の映像など5 点のビデオを配信。
https://museum.unic.jp/maruko/	

(7) ハリー・K・シゲタ 上田が生んだ国際的商業写真家

	上田出身の国際的商業写真家であるハリー・K・シゲタの生涯と功績を紹介 大正から昭和にかけて米国を中心に国際的に活躍した様子を、その人柄をよく表すエピソードをコラムとして紹介。 市立美術館の収蔵作品を掲載 収蔵作品 95 点の高解像度画像を掲載。拡大表示をして細部まで見ることが可能。
https://museum.unic.jp/harrykshigeta/	

(8) 山本鼎アーカイブズ

	地域に縁の芸術家の山本鼎の生涯を紹介 2019 年に 100 周年を迎える「農民美術・児童自由画教育運動」を提唱した、この地域にゆかりの芸術家である山本鼎の生涯や功績などを広く紹介。 市立美術館の収蔵作品等の映像資料を掲載 絵画作品 129 点の高解像度画像、農民美術作品の 3 次元画像など、豊富な映像資料を掲載。 https://museum.umic.jp/yamamotokanae/
---	---

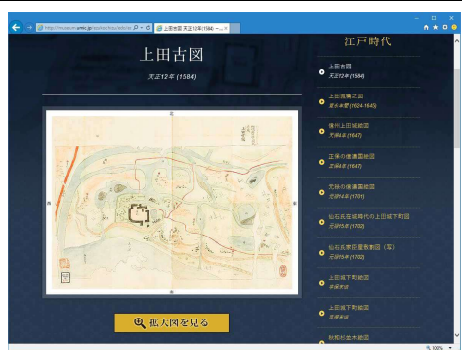
(9) 上田城城下町絵図アーカイブ

	江戸時代の上田城と城下町の絵図 5 点を紹介 信州上田城絵図、仙石氏在城時代の上田城下町図、仙石氏家臣屋敷割図（写）、安政年間上田城下町絵図、本丸二の丸図（写）の 5 枚。 現在の地図と重ねて表示 元禄時代の絵図を現在の上田市の地図に重ねて表示。当時と現在の移り変わりなどを簡単に見ることができます。 https://museum.umic.jp/uedajo/
---	---

(10) 正保・元禄・天保信濃国絵図

	江戸時代の信濃国（長野県）の国絵図を紹介 上田市立博物館収蔵の「正保の信濃国絵図（1647 年、県宝）」「元禄の信濃国絵図（1701 年）」「天保の信濃国絵図（1838 年）」の 3 枚の絵図を紹介。 拡大縮小して見ることができるビューアー 簡単な操作で縮小して全体の位置を見ることが、拡大して詳細な文字を読むことも可能。 https://museum.umic.jp/kochizu/
---	--

(11) 上田古地図・絵図デジタルアーカイブ

	江戸時代から昭和までの古地図・絵図を紹介 上田市立上田図書館が所蔵する上田の絵図・古地図の画像を中心に合計 28 点を紹介。江戸時代から昭和までの古地図、絵図等を見比べたり移り変わりを調べたりできる。 拡大縮小して見ることができるビューアー 簡単な操作で縮小して全体の位置を見ることが、拡大して詳細な文字を読むことも可能。 https://museum.umic.jp/ezukochizu/
---	--

(12) 上田の商家の引札

	江戸時代から昭和初期までの引札等を紹介 上田市立博物館が所蔵する、上田の商家で利用された引札(現在の広告・チラシ)57点を紹介。色鮮やかな色彩のものも多く、当時の上田の商店街の活況が伝わってくる。 拡大縮小して見ることができるビューアー 簡単な操作で縮小して全体の位置を見ることが、拡大して詳細な文字を読むことも可能。 https://museum.umic.jp/hikihuda/
---	--

(13) 神川小学校 昭和初期の子どもたちの絵

	児童自由画教育運動の流れをくんだ作品 神川小学校に保管された昭和初期の子どもたちが描いた絵画作品 600 点あまりを紹介。山本鼎が提唱した「児童自由画教育運動」の流れをくむものと捉えられている。 画像データ、印刷物を提供 制作者ご本人、ご家族からの希望があれば、画像データ、印刷物を提供。 https://museum.umic.jp/kangawa/
---	---

(14) 續錦雑誌 藤本善右衛門縄葛

	明治時代の先人が遺した書籍をデジタル化 「蚕種業の先駆者」と言われた上田出身の藤本善右衛門縄葛が記した書籍「續錦雑誌」87 巻約 1 万 2000 ページ全てのデジタル画像を公開。 研究や学習に活用に適した公開方法 国際規格に準拠した形式で、非営利目的であれば申請なしで使える「CC BY-NC」ライセンスで公開。 https://museum.umic.jp/shokukinzasshi/
---	--

(15) 信州上田軍記

	「上田軍記」を現代語訳、音声などで紹介 上田合戦などの様子を記録した真田家に伝わる家記「上田軍記」を、写本の画像、原文、現代語訳、音声読み上げで紹介。 カレンダーなどで「上田軍記」の世界を紹介 「上田軍記」前後の歴史をカレンダーで歴史資料とともに紹介、また「上田軍記」に登場する場所をマップで紹介。 https://museum.umic.jp/uedagunki/
---	--

(16) 上田を支えた人々～上田人物伝～

	上田地域で活躍した人物 50 人を紹介 上田地域で江戸後期から平成まで活躍した人物 50 人について解説。歴史、教育、経済産業、芸術、社会、文芸、スポーツの 8 分野で上田や社会に貢献した人物の写真や業績などを紹介。
https://museum.unic.jp/jinbutu/	

(17) 山極勝三郎博士の生涯と実績

	山極勝三郎博士の生涯と実績を紹介 世界で初めて人工癌発生に成功した、上田出身の医学博士、山極勝三郎博士の生涯と実績を、豊富な資料と解説文で紹介。ゆかりの地を紹介するマップ付。
https://museum.unic.jp/yamagiwa/	

(18) 赤松小三郎 幕末の洋学者・議会政治の提唱者

	幕末の上田藩士 赤松小三郎を紹介 二院制議会や人材教育の重要性などをいち早く提唱し、その後のわが国のあり方に大きな影響を与えた、赤松小三郎の生涯と実績を紹介。 建白書解説ビューアー 幕府や主要な藩主らに宛てた建白書の高解像度画像を掲載。読み下し文とともに閲覧することが可能。
https://museum.unic.jp/akamatsu/	

(19) 上田地域こども自然電子図鑑「川とわたしたち」

	水生昆虫・魚類を紹介した「川の電子図鑑」 千曲川の昆虫 15 種類、魚類 15 種類を紹介。 水質調査の手順を解説した「水質を調べる」 調査の手順、まとめ方などを解説。 川と暮らしの関りを解説した「水と暮らし」 千曲川の支流、上下水道、農業用水などを解説。
https://museum.unic.jp/kawa/	

学校体育施設開放事業

1 趣旨

上田市における生涯学習の振興、一般スポーツの推進その他公共の目的で、上田市立小・中学校の施設を学校教育に支障のない範囲で市民の方に開放します。

2 利用の対象

上田市内に居住し、通勤し、又は通学する者で組織され、かつ、成人の指導者がいる団体で、利用にあたっては教育委員会に団体登録をする必要があります。

3 利用の申請

登録を受けた団体の責任者は、利用施設ごとに利用する前までに学校施設開放利用許可申請書を各受付窓口に出す必要があります。

4 開放する学校体育施設

施設の名称	施設開放校	開放する日	開放する時間	受付窓口
校 庭	西小、北小、塩尻小、川辺小、 神川小、豊殿小、塩田西小、 川西小、南小 一中、三中、四中、五中、 塩田中、六中	5 / 1 ～10/31 (日・祝日は除く)	18:30～21:00	教育施設 整備室
	丸子中央小、丸子北小、塩川小、 丸子中、丸子北中	土・日・祝日 (年末年始は除く)	5:00～20:00	丸子総合 体育館
	菅平小、長小、傍陽小、本原小、 菅平中、真田中	5 / 1 ～10/31 の 土・日・祝日	8:00～17:00	真田地域 教育事務所
体育館	上田地域の全ての小中学校	年間 (日・祝日・ 年末年始は除く)	小学校 18:00～21:00 中学校 19:00～21:00	教育施設 整備室
	丸子地域の全ての小中学校	年間 (年末年始は除く)	平日 18:00～21:00 土・日・祝日 8:30～21:00	丸子総合 体育館
	真田地域の全ての小中学校	年間 (年末年始は除く)	19:30～21:30	真田地域 教育事務所
	武石小学校	年間 (年末年始は除く)	平日 17:00～22:00 土・日・祝日 8:30～22:00	武石地域 教育事務所

教育機関（施設）

令和6年度社会教育施設利用状況

施設名	開館・ 開設日数 (日)	主催・共催事業		その他		合計	
		件数 (件)	利用者数 (人)	件数 (件)	利用者数 (人)	件数 (件)	利用者数 (人)
中央公民館	359	900	24,623	3,690	62,546	4,590	87,169
（神川地区公民館）	359	332	7,335	1,674	19,811	2,006	27,146
西部公民館	359	194	4,787	2,461	29,357	2,655	34,144
（塩尻地区公民館）	359	9	93	601	7,228	610	7,321
城南公民館	359	311	7,346	3,180	31,148	3,491	38,494
上野が丘公民館	359	245	6,351	2,689	28,593	2,734	34,944
塩田公民館	359	158	2,836	2,200	32,878	2,358	35,714
川西公民館	359	241	5,252	1,441	19,953	1,682	25,205
丸子公民館	359	175	1,072	971	7,634	1,146	8,706
真田中央公民館	359	69	2,914	994	17,872	1,063	20,786
武石公民館	359	64	2,097	1,263	15,134	1,327	17,231
上田図書館	276	図書等貸出冊数：本館（個人 218,038 冊・団体 5,756 冊）、創造館（個人 76,529 冊・団体 329 冊）、移動図書館車（個人 9,517 冊・団体 1,601 冊） 調査相談 1,922 件					
上田情報ライブラリー	279	図書等貸出冊数：（個人 57,269 冊）、調査相談 267 件、パソコン利用件数 2,890 件、データベース利用件数 103 件、視聴覚機器利用件数 19 件、諸証明交付通数 2,315 通					
丸子図書館	278	図書等貸出冊数：本館（個人 158,404 冊・団体 2,386 冊）、移動図書館車（個人 14,863 冊・団体 4,137 冊） 調査相談 1,878 件					
真田図書館	277	図書等貸出冊数：（個人 67,311 冊・団体 743 冊） 調査相談 408 件					
博物館（櫓を含む）	299	12	225	—	132,465	12	132,690
信濃国分寺資料館	297	4	80	—	3,539	4	3,619
丸子郷土博物館	292	—	—	—	452	—	452
武石ともしび博物館	233	4	927	—	2,980	4	3,907
上田市立美術館	308	157	144,898	116	24,065	273	168,963
旧宣教師館	111	—	—	—	219	—	219

V 關係委員等名簿

市理事者

(令和7年5月1日現在)

役 職 名	氏 名	任 期
市 長	土 屋 陽 一	令和8年4月 8日
副 市 長	小 相 澤 隆 幸	令和9年3月15日
教 育 長	酒 井 秀 樹	令和9年4月28日

市教育委員会委員

(令和7年5月1日現在)

役 職 名	氏 名	委 員 任 期
教育長職務代理者	安 達 永 眞	令和9年4月28日
委 員	木 口 博 文	令和8年4月28日
委 員	萱 津 公 子	令和10年4月28日
委 員	荻 野 茶 々	令和11年4月28日

市議会教育厚生委員会委員

(令和7年5月1日現在)

役 職 名	氏 名	議 員 任 期
委 員 長	齊 藤 加代美	令和8年4月8日
副 委 員 長	堀 内 仁 志	令和8年4月8日
委 員	西 沢 逸 郎	令和8年4月8日
委 員	池 上 喜美子	令和8年4月8日
委 員	飯 島 伴 典	令和8年4月8日
委 員	土 屋 勝 浩	令和8年4月8日

学校教育関係

上田市教育支援委員会委員

- ・学校教育法施行令第18条の2及び附属機関に関する条例による委員
- ・任期 令和6年6月1日～令和8年5月31日

氏 名	所 属	選 任 の 基 準
大 谷 壮 志	大谷外科・眼科	上 田 市 医 師 会
赤 平 年 三	生田耳鼻咽喉科医院	〃
関 健	せき内科クリニック	小 県 医 師 会
大 塚 美 奈 子	上田短期大学	学 識 経 験 者
石 田 修	元小学校特別支援教育担当	〃
神 原 久美子	社会福祉法人上田明照会	〃
吉 池 加代子	社会福祉法人カルディア会	〃
白 井 智 子	長野県立上田養護学校	上 田 養 護 学 校
金 澤 正 明	川辺小学校	学 校 関 係 者
菊 池 陽 子	塩川小学校	〃
白 井 真 希	浦里小学校	〃
上 野 八 寿 代	西小学校	〃
森 泉 裕 之	武石小学校	〃
伊 東 睦 実	第三中学校	〃
真 坂 粧 子	北小学校	〃

上田市いじめ問題対策連絡協議会委員

- ・いじめ防止対策推進法第14条及び上田市いじめ問題対策連絡協議会等条例による委員
- ・任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日

氏 名	選 任 の 基 準	氏 名	選 任 の 基 準
須 藤 直 美	法 務 局 担 当 者	茅 野 浩 恵	地域・民間団体関係者
中 澤 泰 明	警 察 署 担 当 者	太 田 恵里奈	〃
前 村 卓 治	児 童 相 談 所 担 当 者	竹 内 仁 一	学 校 関 係 者
上 野 真 一	県教育委員会担当者	北 沢 敦	〃
渡 邊 美奈子	スクールカウンセラー	高 山 智 史	学 識 経 験 者
戸 田 裕 子	スクールソーシャルワーカー	酒 井 秀 樹	上 田 市 教 育 長
佐 藤 暁	地域・民間団体関係者	清 住 忠 広	上 田 市 関 係 課
斎 藤 史 郎	〃	加々井 道 男	〃
長谷川 弘 美	〃	中 沢 博	〃
小 熊 弘 子	〃	田 中 菜穂子	〃

社会教育関係

社会教育委員

- ・社会教育法第15条及び上田市社会教育委員条例第1条による委員
- ・任期 令和7年1月1日～令和8年12月31日

氏 名	選 任 の 基 準	氏 名	選 任 の 基 準
小 平 千 文	社会教育関係者	窪 田 富 子	社会教育関係者
◎宮 下 俊 哉	社会教育関係者	小 林 眞由美	社会教育関係者
○山 崎 順 子	社会教育関係者	坂 口 純 一	家庭教育の向上に資する活動を行う者
酒 井 真由子	学 識 経 験 者	手 塚 由 花	社会教育関係者
滝 澤 正 幸	社会教育関係者	宮 島 哲 也	学校教育関係者

◎代表者 ○代表者代理

図書館協議会委員

- ・上田市図書館条例第12条による委員
- ・任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日

氏 名	選 任 の 基 準	氏 名	選 任 の 基 準
荒 木 浩二郎	ボランティアの視点	小 林 容 子	元 公 募 委 員
○内 山 伯 子	前 公 募 委 員	◎中 村 恵 子	市民協働団体
北 沢 秀 雄	公 募 委 員	西 山 卓 郎	幅広い活動の視点
甲 田 京 子	図書館利用者団体	丸 山 文 隆	学 識 経 験 者

◎会長 ○副会長

文化財保護審議会委員

- ・上田市文化財保護条例第38条による委員
- ・任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日

氏 名	履 歴 等	専 門
太 田 喜美子	駒澤大学博物館学講座講師	民 俗 学
小 倉 絵里子	実践女子大学文学部非常勤講師	美 術 史
倉 寫 勝 夫	東信史学会長	歴 史 学
◎児 玉 卓 文	元県立歴史館文献史料課長	考古学・文献学
土 本 俊 和	信州大学工学部教授	歴史的建造物
○町 田 龍一郎	元筑波大学菅平高原実験所教授	生 物 学
水 沢 教 子	長野県立歴史館総合情報課長	考古学・文化財保存処理

◎会長 ○会長代理

上田市博物館協議会委員

- ・博物館法第23条及び上田市博物館条例第12条による委員
- ・任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日

氏 名	選 任 の 基 準	氏 名	選 任 の 基 準
◎児 玉 卓 文	学 識 経 験 者	矢 嶋 千代子	学 識 経 験 者
○小宮山 千 佐	学 識 経 験 者	寺 島 隆 史	学 識 経 験 者
鎌 田 尚 子	学 識 経 験 者	小 駒 はるみ	学 識 経 験 者
押 森 慎	学 識 経 験 者	米 澤 愛	学 識 経 験 者
矢 島 節 子	学 識 経 験 者	中 澤 徳 士	学 識 経 験 者

◎会長 ○会長代理

公民館運営審議会委員

- ・社会教育法第29条及び上田市公民館条例第11条による委員
- ・任期 令和6年10月31日～令和8年10月30日

	氏 名	選 出 区 分		氏 名	選 出 区 分
中 央	山 寺 政 幸	学校教育関係者	西 部	渡 邊 百代子	社会教育関係者
	小 林 みゆき	地域協議会代表		千 野 敬 治	社会教育関係者
	伴 美佐子	学校教育関係者		早 川 潤	社会教育関係者
	池 田 みさき	社会教育関係者		滝 澤 政 彦	学校教育関係者
	金 子 昌 平	公 募		三 井 由 香	社会教育関係者
城 南	宮 下 千 元	学 識 経 験 者	上 野 が 丘	青 木 茂 友	住 民 自 治 組 織
	須 崎 博 雄	社会教育関係者		小 菅 吉 治	住 民 自 治 組 織
	新 谷 靖 代	住 民 自 治 組 織		杉 崎 千 代	社会教育関係者
	高 橋 裕 美	社会教育関係者		伊 藤 文 子	社会教育関係者
	柳 原 孝 一	学校教育関係者		石 川 武	学校教育関係者
塩 田	増 澤 宗	社会教育関係者	川 西	堀 内 重 光	社会教育関係者
	羽 田 由 紀	社会教育関係者		安 田 絵理子	社会教育関係者
	寺 尾 由 美	社会教育関係者		久保田 照 幸	社会教育関係者
	藤 森 靖 夫	住 民 自 治 組 織		久 松 久美子	社会教育関係者
	徳 嵩 隆 治	学校教育関係者		臼 井 富 健	学校教育関係者
丸 子	久保田 俊 也	学校教育関係者	真 田 中 央	柳 沢 文 人	社会教育関係者
	竹 花 のり子	社会教育関係者		城 間 友 子	住 民 自 治 組 織
	寺 尾 雄二郎	社会教育関係者		宮 澤 穂 澄	社会教育関係者
	柳 沢 裕 美	地域協議会代表		徳 嵩 美 穂	社会教育関係者
	柴 田 隆 一	社会教育関係者		松 井 真由美	学校教育関係者
武 石	小 林 慎 一	学校教育関係者			
	名 本 多 壽	社会教育関係者			
	大 塚 健 志	学校教育関係者			
	佐 藤 しげ子	社会教育関係者			
	岡 村 星 美	社会教育関係者			

上 田 市 の 教 育

(令和7年度版)

編集 上田市教育委員会教育総務課

発行 上 田 市 教 育 委 員 会

住所 〒386-8601

上田市大手一丁目11番16号

電話 0268(23)5100